

---

令和 7 年度

湯沢市 男女の意識と生活実態調査

報 告 書

---

令和 7 年 1 0 月

湯沢市





# 目 次

I. 調査の概要	1
1 調査の目的	
2 調査の内容	
3 調査の設計	
4 回収結果	
5 報告書の見方	
II. 回答者の属性	2～4
1 基本項目	2～4
問1 性別	2
問2 年齢層	2
問3 居住地域	3
問4 就業状況	4
III. 調査結果	5～71
2 男女共同参画に関する意識や取組について	5～30
問5 男女平等の現状	5～21
問6 家庭での仕事	22～24
問7 男女共同参画社会の実現に向けて力を入れたらよいと思う施策	25、26
問8 男女平等を推進する教育・学習をすすめるために学校に期待すること	27、28
問9 性別に配慮した防災・災害対応に必要なこと	29、30
3 女性の活躍推進について	31～37
問10 女性が職業をもつことについて	31、32
問11 女性が職場や地域で活躍するために必要なこと	33
問12 県内に女性が定着し、活躍するために必要なこと	34
問13 公職等への女性の就任	35
問14 各分野で女性リーダーを増やすために障害になること	36
問15 女性管理職が少ない理由	37
4 職場環境について	38～48
問16 ワーク・ライフ・バランスを実現するために企業に必要な取組	38
問17 職場の休業・休暇制度の導入状況	39～41
問18 育児休暇の取得について	42～43
問19 男性の家事等の参画を進めていくために必要なこと	44、45
問20 男性の育児休業取得が進まない理由	46、47
問21 職場のハラスメントの状況	48
5 地域活動について	49～52
問22 最近参加した地域活動	49、50
問23 地域の集まりへの女性が参画しにくい理由	51、52
6 DV（ドメスティック・バイオレンス）について	53～62
問24 暴力への意識	54～58
問25 被害経験	59～61

問 26	D V をなくすために必要なこと	6 2
7	多様性のある社会について	6 3. 6 4
問 27	「L G B T Q」「あきたパートナーシップ宣言証明制度」「アンコンシャス・バイアス」の認知度	6 3. 6 4
8	自由意見	6 4 ~ 6 7

# I. 調査の概要

## 1 調査の目的

湯沢市における男女共同参画に関する意識や現状、課題について把握し、今後の施策推進や企画立案等の基礎資料とするため。

## 2 調査の内容

- (1) 男女共同参画に関する意識や取組
- (2) 女性の活躍推進
- (3) 職場環境
- (4) 地域活動
- (5) DV（ドメスティックバイオレンス）
- (6) 多様性

## 3 調査の設計

- (1) 調査対象者 15 歳以上の湯沢市民（令和 7 年 7 月 1 日現在）
- (2) サンプル数 1,400 人
- (3) 抽出方法 ① 住民基本台帳より無作為抽出  
② 「湯沢市若者や女性が輝くまちづくり条例」第 9 条第 2 項により若者の抽出数を補正
- (4) アンケート期間 令和 7 年 7 月 28 日（月）～8 月 20 日（水）
- (5) 調査票 A4 版 12 ページ
- (6) 調査方法 郵送による調査依頼、WEB 回答及び返信用封筒による調査票回収

## 4 回収結果

- (1) 調査票回収数 453 件（回収率 32.4%）
- (2) 有効回答数 453 件（回収率 32.4%）  
（男性 211 件、女性 235 件、無回答 7 件）

## 5 報告書の見方

- (1) 調査結果の数値は原則として回答率（%）で表記している。
- (2) 回答数の母数は、その質問項目に関する回答者の数であり、「n＝」と表記している。  
また、複数回答可の質問についても回答者の数としている。
- (3) 集計は、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位まで表記してある。このため、各回答率を合計しても 100.0%とならない場合がある。また、複数回答可の質問では、回答者数に対する回答率のため、各回答率の合計は 100.0%を超える場合がある。
- (4) 回答率が 0.0%の場合は、グラフ内へ値を表記していない。
- (5) 報告文やグラフ等の表現は、可能な限り調査票そのままの表現を用いたが、スペースなどの関係から、一部省略した表現としている箇所がある。
- (6) 今回の湯沢市の調査データと秋田県全体の調査データを比較するために、秋田県発行の「令和 6 年度 秋田県男女共同参画に関する県民意識調査報告書」の調査データを用いている。（文中では 湯沢市の調査データ＝湯沢市、秋田県全体の調査データ＝秋田県全体と表記している。）

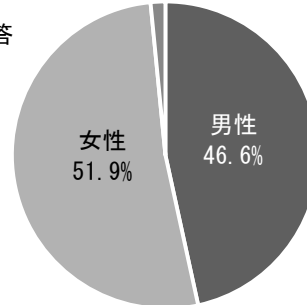
## Ⅱ. 回答者の属性

### 1 基本項目

#### 問1 性別

	実数（人）	構成比（％）
男性	211	46.6%
女性	235	51.9%
その他・無回答	7	1.5%
合計	453	100.0%

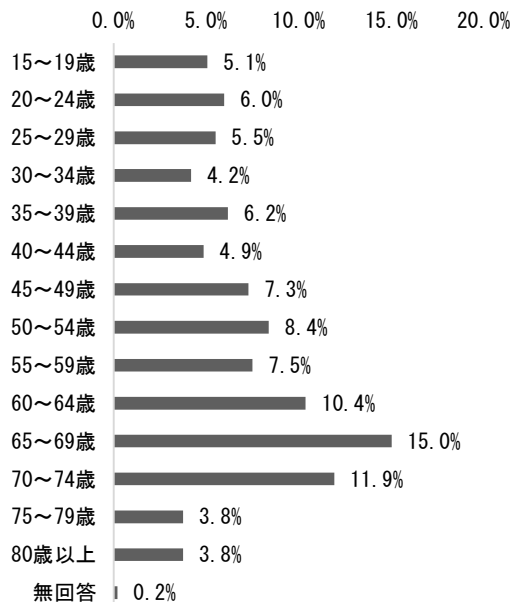
その他・無回答  
1.5%



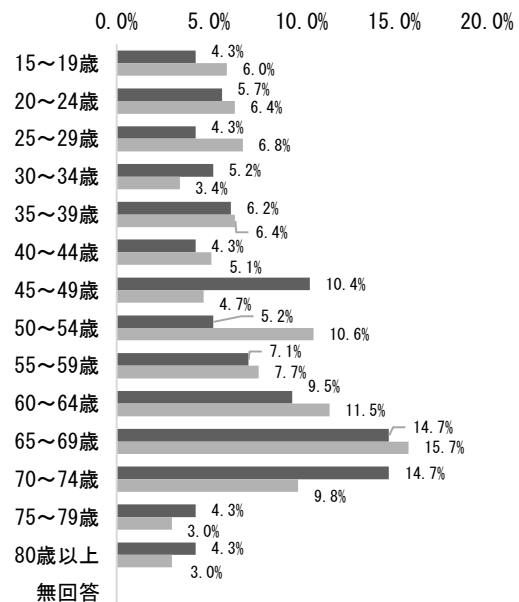
#### 問2 年齢層

年齢	全体		男性		女性	
	実数（人）	構成比（％）	実数（人）	構成比（％）	実数（人）	構成比（％）
15～19歳	23	5.1%	9	4.3%	14	6.0%
20～24歳	27	6.0%	12	5.7%	15	6.4%
25～29歳	25	5.5%	9	4.3%	16	6.8%
30～34歳	19	4.2%	11	5.2%	8	3.4%
35～39歳	28	6.2%	13	6.2%	15	6.4%
40～44歳	22	4.9%	9	4.3%	12	5.1%
45～49歳	33	7.3%	22	10.4%	11	4.7%
50～54歳	38	8.4%	11	5.2%	25	10.6%
55～59歳	34	7.5%	15	7.1%	18	7.7%
60～64歳	47	10.4%	20	9.5%	27	11.5%
65～69歳	68	15.0%	31	14.7%	37	15.7%
70～74歳	54	11.9%	31	14.7%	23	9.8%
75～79歳	17	3.8%	9	4.3%	7	3.0%
80歳以上	17	3.8%	9	4.3%	7	3.0%
無回答	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
合計	453	100.0%	211	100.0%	235	100.0%

【全体】 n=453

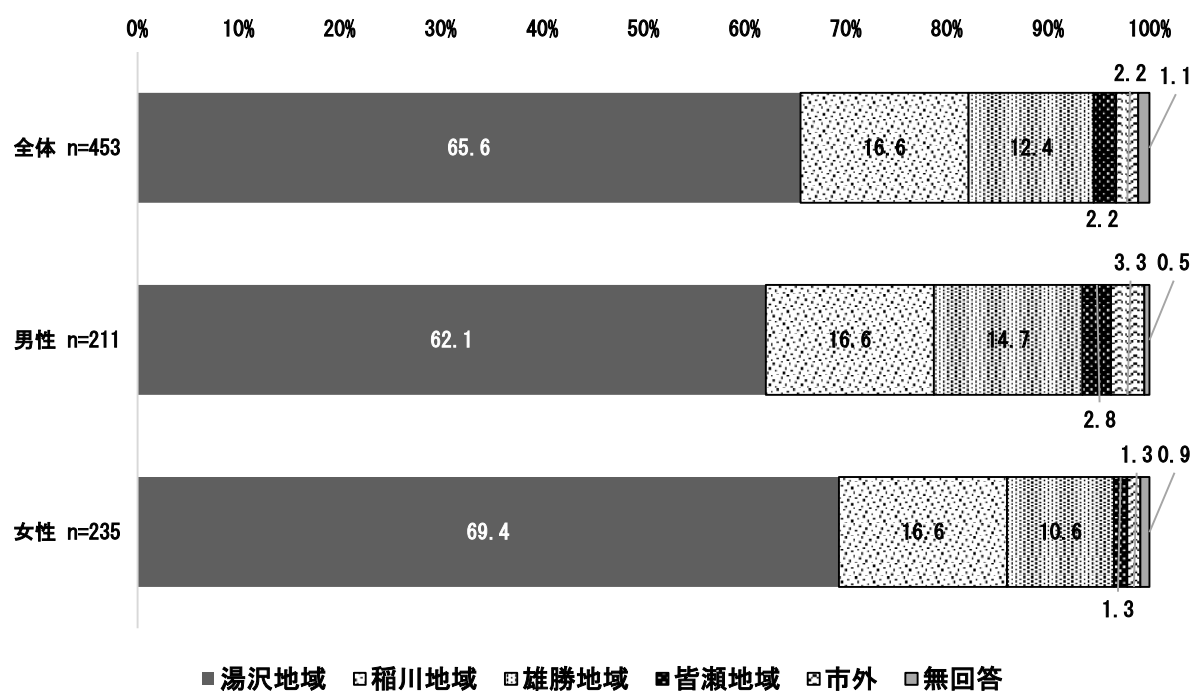


【性別】 ■男性 n=211 ■女性 n=235



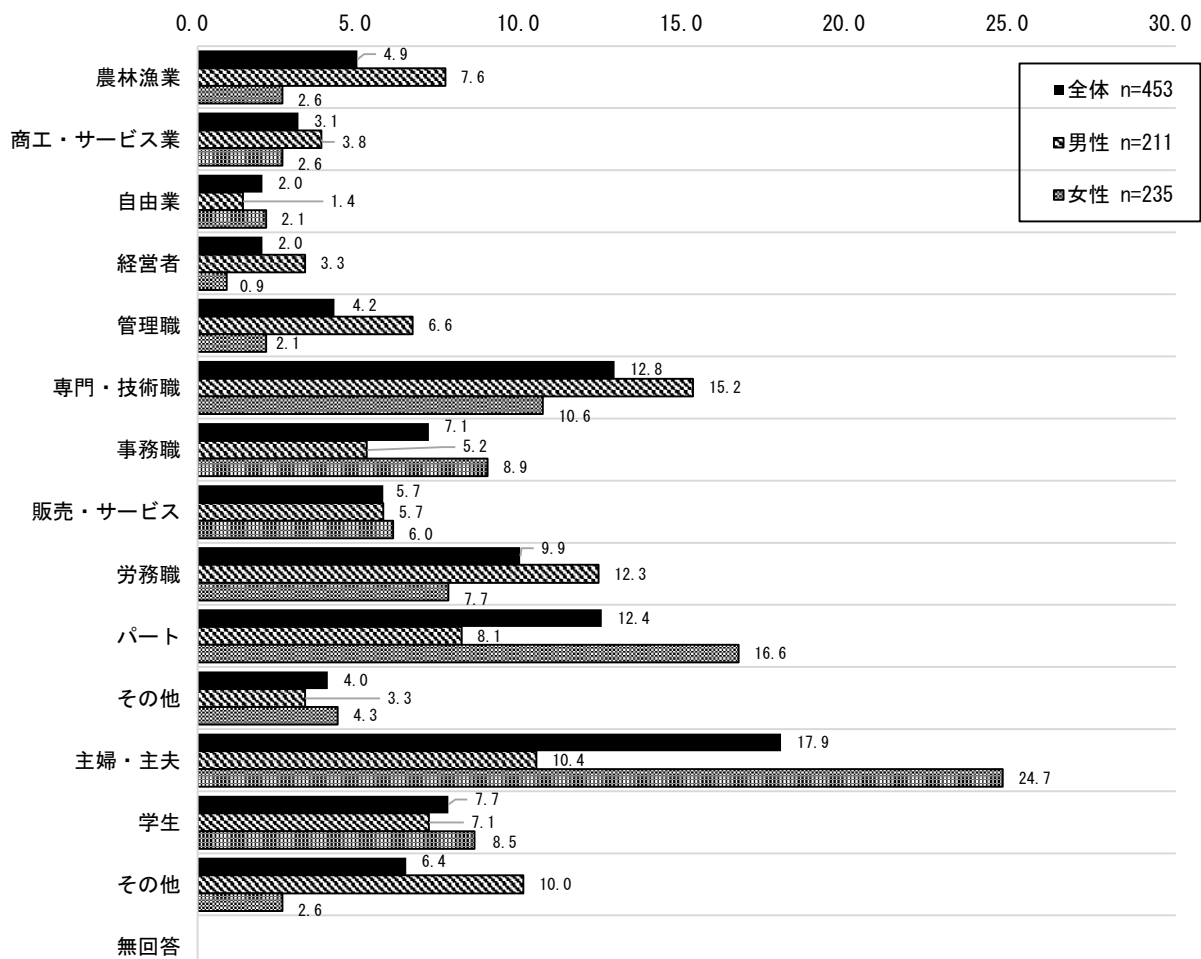
問3 居住地域

地域	全体		男性		女性	
	実数（人）	構成比（％）	実数（人）	構成比（％）	実数（人）	構成比（％）
湯沢地域	297	65.6%	131	62.1%	163	69.4%
稲川地域	75	16.6%	35	16.6%	39	16.6%
雄勝地域	56	12.4%	31	14.7%	25	10.6%
皆瀬地域	10	2.2%	6	2.8%	3	1.3%
市外	10	2.2%	7	3.3%	3	1.3%
無回答	5	1.1%	1	0.5%	2	0.9%
合計	453	100.0%	211	100.0%	235	100.0%



# 問4 就業状況

		全体		男性		女性	
職業		実数 (人)	構成比 (%)	実数 (人)	構成比 (%)	実数 (人)	構成比 (%)
自営 家族従業	農林漁業	22	4.9%	16	7.6%	6	2.6%
	商工・サービス業	14	3.1%	8	3.8%	6	2.6%
	自由業	9	2.0%	3	1.4%	5	2.1%
会社経営	経営者	9	2.0%	7	3.3%	2	0.9%
勤めている人 (役員含む)	管理職	19	4.2%	14	6.6%	5	2.1%
	専門・技術職	58	12.8%	32	15.2%	25	10.6%
	事務職	32	7.1%	11	5.2%	21	8.9%
	販売・サービス	26	5.7%	12	5.7%	14	6.0%
	労務職	45	9.9%	26	12.3%	18	7.7%
	パート	56	12.4%	17	8.1%	39	16.6%
	その他	18	4.0%	7	3.3%	10	4.3%
無職	主婦・主夫	81	17.9%	22	10.4%	58	24.7%
	学生	35	7.7%	15	7.1%	20	8.5%
	その他	29	6.4%	21	10.0%	6	2.6%
無回答		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計		453	100.0%	211	100.0%	235	100.0%



※用語の説明 自由業…開業医、弁護士、公認会計士、著述家、画家など 管理職…課長級以上 専門・技術職…勤務医師、裁判官、技術者、研究員、教員、警察官など 販売・サービス…販売店員、営業職、接客、給仕など 労務職…製造作業員、運転手、建設作業員、配達員、清掃員など



### Ⅲ. 調査結果

#### 2 男女共同参画に関する意識や取組について

問5 次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(各分野○は1つ)

分野「家庭生活」、「職場」、「学校教育の場」、「政治の場」、「法律や制度上」、「社会通念・慣習しきたりなど」、「自治会やPTAなどの地域活動の場」、「社会全体」

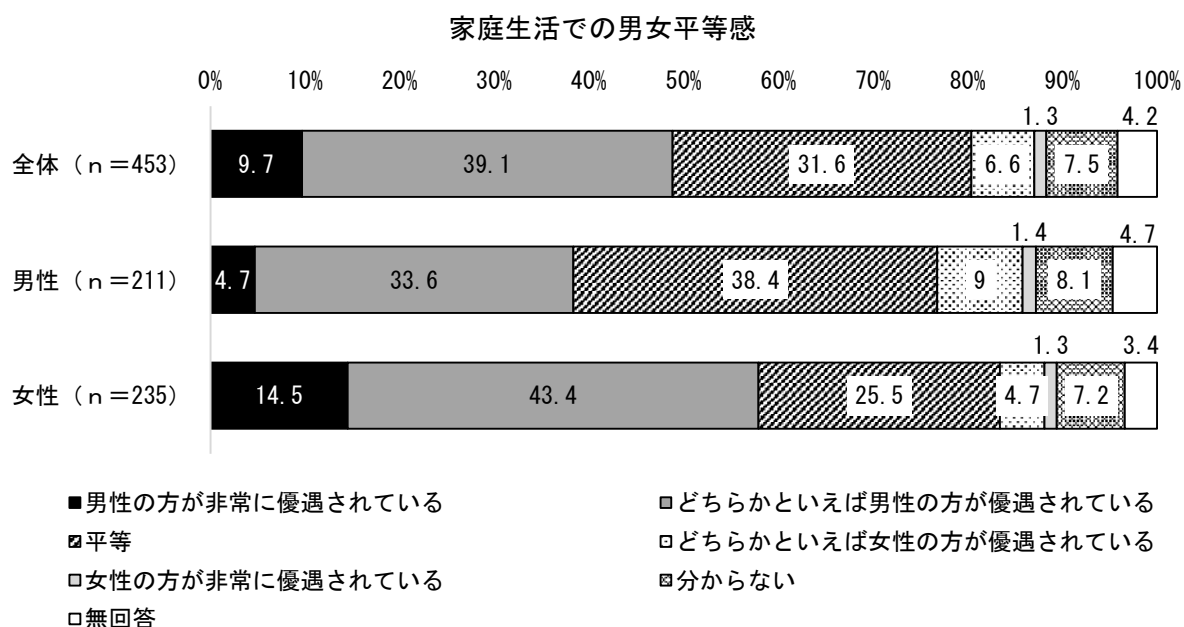
- 湯沢市では、「平等」の割合は、「学校教育の場」が最も高く、次いで「自治体やPTAなどの地域活動」、「法律や制度上」、「家庭生活」などの順で続いている。秋田県全体では、「学校教育の場」が最も高く、次いで「家庭生活」、「法律や制度上」、「自治体やPTAなどの地域活動」などの順で続いている。
- 性別にみると、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた『男性の方が優遇されている』（以下、同じ）の割合は、「職場」「学校教育の場」「社会全体」を除く項目において、女性の方が男性よりも10.0ポイント以上高くなっている。特に「法律や制度上」は21.6ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、すべての項目において女性の方が男性よりも低くなっている。秋田県全体では、「学校教育の場」をのぞく項目において、女性の方が男性よりも10.0ポイント以上高くなっている。
- 年代ごとに男性と女性の『男性の方が優遇されている』の割合を比較すると、15～19歳では「政治の場」、30～39歳では「社会通年・しきたりの場」、50～59歳では「家庭生活」「社会通年・しきたりの場」、60～69歳では「法律や制度上」において、女性の方が男性よりも30.0ポイント以上高くなっている。秋田県全体では、18～19歳では「法律や制度上」、20～29歳では「家庭生活」、30～39歳では「家庭生活」「政治の場」「法律や制度上」「社会において、女性の方が男性よりも30.0ポイント以上高くなっている。

## ア. 家庭生活

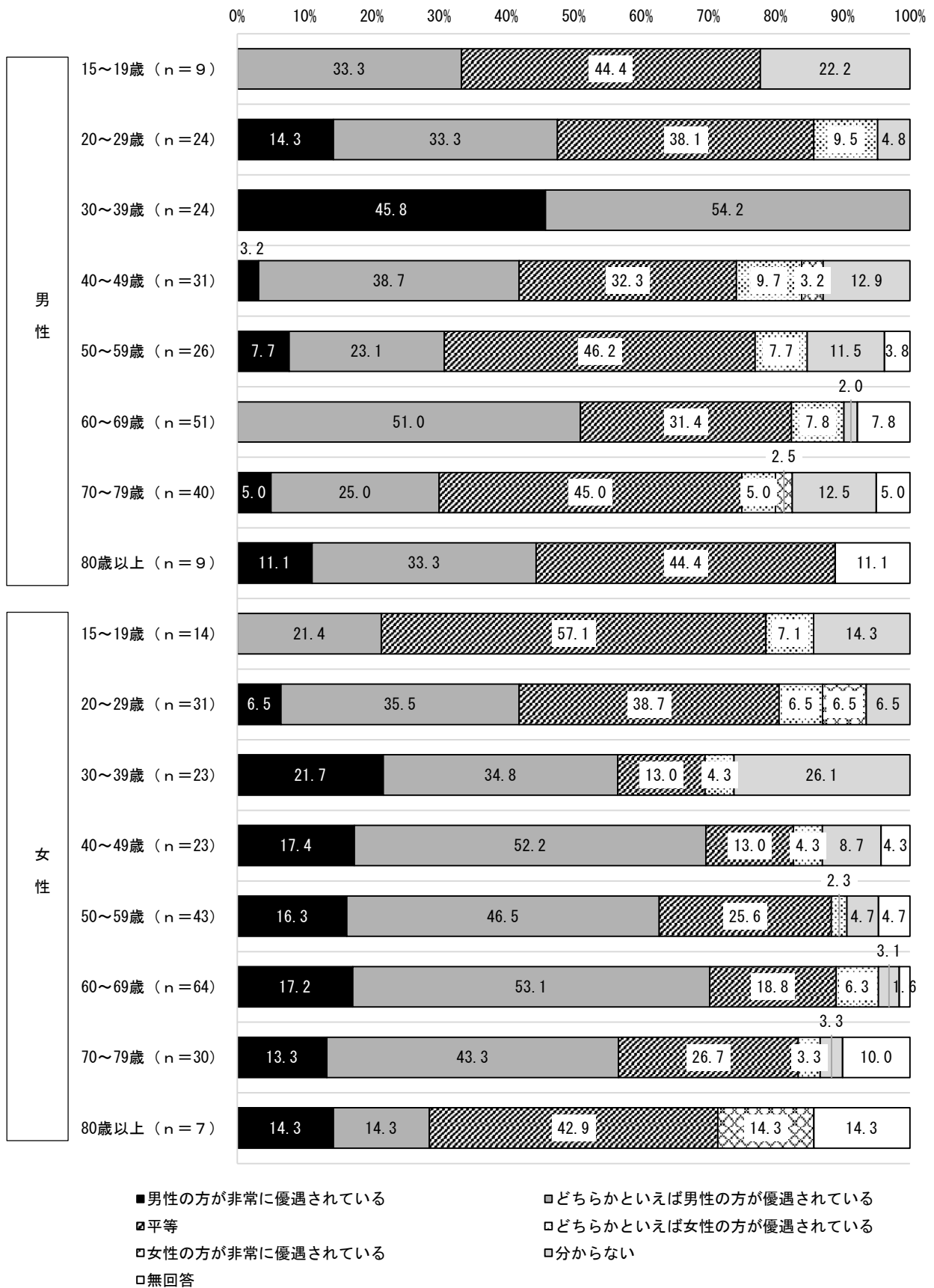
湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は48.8%となっている。また、「平等」の割合は31.6%となっている。秋田県全体の「男性の方が優遇されている」の割合は51.7%、「平等」の割合は31.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では38.3%、女性では57.9%と女性の方が男性よりも19.6ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では42.4%、女性では61.3%となっており、女性が男性よりも18.9ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では38.4%、女性が25.5%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では38.7%、女性が24.5%となっている。湯沢市、秋田県全体とも同じ傾向にある。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、30～39歳の男性（100.0%）が最も高く、次いで60～69歳の女性（70.3%）、40～49歳の女性（69.6%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は40～49歳、50～59歳、60～69歳、70～79歳の年代で女性の方が男性よりも高く、40～49歳では27.7ポイント、50～59歳では32.0ポイント、70～79歳では26.6ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳女性（72.8%）が最も高く、次いで50～59歳女性（71.8%）、30～39歳女性（65.3%）が続いている。80歳以上を除くすべての年代で女性の方が男性よりも高く、20～29歳では36.1ポイント、30～39歳では38.1ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、15～19歳の女性（57.1%）が最も高く、次いで50～59歳の男性（46.2%）、70～79歳の男性（45.0%）が続いている。「平等」の割合は、40歳以上の男性の方が女性よりも高く、50～59歳では20.6ポイント高くなっている。秋田県全体の「平等」の割合は、20～29歳男性（59.5%）が最も高く、次いで18～19歳男性（59.1%）、18～19歳女性（53.6%）が続いている。「平等」の割合は、すべての年代で男性の方が女性よりも高く、20～29歳では30.0ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに40～70歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。



家庭での男女平等感（性別×年代別）

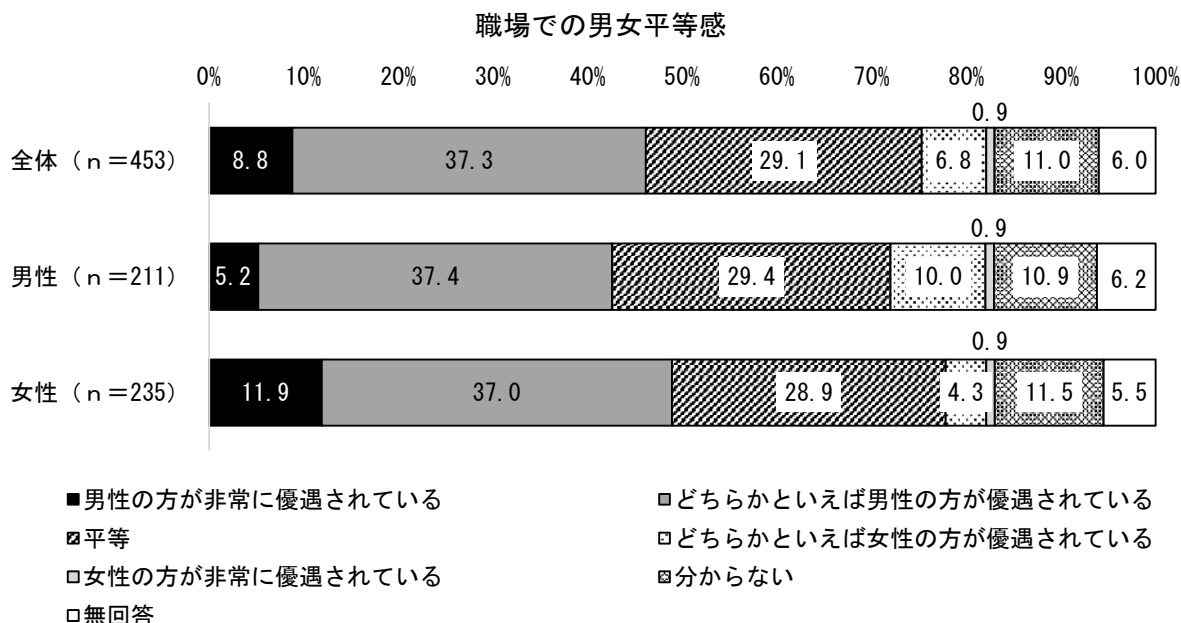


## イ 職場

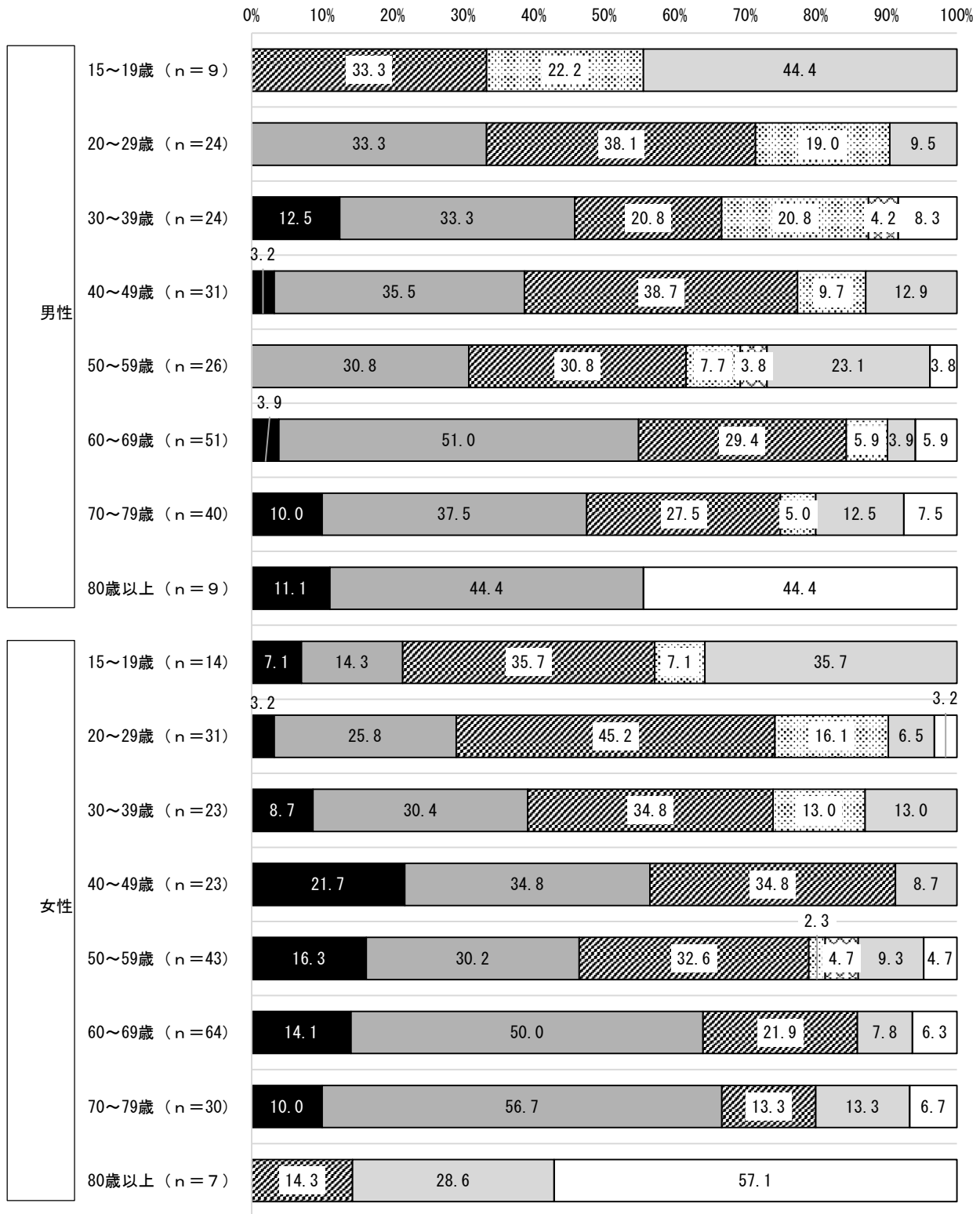
湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は46.1%となっている。また、「平等」の割合は29.1%となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は55.7%で、「平等」の割合は25.0%となっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が優遇されていると感じる割合がやや低い。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では42.6%、女性では48.9%と女性の方が男性よりも6.3ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では50.8%、女性では61.5%となっており、女性が男性よりも10.7ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では29.4%、女性が28.9%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では29.5%、女性が20.9%となっている。秋田県全体と比べて湯沢市の女性の方が『男性の方が優遇されている』と感じる割合が12.6ポイント低くなっている。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、70～79歳の女性（66.7%）が最も高く、次いで60～69歳の女性（64.1%）、40～49歳の女性（56.5%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は20～29歳、30～39歳、80歳以上を除く年代で女性の方が男性よりも高く、70～79歳では19.2ポイント、40～49歳では17.8ポイント、50～59歳では15.7ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳女性（71.6%）が最も高く、次いで60～69歳男性（69.9%）、40～49歳女性と70～79歳女性（ともに64.6%）が続いている。80歳以上を除く全ての年代で女性の方が男性よりも高く、18～19歳では25.4ポイント、30～39歳では22.7ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、20～29歳の女性（45.2%）が最も高く、次いで40～49歳の男性（38.7%）、20～29歳の男性（38.1%）が続いている。「平等」の割合は、15～19歳、20～29歳、30～39歳、50～59歳の年代で女性の方が男性よりも高くなっている。秋田県全体の「平等」の割合は、20～29歳男性（48.6%）が最も高く、次いで30～39歳男性（42.4%）、50～59歳（37.3%）が続いている。「平等」の割合は、80歳以上を除く全ての年代で男性の方が女性よりも高く、20～29歳では23.6ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに40～70歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。



職場での男女平等感（性別×年代別）



■男性の方が非常に優遇されている  
 ■平等  
 ■女性の方が非常に優遇されている  
 □無回答

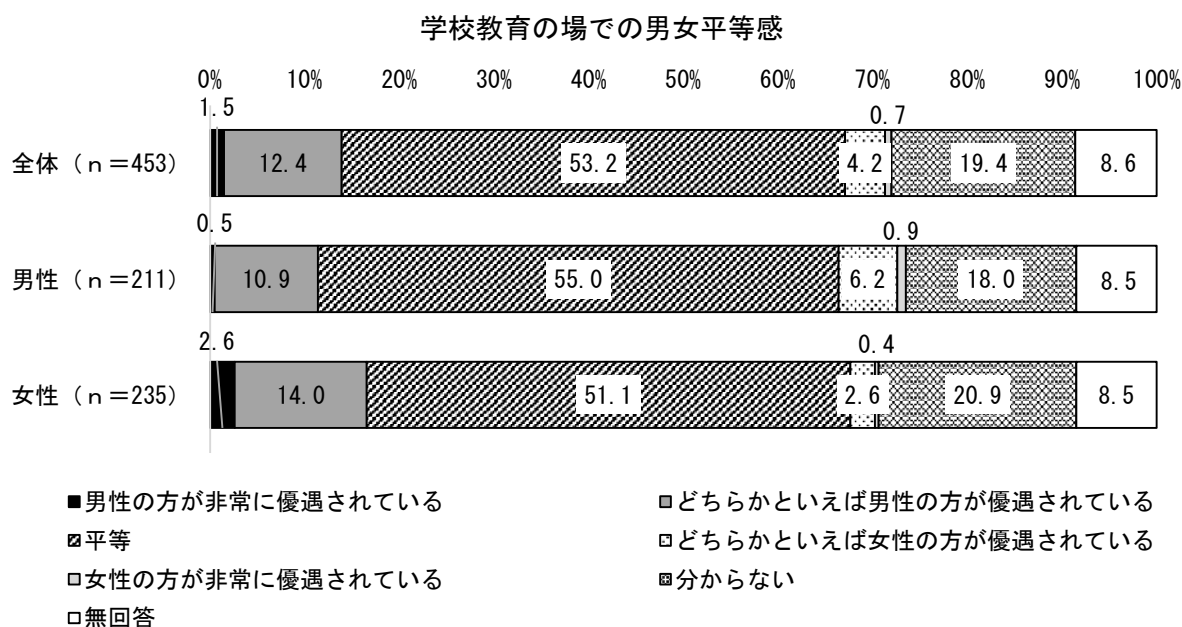
□どちらかといえば男性の方が優遇されている  
 □どちらかといえば女性の方が優遇されている  
 □分からない

## ウ 学校教育の場

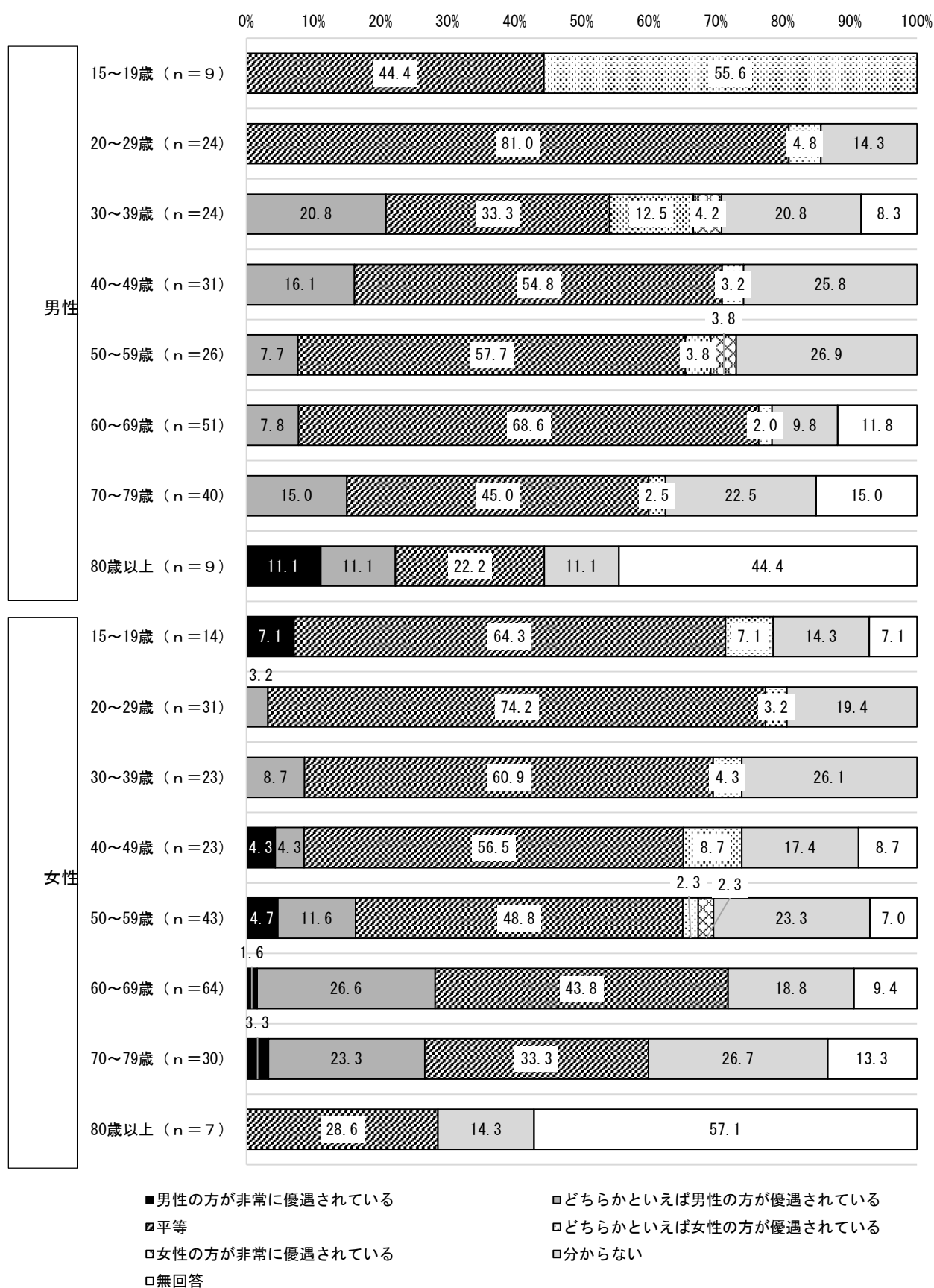
湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は13.9%となっている。また、「平等」の割合は53.2%となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は16.7%で、「平等」の割合は52.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では11.4%、女性では16.6%と女性の方が男性よりも5.2ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では13.4%、女性では19.7%となっており、女性の方が男性よりも6.3ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では55.0%、女性が51.1%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では55.5%、女性が50.8%となっている。湯沢市と秋田県全体の男女の感じ方は、同じ傾向にある。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳の男性（28.2%）が最も高く、次いで70～79歳の女性（26.6%）、80歳以上の男性（22.2%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は30～39歳、40～49歳、80歳以上を除く年代で女性の方が男性よりも高く、60～69歳では20.4ポイント、70～79歳では11.6ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳女性（27.1%）が最も高く、次いで70～79歳女性（26.1%）、80歳以上女性（22.6%）が続いている。20～29歳を除くすべての年代で女性の方が男性よりも高く、30～39歳では12.2ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、20～29歳の男性（81.0%）が最も高く、次いで20～29歳の女性（74.2%）、60～69歳の男性（68.6%）が続いている。「平等」の割合は、年代によって男女の感じ方が異なっている。秋田県全体の「平等」の割合は、18～19歳女性（78.6%）が最も高く、次いで50～59歳男性（62.7%）、30～39歳女性（61.2%）が続いている。「平等」の割合は、18～19歳、20～29歳、30～39歳ではいずれも女性の方が男性よりも高く、18～19歳では28.6ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに50～70歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。



学校教育の場での男女平等感（性別×年代別）

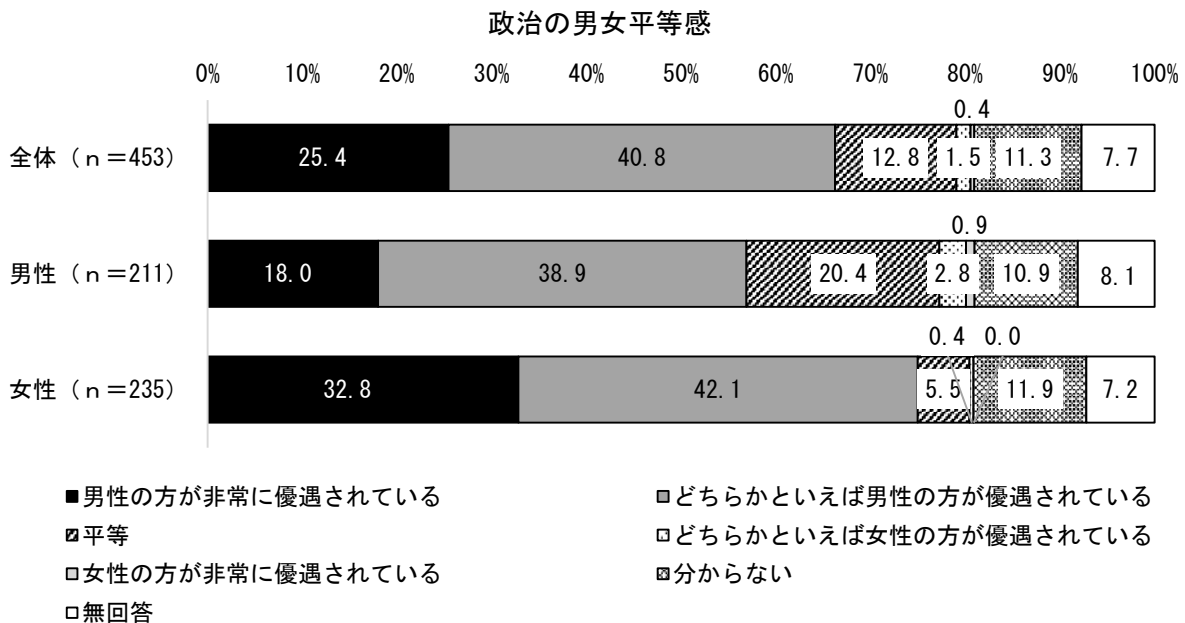


## エ 政治の場

湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は 66.2% となっている。また、『平等』の割合は 12.8% となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は 76.9% で、『平等』の割合は 8.9% となっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が『男性の方が優遇されている』と感じる割合が 10.7 ポイント低くなっている。

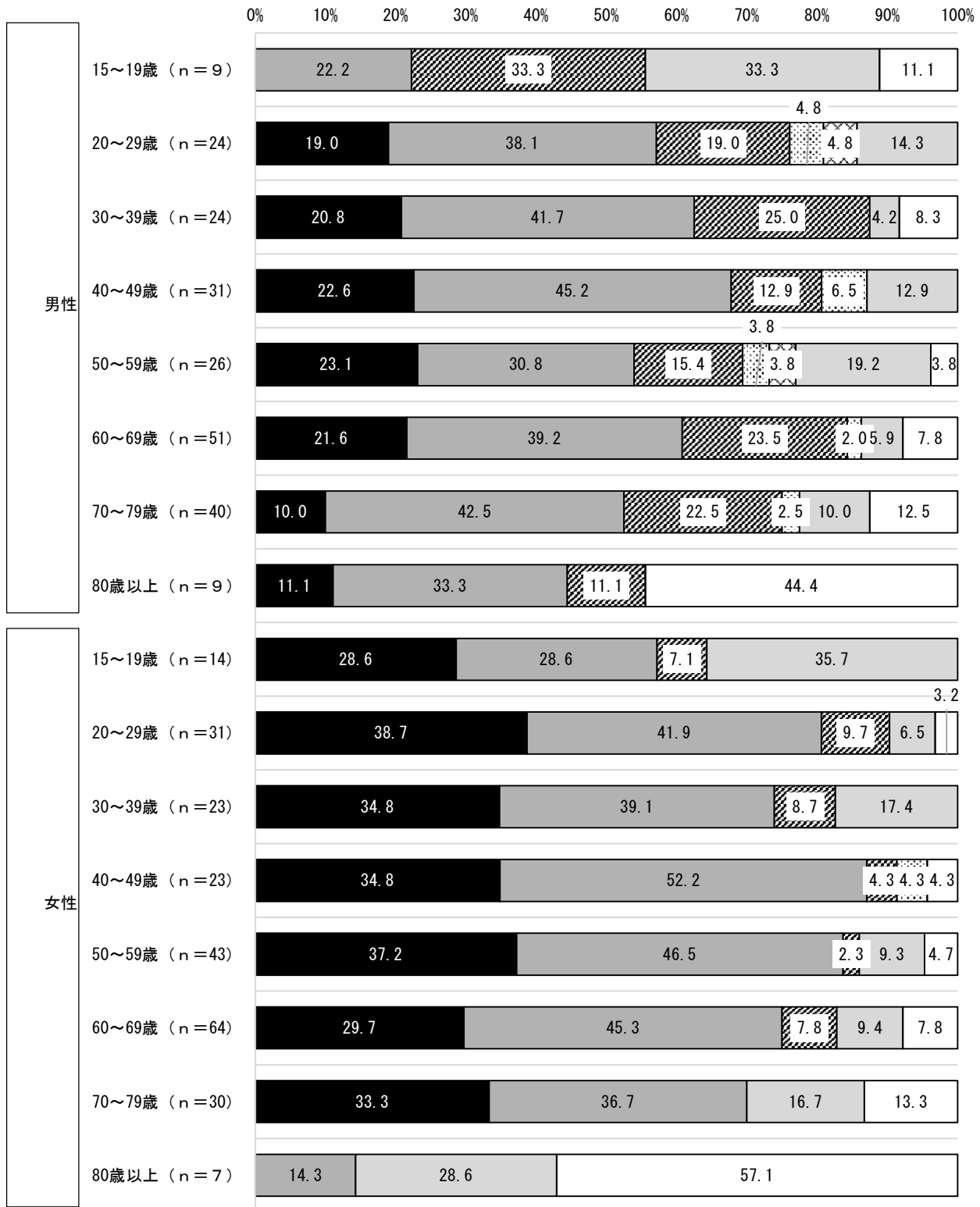
性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では 56.9%、女性では 74.9% と女性の方が男性よりも 18.0 ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では 72.1%、女性では 82.3% となっており、女性が男性よりも 10.2 ポイント高くなっている。また、『平等』の割合は、男性では 20.4%、女性が 5.0% となっている。秋田県全体の『平等』の割合は、男性では 12.1%、女性が 5.4% となっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が『男性の方が優遇されている』と感じる男性が 15.2 ポイント低くなっている。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、40～49 歳の女性（87.0%）が最も高く、次いで 50～59 歳の女性（83.7%）、20～29 歳の女性（80.6%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は 80 歳以上を除いて全ての年代で女性の方が男性よりも高く、15～19 歳では 35.0 ポイント、50～59 歳では 29.8 ポイント、20～29 歳では 23.5 ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、30～39 歳の女性（95.9%）最も高く、次いで 60～69 歳女性（93.8%）、50～59 歳女性（92.3%）が続いている。18～19 歳と 80 歳以上を除く全ての年代で女性の方が男性よりも高く、30～39 歳では 38.3 ポイント高くなっている。また、『平等』の割合は、15～19 歳の男性（33.3%）が最も高く、次いで 30～39 歳の男性（25.0%）、60～69 歳の男性（23.5%）が続いている。『平等』の割合は、すべての年代で男性の方が女性よりも高かった。秋田県全体の『平等』の割合は、70～79 歳男性（21.9%）が最も高く、次いで 18～19 歳女性（14.3%）、20～29 歳男性（13.5%）が続いている。『平等』の割合は、18～19 歳、80 歳以上を除く全ての年代で男性の方が女性よりも高く、70～79 歳では 17.3 ポイント高くなっている。秋田県全体、湯沢市ともに 20～70 歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。





政治の場での男女平等感（性別×年代別）



■男性の方が非常に優遇されている  
 ■平等  
 ■女性の方が非常に優遇されている  
 □無回答

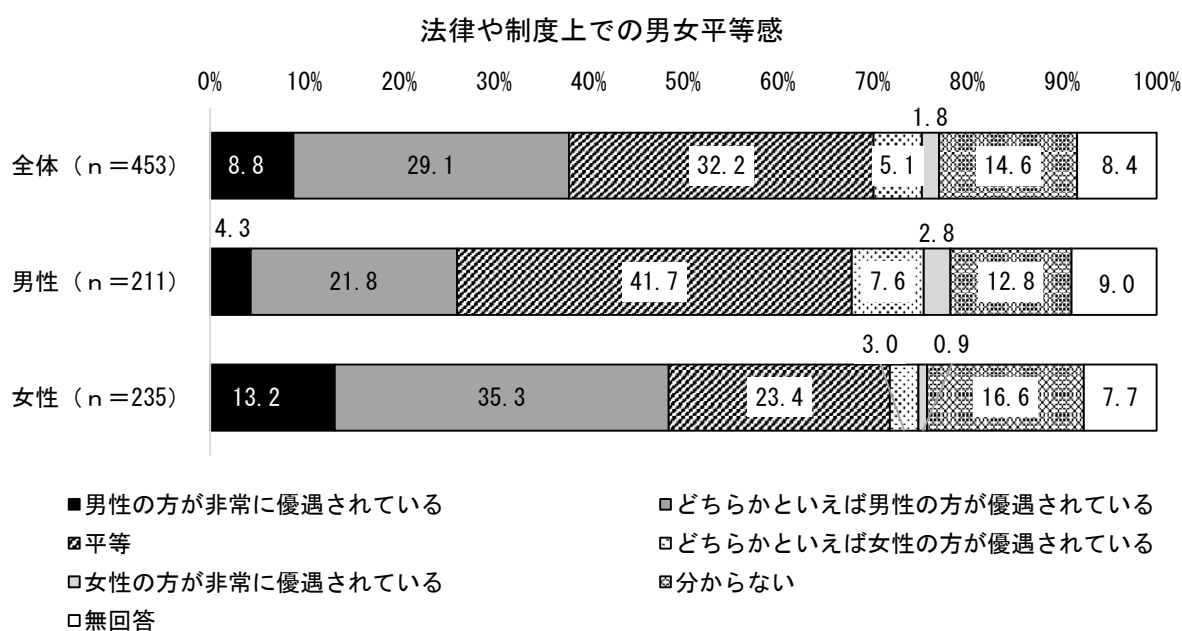
□どちらかといえば男性の方が優遇されている  
 □どちらかといえば女性の方が優遇されている  
 □分からない

## オ 法律や制度上

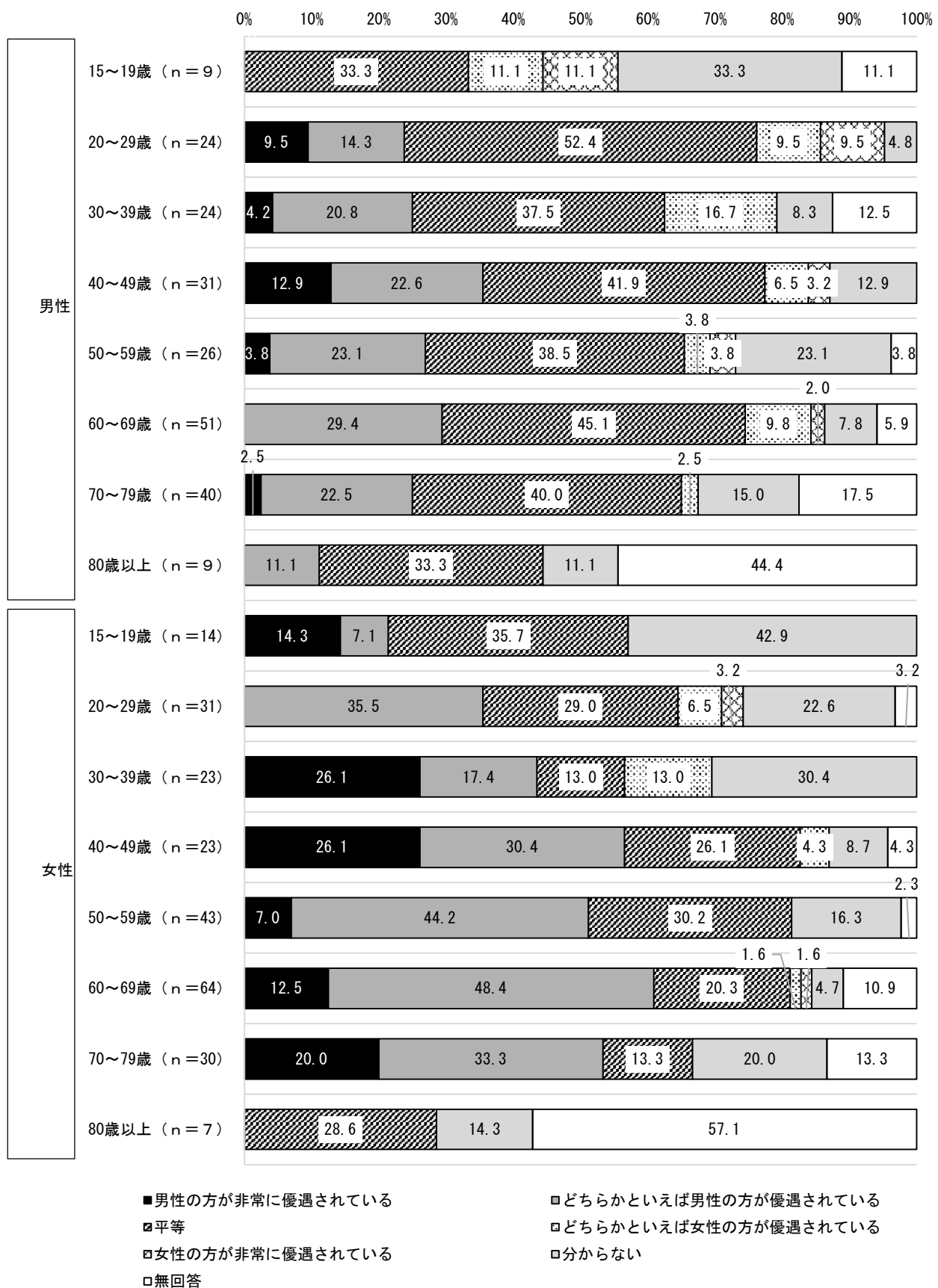
湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は37.9%となっている。また、「平等」の割合は32.2%となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は42.6%で、「平等」の割合は29.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では26.1%、女性では48.5%と女性の方が男性よりも22.4ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では35.0%、女性では49.9%となっており、女性が男性よりも14.9ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では41.7%、女性が23.4%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では36.6%、女性が23.8%となっている。「男性の方が優遇されている」と感じる女性の割合は湯沢市、秋田県全体とともにほぼ同じだが、男性は秋田県全体よりも湯沢市の方が10.6ポイント低い。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳の女性（60.9%）が最も高く、次いで40～49歳の女性（56.5%）、70～79歳の女性（53.3%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は80歳以上を除く全ての年代で女性の方が男性よりも高く、60～69歳では31.5ポイント、70～79歳では28.3ポイント、50～59歳では24.3ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳の女性（63.0%）が最も高く、次いで60～69歳男性（57.5%）、30～39歳女性（57.1%）が続いている。80歳以上を除く全ての年代で女性の方が男性よりも高く、18～19歳では30.1ポイント、30～39歳では35.9ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、20～29歳の男性（52.4%）が最も高く、次いで40～49歳の男性（41.9%）、60～69歳の男性（45.1%）が続いている。「平等」の割合は、15～19歳を除くすべての年代で男性の方が女性よりも高かった。秋田県全体の「平等」の割合は、70～79歳男性（48.4%）が最も高く、次いで18～19歳男性（40.9%）、50～59歳男性（37.3%）が続いている。「平等」の割合は、80歳以上を除く全ての年代で男性の方が女性よりも高く、70～79歳では31.5ポイント高くなっている。秋田県全体、湯沢市ともに18～70歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。



法律や制度上の男女平等感（性別×年代別）

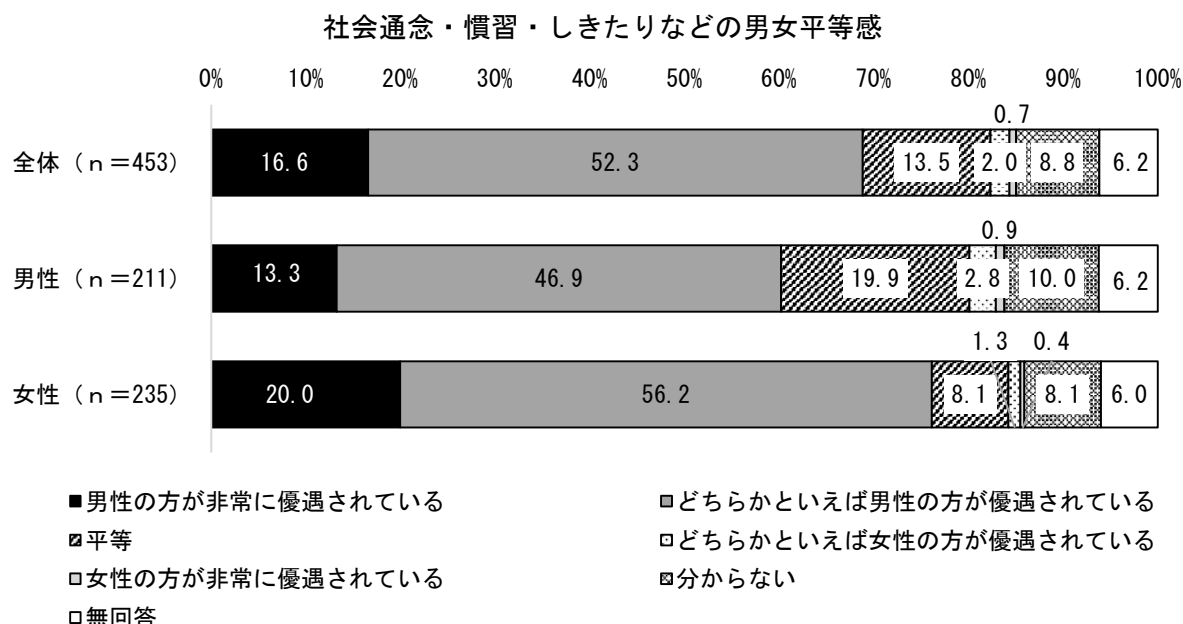


## カ 社会通念・慣習・しきたりなど

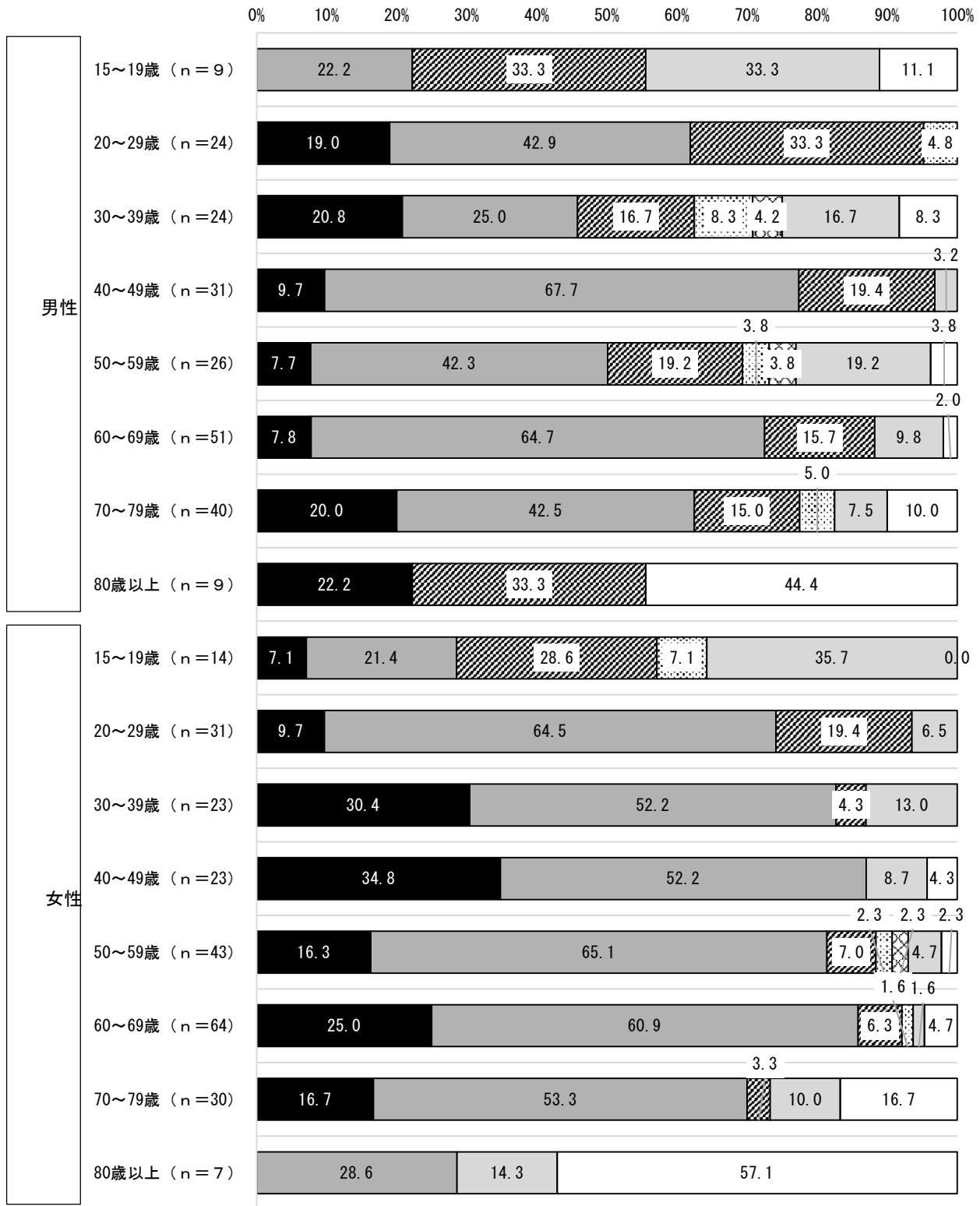
湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は 68.9%となっている。また、「平等」の割合は 13.5%となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は 73.6%で、「平等」の割合は 11.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では 60.2%、女性では 76.2%と女性の方が男性よりも 16.0 ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では 68.1%、女性では 79.8%となっており、女性が男性よりも 11.7 ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では 19.9%、女性が 8.1%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では 15.8%、女性が 8.4%となっている。『男性の方が優遇されている』と感じる割合は秋田県全体と比べて男性ではやや低く、女性はほぼ同じ傾向にある。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、40～49 歳の女性（87.0%）が最も高く、次いで 60～69 歳の女性（85.9%）、30～39 歳の女性（82.6%）が続いている。「男性の方が優遇されている」の割合は全ての年代で女性の方が男性よりも高く、30～39 歳では 36.8 ポイント、50～59 歳では 31.4 ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69 歳の女性（92.6%）が最も高く、次いで 40～49 歳男性（86.1%）、50～59 歳女性（84.7%）が続いている。80 歳以上を除くすべての年代で女性の方が男性よりも高く、18～19 歳では 26.9 ポイント、30～39 歳では 29.1 ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、15～19 歳と 20～29 歳、80 歳以上の男性（33.3%）が最も高く、次いで 15～19 歳の女性（28.6%）が続いている。「平等」の割合はすべての年代で男性の方が女性よりも高かった。秋田県全体の「平等」の割合は、18～19 歳男性（27.3%）が最も高く、次いで 20～29 歳男性（24.3%）、70～79 歳男性（18.8%）が続いている。「平等」の割合は、全ての年代で男性の方が女性よりも高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに 18～70 歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。



社会通念・慣習・しきたりなどの男女平等感（性別×年代別）



☒ 男性の方が非常に優遇されている  
☒ 平等  
☐ 女性の方が非常に優遇されている  
☐ 無回答

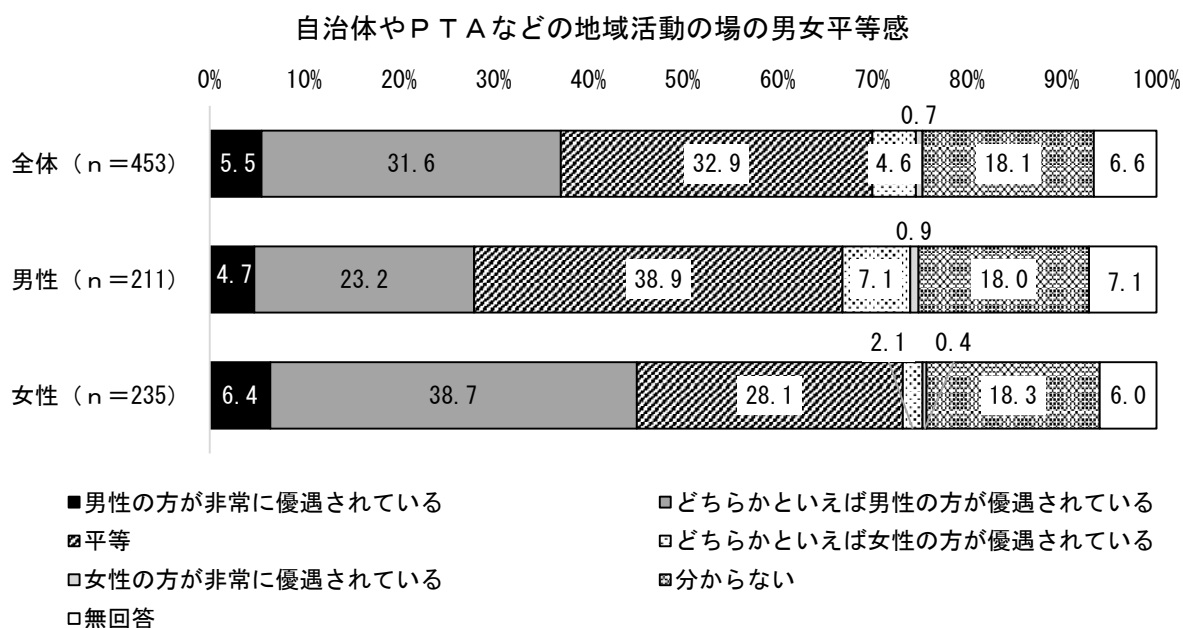
☐ どちらかといえば男性の方が優遇されている  
☐ どちらかといえば女性の方が優遇されている  
☐ 分からない

## キ 自治体やPTAなどの地域活動の場

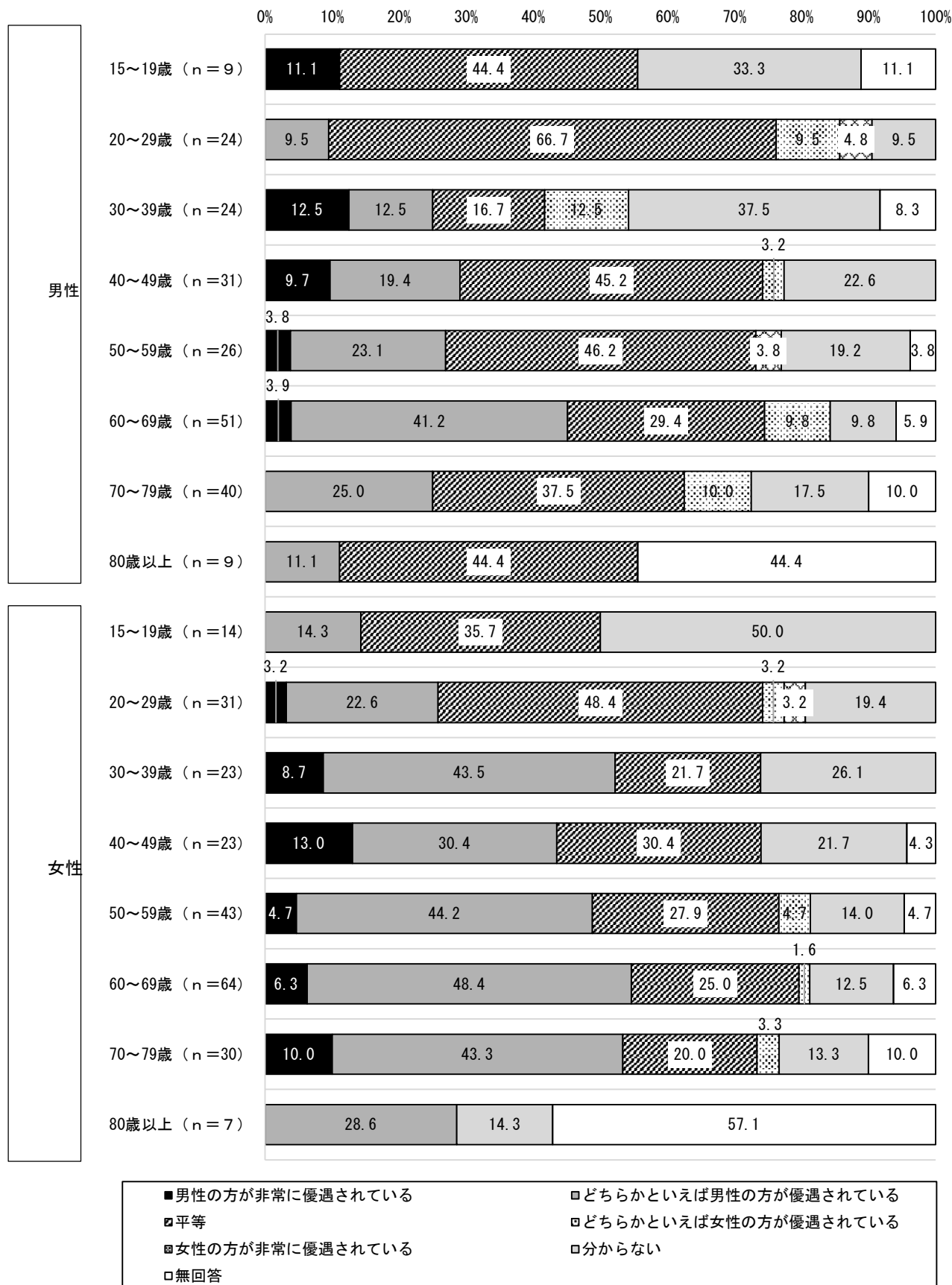
湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は37.1%となっている。また、「平等」の割合は32.9%となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は41.8%で、「平等」の割合は29.4%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では27.9%、女性では45.1%と女性の方が男性よりも17.2ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では36.5%、女性では46.7%となっており、女性が男性よりも10.2ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では38.9%、女性が28.1%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では32.9%、女性が26.3%となっている。『男性の方が優遇されている』と感じる割合は、女性はほぼ同じ傾向にあるが、男性では秋田県全体と比べて湯沢市の方がやや低い。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69歳の女性（54.7%）が最も高く、次いで70～79歳の女性（53.3%）、30～39歳の女性（52.2%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は全ての年代で女性の方が男性よりも高く、70～79歳では28.3ポイント、30～39歳では27.2ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、30～39歳の女性（57.1%）が最も高く、次いで60～69歳女性（56.8%）、50～59歳女性（51.2%）が続いている。全ての年代で女性の方が男性よりも高く、30～39歳では23.7ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、20～29歳男性（66.7%）が最も高く、次いで20～29歳の女性（48.4%）が続いている。「平等」の割合は30～39歳を除く全ての年代で男性の方が女性よりも高かった。秋田県全体の「平等」の割合は、18～19歳男性（50.0%）が最も高く、次いで18～19歳男性（39.3%）、60～69歳男性（37.0%）が続いている。「平等」の割合は、40～49歳を除く全ての年代で男性の方が女性よりも高く、60～69歳では14.8ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに全ての年代の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。



自治体やPTAなどの地域活動の場の男女平等感（性別×年代別）

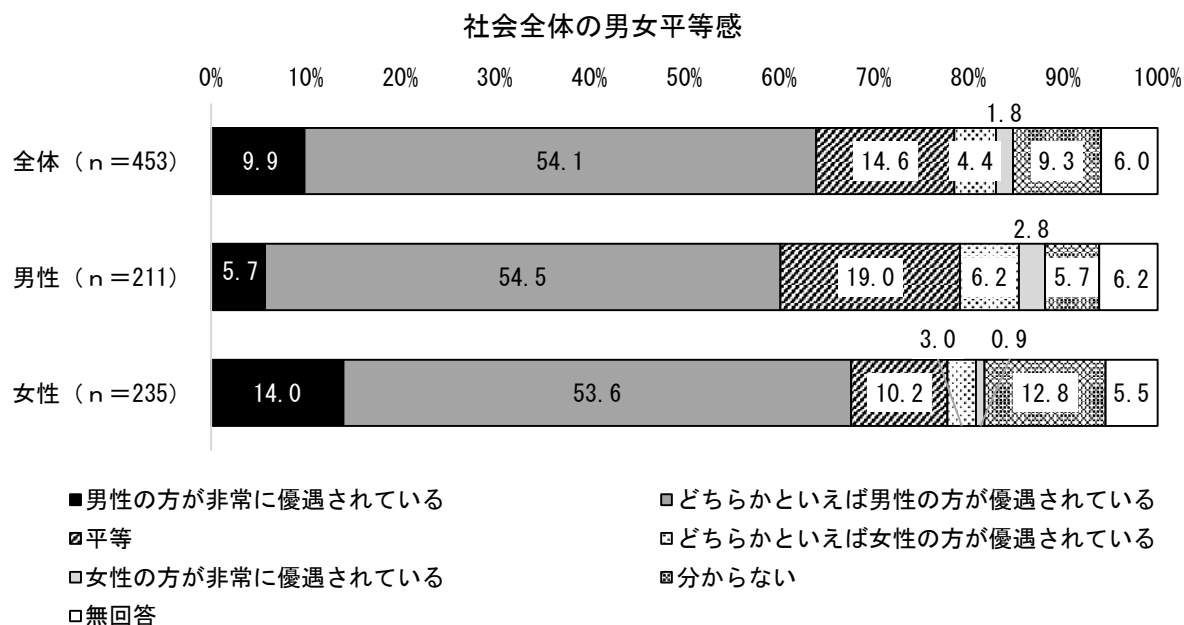


## ク 社会全体

湯沢市では、『男性の方が優遇されている』の割合は 64.0%となっている。また、「平等」の割合は 14.6%となっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は 68.0%で、「平等」の割合は 13.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

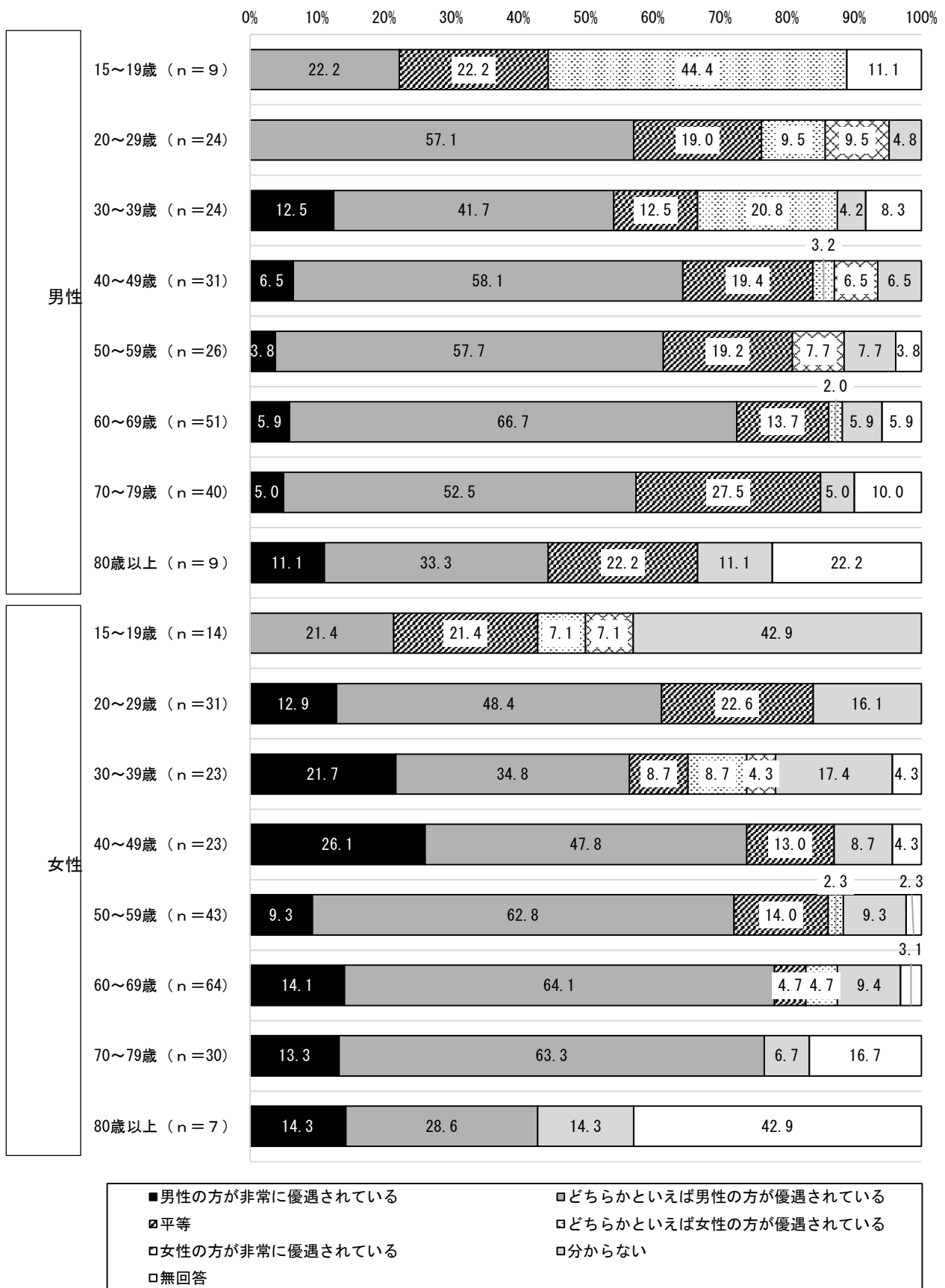
性別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では 60.2%、女性では 67.6%と女性の方が男性よりも 7.4 ポイント高くなっている。秋田県全体の『男性の方が優遇されている』の割合は、男性では 61.4%、女性では 75.3%となっており、女性が男性よりも 13.9 ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、男性では 19.0%、女性が 10.2%となっている。秋田県全体の「平等」の割合は、男性では 16.8%、女性が 10.0%となっている。「男性の方が優遇されている」と感じる割合が男性はほぼ同じ傾向にあるが、女性では秋田県全体と比べて湯沢市の方がやや低い。

性別×年代別にみると、『男性の方が優遇されている』の割合は、60～69 歳の女性（78.2%）が最も高く、次いで 70～79 歳の女性（76.6%）、40～49 歳の女性（73.9%）が続いている。『男性の方が優遇されている』の割合は、15～19 歳及び 80 歳以上を除く全ての年代で女性の方が男性よりも高く、70～79 歳では 19.1 ポイント、30～39 歳では 11.6 ポイント、50～59 歳で 10.6 ポイント高くなっている。秋田県全体の「男性の方が優遇されている」の割合は、60～69 歳の女性（87.6%）が最も高く、次いで 50～59 歳女性（83.3%）、30～39 歳女性（79.6%）が続いている。全ての年代で女性の方が男性よりも高く、30～39 歳では 31.1 ポイント、50～59 歳では 22.3 ポイント高くなっている。また、「平等」の割合は、70～79 歳男性（27.5%）が最も高く、次いで 20～29 歳の女性（22.6%）が続いている。「平等」の割合は 20～29 歳を除く全ての年代で男性の方が女性よりも高かった。秋田県全体の「平等」の割合は、18～19 歳と 40～49 歳を全ての年代で男性の方が女性よりも高く、60～69 歳では 15.5 ポイント、70～79 歳では 15.7 ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに 20～70 歳の女性が『男性の方が優遇されている』の割合が高い。





社会全体の男女平等感（性別×年代別）



問6 次の家庭での仕事について、主に誰が行っていますか。(各項目○は1つ)

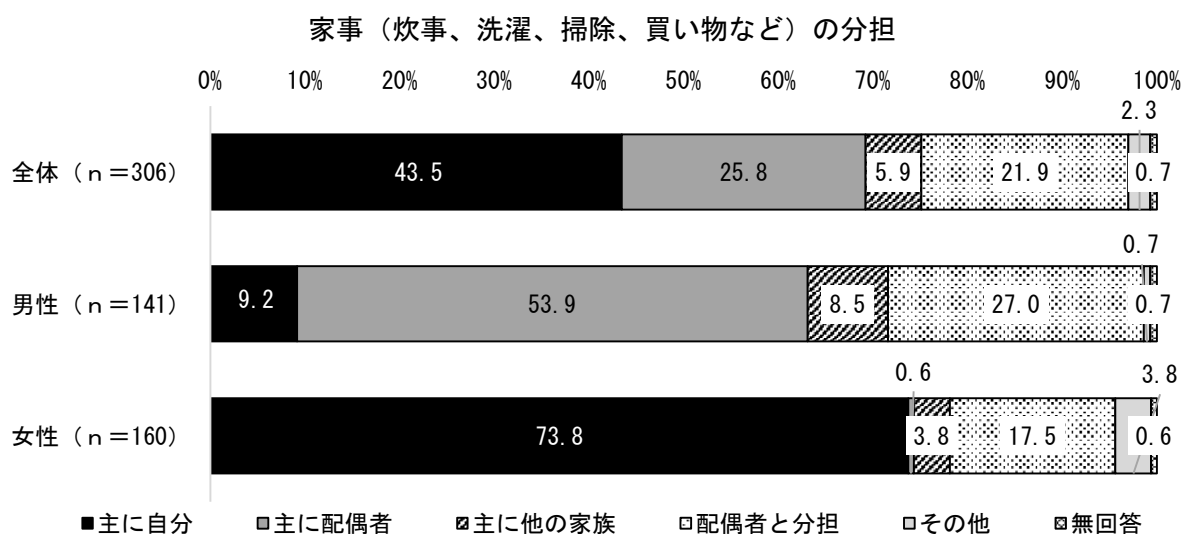
※配偶者がいる方のみ（パートナー・事実婚を含む）回答

- 湯沢市では、「配偶者と分担でやっている」の割合は、「育児（子どもの世話、しつけ、教育など）」が最も高く、次いで「地域活動（近所づきあい、町内会行事への参加など）」「家事（炊事、洗濯、掃除、買い物など）」の順で続いている。秋田県全体では、「配偶者と分担でやっている」の割合は、「育児（子どもの世話、しつけ、教育など）」が最も高く、次いで「家周りの作業（除草・雪かきなど）」と「家事（炊事、洗濯、掃除、買い物など）」の順で続いている。
- 性別に「主に自分でやっている」の割合をみると、「家周りの作業（除草・雪かきなど）」と「地域活動（近所づきあい、町内会行事への参加など）」では、男性の方が女性よりも高く、「家事（炊事、洗濯、掃除、買い物など）」、「育児（子どもの世話、しつけ、教育など）」「介護・看護」では、男性よりも女性の方が高くなっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。

#### ア 家事（炊事、洗濯、掃除、買い物など）

湯沢市では、「主に自分がやっている」と「主に配偶者がやっている」を合わせた『主にどちらか一方がやっている』（以下、同じ）の割合が69.3%となり、「配偶者と分担でやっている」は21.9%となっている。秋田県全体の『主にどちらか一方がやっている』は66.1%、「配偶者と分担でやっている」は20.5%となっており、湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

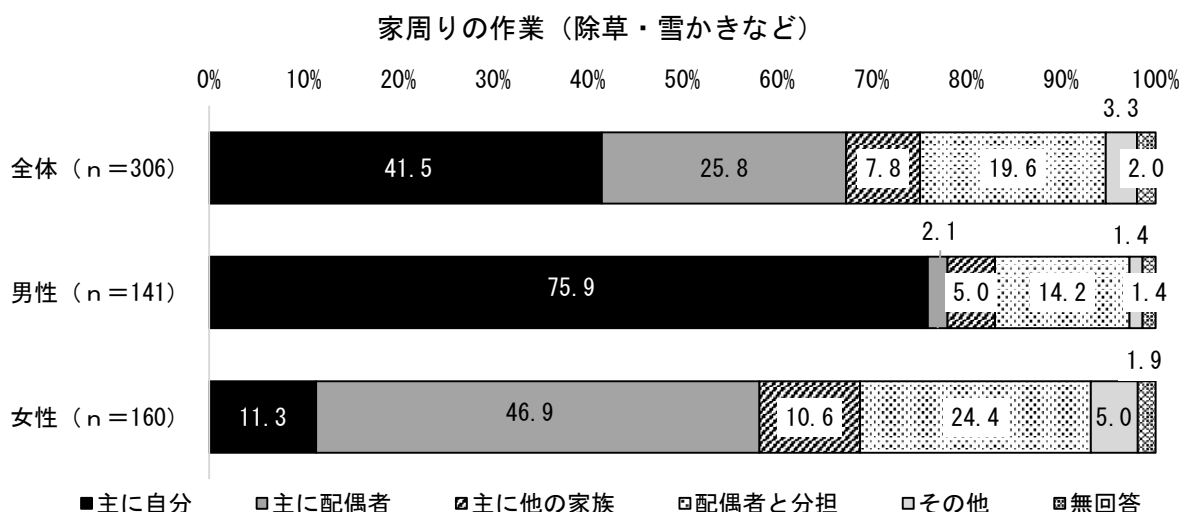
性別にみると、「主に自分でやっている」の割合は、男性では9.2%である一方、女性では73.8%となっており、女性の方が男性よりも64.6ポイント高くなっている。秋田県全体では男性が7.5%、女性が67.3%となっており、女性の方が男性よりも59.8ポイント高くなっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が「主に自分でやっている」女性の割合がやや高い。



## イ 家周りの作業（除草、雪かきなど）

湯沢市では、『主にどちらか一方がやっている』の割合が 67.3% となり、「配偶者と分担でやっている」は 19.6% となっている。秋田県全体の『主にどちらか一方がやっている』は 57.4%、「配偶者と分担でやっている」は 23.8% となっており、秋田県全体と比べて湯沢市の方が『主にどちらか一方がやっている』の割合がやや高い。

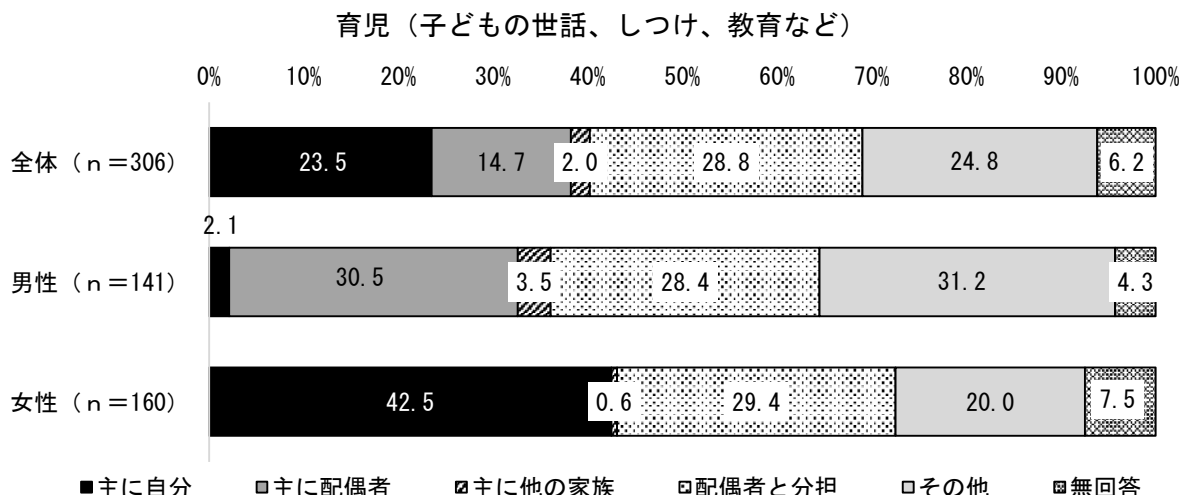
性別にみると、「主に自分でやっている」の割合は、男性では 75.9% である一方、女性では 11.3% となっており、男性の方が女性よりも 64.6 ポイント高くなっている。秋田県全体では男性が 52.0%、女性が 19.8% となっており、男性の方が女性よりも 32.2 ポイント高くなっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が「主に自分でやっている」男性の割合が 23.9 ポイント高い。



## ウ 育児（子どもの世話、しつけ、教育など）

湯沢市では、『主にどちらか一方がやっている』の割合が 38.2% となり、「配偶者と分担でやっている」は 28.8% となっている。秋田県全体の『主にどちらか一方がやっている』は 38.3%、「配偶者と分担でやっている」は 24.1% となっており、湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向が見られる。

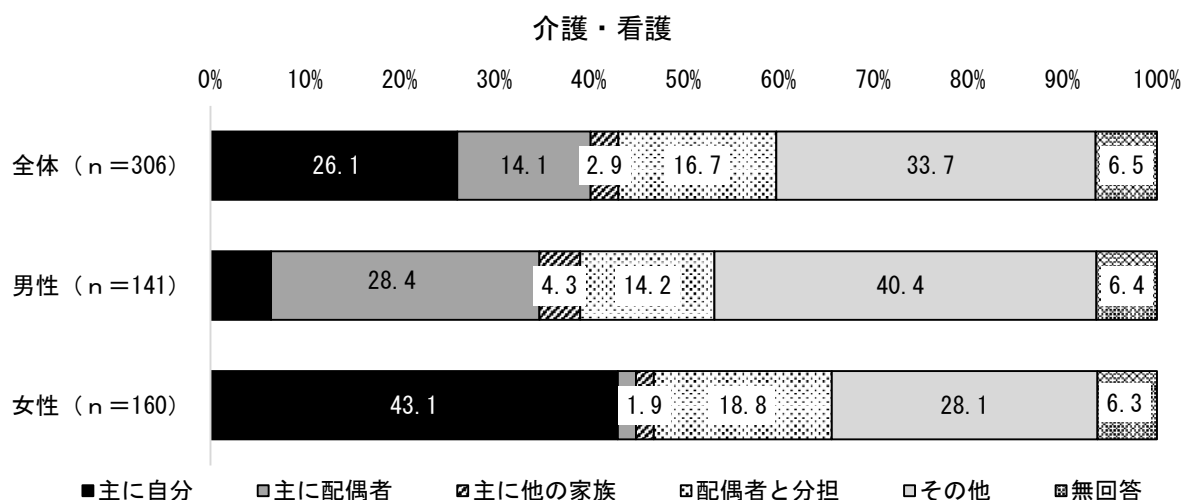
性別にみると、「主に自分でやっている」の割合は、男性では 2.1% である一方、女性では 42.5% となっており、女性のほうが男性よりも 40.4 ポイント高くなっている。秋田県全体では男性が 2.3%、女性が 42.6% となっており、男性の方が女性よりも 40.3 ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。



## エ 介護・看護

湯沢市では、『主にどちらか一方がやっている』の割合が40.2%となり、「配偶者と分担でやっている」は16.7%となっている。秋田県全体の『主にどちらか一方がやっている』は30.2%、「配偶者と分担でやっている」は11.7%となっており、秋田県全体と比べて湯沢市の方が『主にどちらか一方がやっている』の割合は10.0ポイント高い。

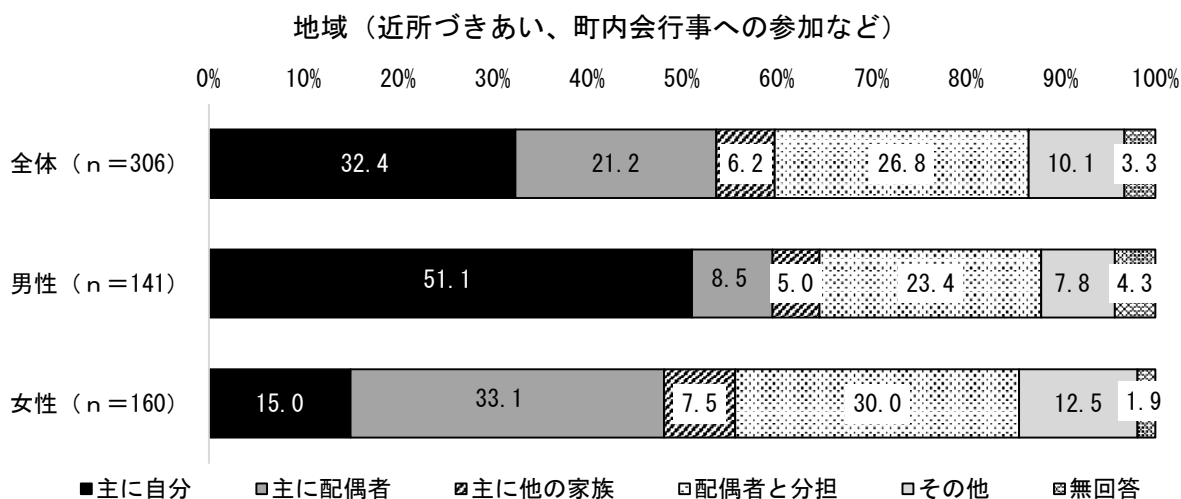
性別にみると、「主に自分でやっている」の割合は、男性では6.4%である一方、女性では43.1%となっており、女性のほうが男性よりも36.7ポイント高くなっている。秋田県全体では男性が5.2%、女性が31.8%となっており、女性の方が男性よりも26.6ポイント高くなっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が「主に自分でやっている」女性の割合が11.3ポイント高い。



## オ 地域活動（近所づきあい、町内会行事への参加など）

湯沢市では、『主にどちらか一方がやっている』の割合が53.6%となり、「配偶者と分担でやっている」は26.8%となっている。秋田県全体の『主にどちらか一方がやっている』は52.9%、「配偶者と分担でやっている」は20.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、「主に自分でやっている」の割合は、男性では51.1%である一方、女性では15.0%となっており、男性のほうが女性よりも36.1ポイント高くなっている。秋田県全体では男性が41.8%、女性が23.3%となっており、男性の方が女性よりも18.5ポイント高くなっている。秋田県全体と比べて湯沢市の方が「主に自分でやっている」男性がやや高く、女性はやや低い。



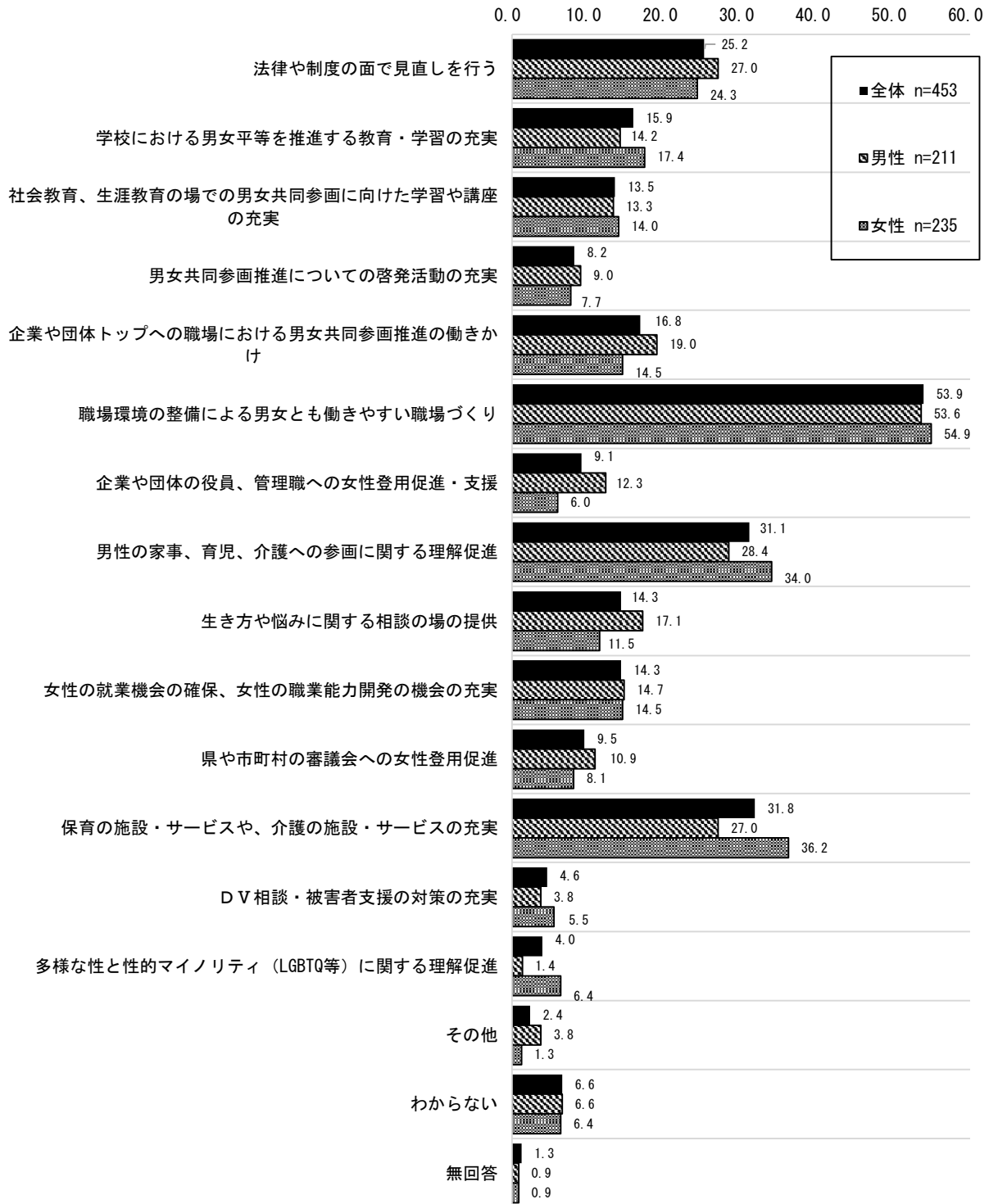
問7 男女共同参画社会の実現に向けて、今後、行政はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか？（〇は3つまで）

- 湯沢市では、「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」の割合が最も高くなっている。男女ともに第1位である。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」の割合が53.9%で最も高く、次いで「保育や介護の施設・サービス等の充実」が31.8%、「男性の家事・育児等への参画にかんする理解促進」が31.1%で続いている。秋田県全体では「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」の割合が50.2%で最も高く、次いで「保育や介護の施設・サービス等の充実」が32.1%、「男性の家事・育児等への参画にかんする理解促進」が31.8%で続いている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ上位となっている。

性別で見ると、上位3項目は、男性では「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」（53.6%）、「男性の家事・育児等への参画にかんする理解促進」（28.4%）、「保育や介護の施設・サービス等の充実」と「法律や制度面で見直しを行う」（27.0%）となった一方で、女性では「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」（54.9%）、次いで「保育や介護の施設・サービス等の充実」（36.2%）、「男性の家事・育児等への参画にかんする理解促進」（34.0%）となっている。秋田県全体では、男性では「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」（44.7%）、「法律や制度面で見直しを行う」（30.3%）、「男性の家事・育児等への参画にかんする理解促進」（27.4%）となった一方、女性では「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」（55.6%）「保育や介護の施設・サービス等の充実」（37.6%）、「男性の家事・育児等への参画にかんする理解促進」（36.3%）となっており、女性の方が男性よりも「保育や介護の施設・サービス等の充実」では11.3ポイント、「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」では10.9ポイント高くなっている。湯沢市と秋田県全体を比べると、男性では「職場環境の整備による男女とも働きやすい職場づくり」の割合が湯沢市でやや高い。女性はほぼ同じ傾向にある。

男女共同参画に推進に向けて力を入れたらよいと思う施策



■その他意見（抜粋）

夫婦別姓など。男性／55～59歳／湯沢地域

休みやすい職場、仕事量。男性／45～49歳／湯沢地域

しきたりにとらわれず自由でチャレンジできる世の中にしてほしい。男性40～44歳／湯沢地域

婚活イベント活動。男性／30～34歳／稲川地域

男女共同参画社会に係る法整備や社会的イメージが一足飛びに勧められていると感じるため、ここで改めて男女共同参画社会の在り方に関する議論が必要だと考える。男性／30～34歳／湯沢地域

県議会議員や市議会議員への女性の登用。男性／50～54歳／雄勝地域

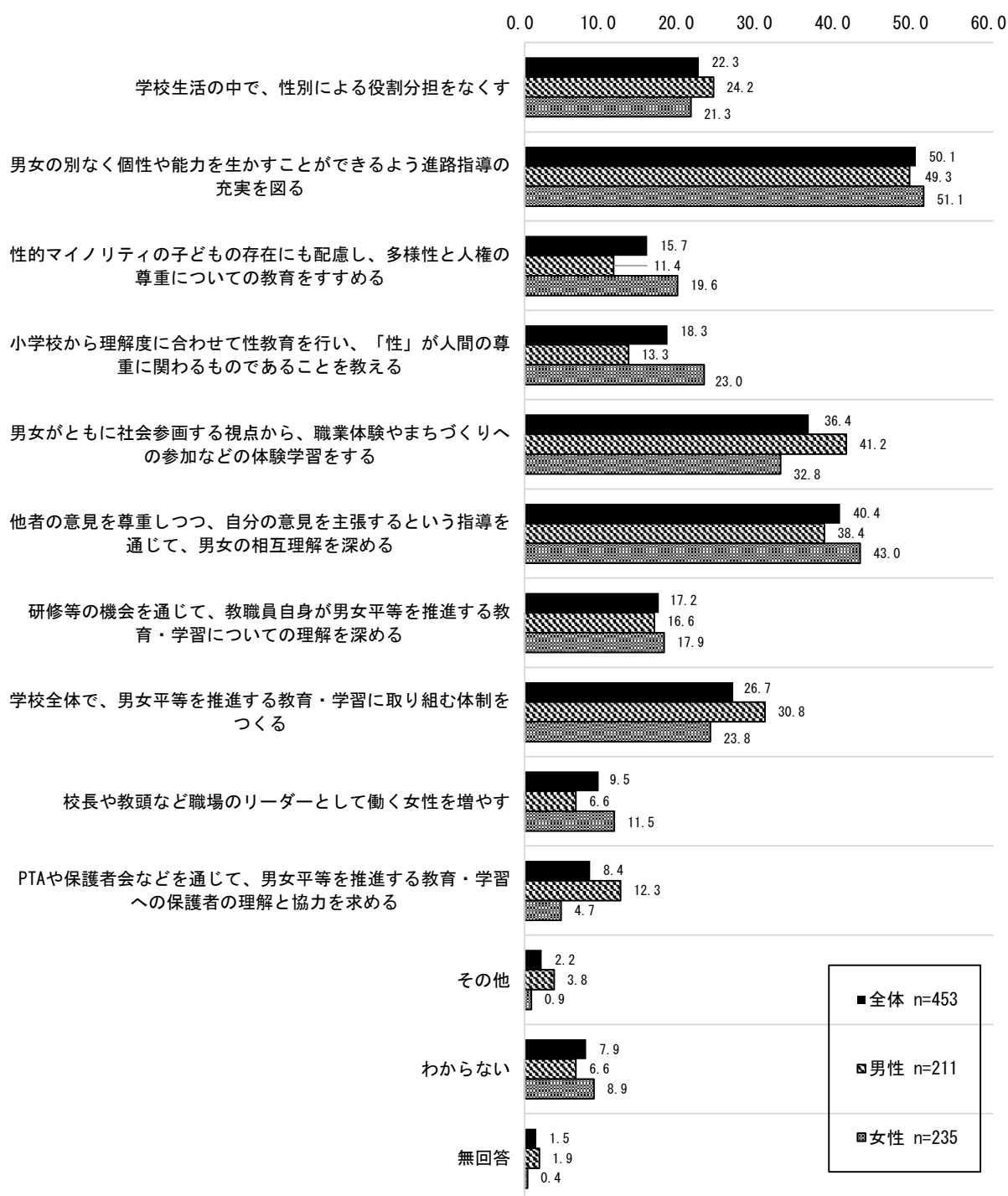
問8 男女平等を推進する教育・学習をすすめるために、学校にどのようなことを期待しますか。  
(○は3つまで)

●湯沢市では、「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」の割合が最も高くなっている。男女ともに第1位である。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」の割合が50.1%で最も高く、次いで「他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深める」が40.4%、「男女がともに社会参画する視点から、職業体験やまちづくりへの参加などの体験学習をする」が36.4%で続いている。秋田県全体では「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」の割合が47.9%で最も高く、次いで「他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深める」が43.6%、「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」が30.6%で続いている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ上位となっている。

性別で見ると、上位3項目は、男性では「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」(49.3%)、「男女がともに社会参画する視点から、職業体験やまちづくりへの参加などの体験学習をする」(41.2%)、「他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深める」(38.4%)、となった一方で、女性では「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」(51.1%)、次いで「他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深める」(43.0%)、「男女がともに社会参画する視点から、職業体験やまちづくりへの参加などの体験学習をする」(32.8%)となっている。秋田県全体では、男性では「他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深める」(44.2%)、「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」(43.9%)、「男女がともに社会参画する視点から、職業体験やまちづくりへの参加などの体験学習をする」(32.4%)となった一方、女性では「男女の別なく個性や能力を生かすことができるよう進路指導の充実を図る」(52.4%)「他者の意見を尊重しつつ、自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深める」(44.2%)、「男女がともに社会参画する視点から、職業体験やまちづくりへの参加などの体験学習をする」(29.5%)となっている。湯沢市と秋田県全体を比べると、男女がともに社会参画する視点から、職業体験やまちづくりへの参加などの体験学習をする」の割合が湯沢市でやや高い。女性はほぼ同じ傾向にある。

# 男女共同参画に推進する教育・学習をすすめるために学校に期待する事



## ■その他意見（抜粋）

男女では適否に限度が発生する可能性があるという事を、優しさをもって教育していきたい。男性／45～49歳／湯沢地域  
 それぞれ出来ることがある事実を教え、その中でどうやって助け合いながら生きていくかを教育してほしい。男性／20～24歳／湯沢地域  
 基本は家庭教育ではないかと考えます。設問が学校教育だけに限定されることに違和感があります。男性／55～59歳／湯沢地域  
 そもそも教育以前の問題で、家族・家庭がそのような環境になればいくら教育で子供達に教えたところで変わらない。  
 地域性もあるのだろうが、まずは大人が意識を変えていかないと子供達にも響かないと思う。女性／35～39歳／皆瀬地域  
 お互い様で助け合う事が大事であり、人間誰しも得意不得意があるので、道徳的な面での教育や意識を持つことが必要だと思われる。男性／45～49歳／稲川地域



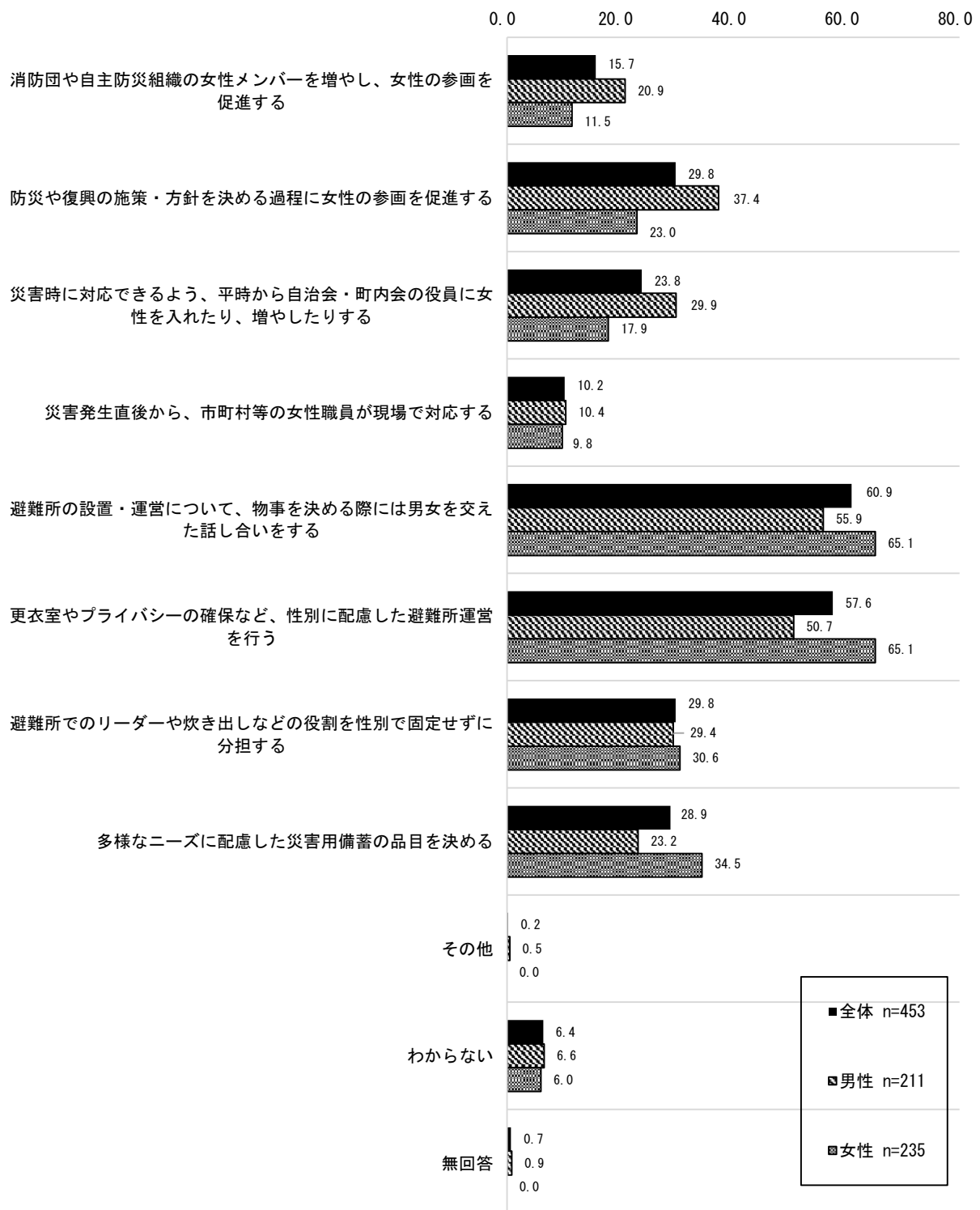
問9 性別に配慮した防災・災害対応を進めるためにはどのようなことが必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

- 湯沢市では、「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」の割合が最も高くなっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別にみると、男性では「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」、女性では「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」と「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」の割合が最も高くなっている。

湯沢市では、「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」の割合が60.9%で最も高く、次いで「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」が57.6%、「防災や復興の施策・方針を決める過程に女性の参画を促進する」「避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を性別で固定せずに分担する」が29.8%で続いている。秋田県全体では「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」の割合が60.0%で最も高く、次いで「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」が59.8%、「避難所でのリーダーや炊き出しなどの役割を性別で固定せずに分担する」が30.8%で続いている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ上位となっている。

性別で見ると、上位3項目は、男性では「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」(55.7%)、「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」(50.9%)、「防災や復興の施策・方針を決める過程に女性の参画を促進する」(37.4%)、となった一方で、女性では「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」と「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」(65.1%)、次いで「多様なニーズに配慮した災害用備蓄の品目を決める」(34.5%)、となっており、女性の方が男性よりも「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」では14.2ポイント高くなっている。秋田県全体では、男性では「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」(59.7%)、「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」(52.9%)、「防災や復興の施策・方針を決める過程に女性の参画を促進する」(31.8%)となった一方、女性では「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」(66.9%)「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」(61.7%)、「多様なニーズに配慮した災害用備蓄の品目を決める」(34.0%)となっており、女性の方が男性よりも「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」では14.0ポイント高く、男性の方が女性よりも「消防団や自主防災組織の女性メンバーを増やし、女性の参画を促進する」では13.4ポイント高くなっている。湯沢市と秋田県全体を比べると男女ともにほぼ同じ傾向にある。

# 性別に配慮した防災・災害対応に必要なこと



### 3 女性の活躍推進について

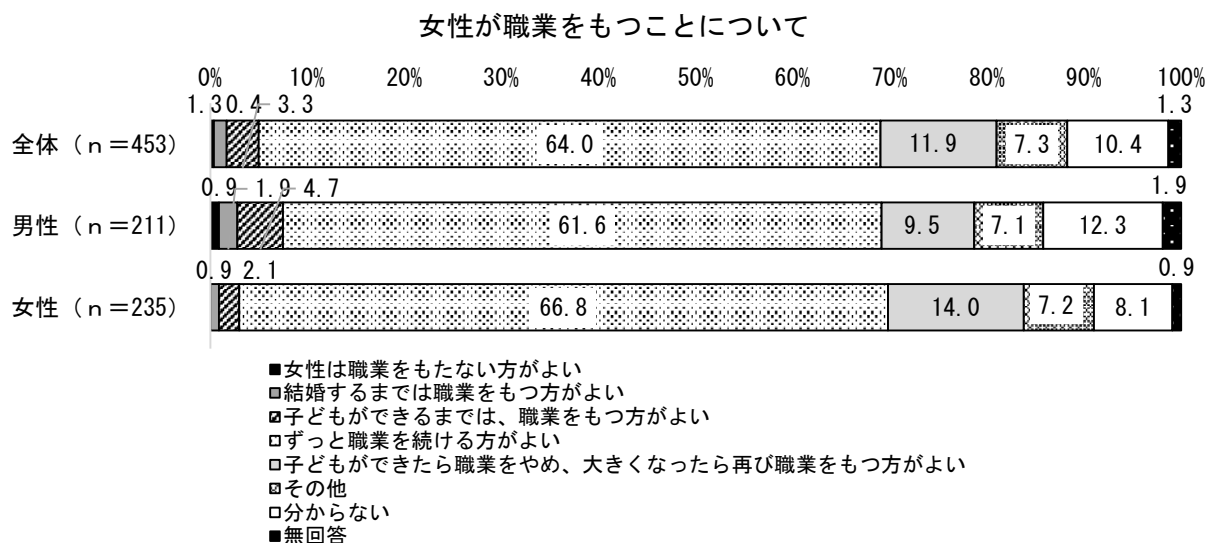
#### 問10 女性が職業をもつことについて、どう思いますか。(〇は1つ)

- 湯沢市では、「ずっと職業を続ける方がよい」の割合が最も高くなっている。男女ともに同じ傾向にある。「その他」の内容は「個人の自由」等の意見が多くみられる。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別×年代別にみると、「ずっと職業を続ける方がよい」の割合は、30代では女性の方が男性よりも30.0ポイント以上の差があり、認識の差がある。秋田県全体では、34歳以下の男女で「ずっと職業を続ける方がよい」「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合に20.0ポイント以上の差がある。

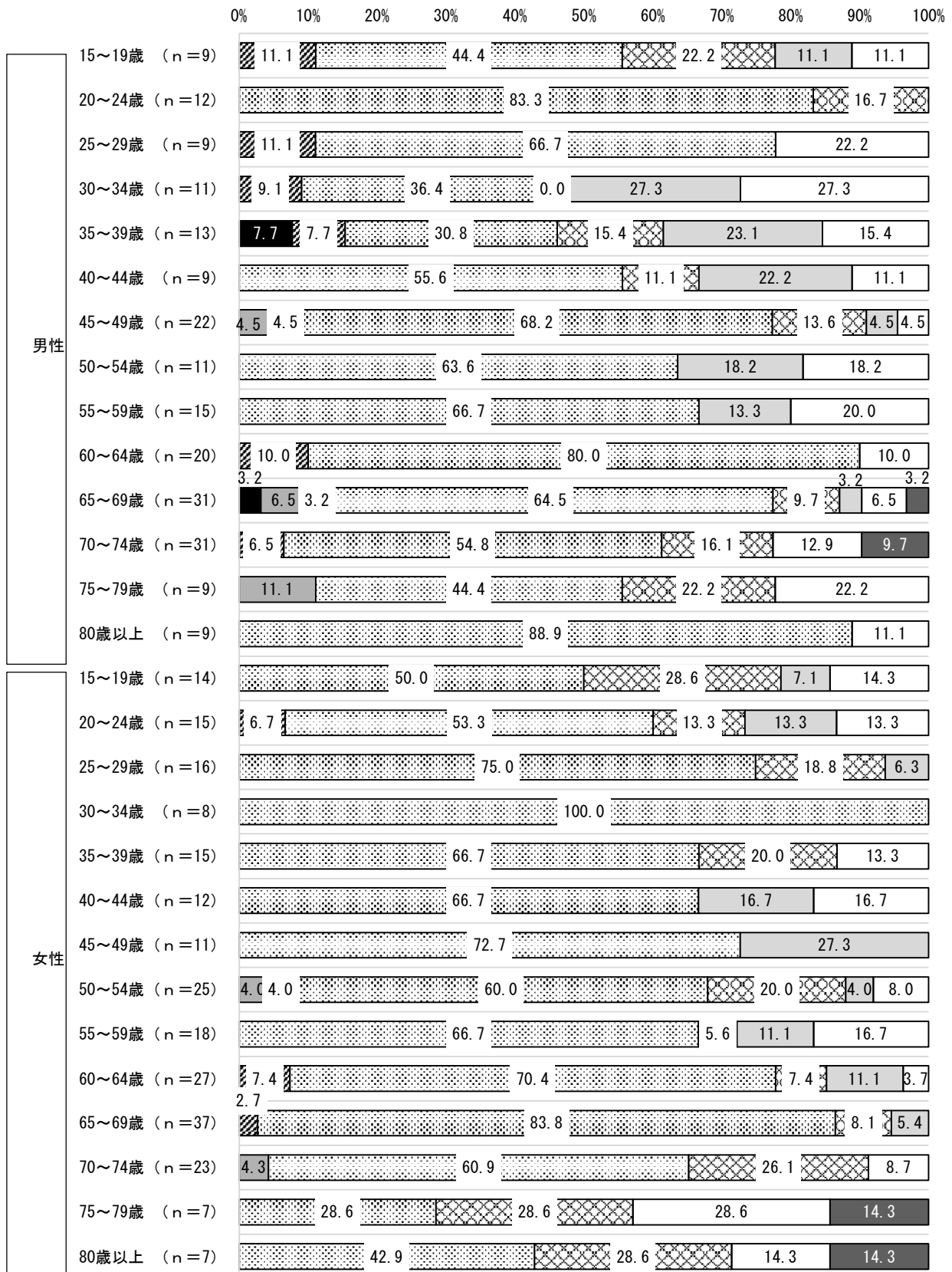
湯沢市では、「ずっと職業を続ける方がよい」の割合が64.0%で最も高く、次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は11.9%となっている。秋田県全体では、「ずっと職業を続ける方がよい」は61.7%となっており、次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は14.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、「ずっと職業を続ける方がよい」の割合は、男性では61.6%である一方、女性では66.8%となっている。秋田県全体では男性が61.8%、女性が62.6%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。「女性は職業をもたない方がよい」は湯沢市の男性に0.9%見られたが、秋田県全体では0.0%であった。

性別×年代別にみると、「ずっと職業を続ける方がよい」の割合がいずれの年代でも最も高くなっている。「ずっと職業を続ける方がよい」の割合は、20～24歳では男性の方が女性よりも33.3ポイント、30～34歳では女性の方が男性よりも63.6ポイント、35～39歳では35.9ポイント高くなっている。また、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合は、25～29歳では女性の方が男性よりも18.8ポイント高くなっている。秋田県全体でも、「ずっと職業を続ける方がよい」の割合がいずれの年代でも最も高くなっている。「ずっと職業を続ける方がよい」の割合は、25～29歳では女性の方が23.3ポイント、30～34歳では女性の方が男性よりも22.2ポイント高くなっている。また、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」の割合は、20～24歳では女性の方が20.7ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに若年層を中心に全体的に「ずっと職業を続ける方がよい」と考える割合が高い。



女性が職業をもつことについて（性別×年代別）



- 女性に職業をもたない方がよい
- 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- ずっと職業を続ける方がよい
- その他

■その他意見 多数の意見が「個人の問題である」という回答。

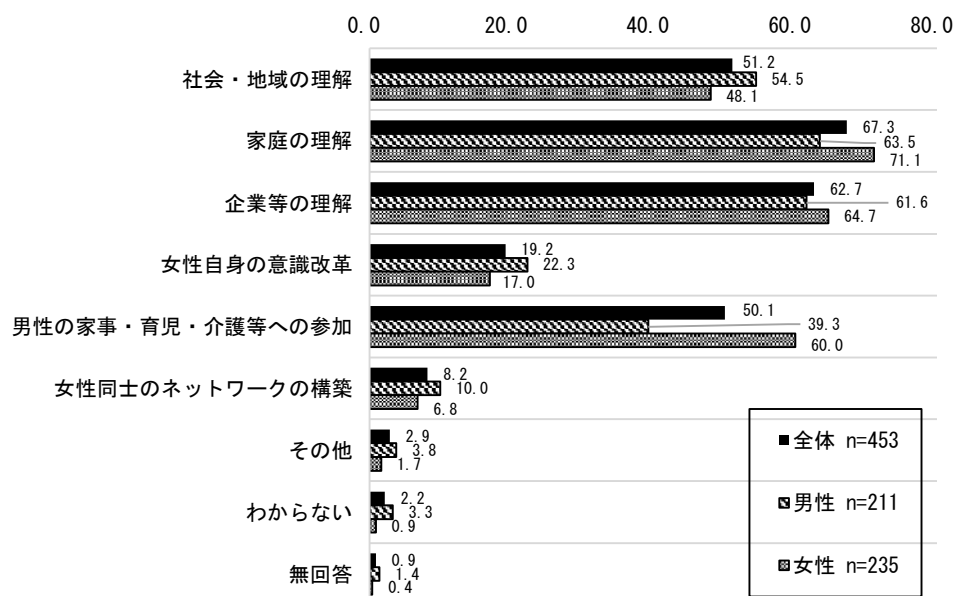
問 1 1 女性が職場や地域で活躍し続けられるために何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

- 湯沢市では、「家庭の理解」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも、同じ傾向にある。
- 性別にみると、「男性の家事・育児・介護等への参加」の割合は、女性の方が男性よりも20.0ポイント以上高くなっている。秋田県全体で「男性の家事・育児・介護等への参加」と「家庭の理解」の割合は、女性の方が男性よりも10.0ポイント以上高くなっている。

湯沢市では、「家庭の理解」の割合が67.3%で最も高く、次いで「企業等の理解」が62.7%、「社会・地域の理解」が51.2%となっている。秋田県全体では、「企業等の理解」の割合が68.1%で最も高く、次いで「家庭の理解」は63.4%、「男性の家事・育児・介護等への参加」が57.2%となっている。

性別にみると、上位3項目は、男性では「家庭の理解」(63.5%)、「企業等の理解」(61.6%)、「社会・地域の理解」(54.5%)となった一方、女性では「家庭の理解」(71.1%)、「企業等の理解」(64.7%)、「男性の家事・育児・介護等への参加」(60.0%)となっており、男性の家事・育児・介護等への参加」が20.7ポイント高くなっている。秋田県全体では、上位3項目は、男性では、「企業等の理解」(69.2%)、「家庭の理解」(58.2%)「社会・地域の理解」(53.4%)となった一方、女性では「家庭の理解」「企業等の理解」(68.5%)、「男性の家事・育児・介護等への参加」(63.0%)となっており、女性の方が男性よりも「男性の家事・育児・介護等への参加」が12.2ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体いずれも女性の方が男性よりも「男性の家事・育児・介護等への参加」の割合が高い。

女性が職場や地域で活躍し続けられるために必要なこと



■その他意見（抜粋）

女性自身の志。男性／45～49歳／湯沢地域

保育所の充実。学童が放課後いる居場所の確保など。女性／65～69歳／湯沢地域、女性／55～59歳／地域無回答

社会、地域、家庭の受入体制。性別無回答／50～54歳／湯沢地域

性別に関わらず個人を尊重できる社会づくり。男性／30～34歳／湯沢地域

国が変わらないと変わらないと思います。女性／45～49歳／湯沢地域

職場と地域・家庭は両立しないと思う。男性／50～54歳／雄勝地域

能力とそれを活かせる職種。男性／55～59歳／湯沢地域

女性の社会進出は大事だが、無理に職場や地域に出なくても良いという価値観も認められるべき。男性／30～34歳／湯沢地域

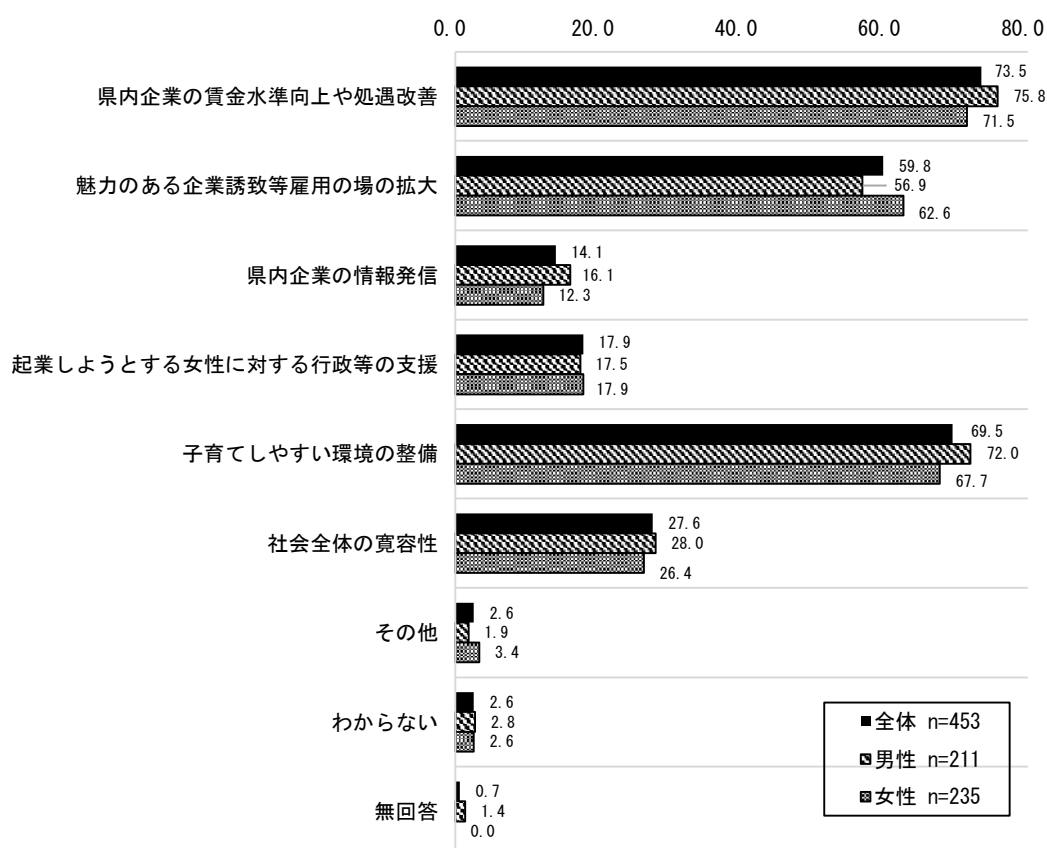
問 1 2 県内に若い女性が定着し、活躍するために何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

●湯沢市では、「県内企業の賃金水準向上や処遇改善」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「県内企業の賃金水準向上や処遇改善」の割合が73.5%で最も高く、次いで「子育てしやすい環境の整備」が69.5%、「魅力のある企業誘致等雇用の場の拡大」が59.8%となっている。秋田県全体では、「県内企業の賃金水準向上や処遇改善」の割合が76.1%で最も高く、次いで「子育てしやすい環境の整備」が74.8%、「魅力のある企業誘致等雇用の場の拡大」が51.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は男女ともほぼ同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

県内に女性が定着し、活躍することに必要なこと



■その他意見（抜粋）

冬の子ども遊び場。図書館の充実。女性／65～69歳／湯沢地域

若い男性を定着させることも必要。女性／55～59歳／湯沢地域

遊ぶところを増やす。能力の高い男を県外に放ししない方法を考える。男性／50～54歳／雄勝地域

女性が働かなくても幸せに生きることができる社会 男女共同参画が原因で地域が全体的に経済的困窮になり子育てを諦める事が無い社会。男性／55～59歳／湯沢地域

そもそも“活躍する場、がないのに定着するはずがない。女性／35～39歳／皆瀬地域

遊ぶ場所や働く場所の増加。女性／20～24歳／雄勝地域

入りたい大学や専門学校が県内にあること。女性／50～54歳／雄勝地域

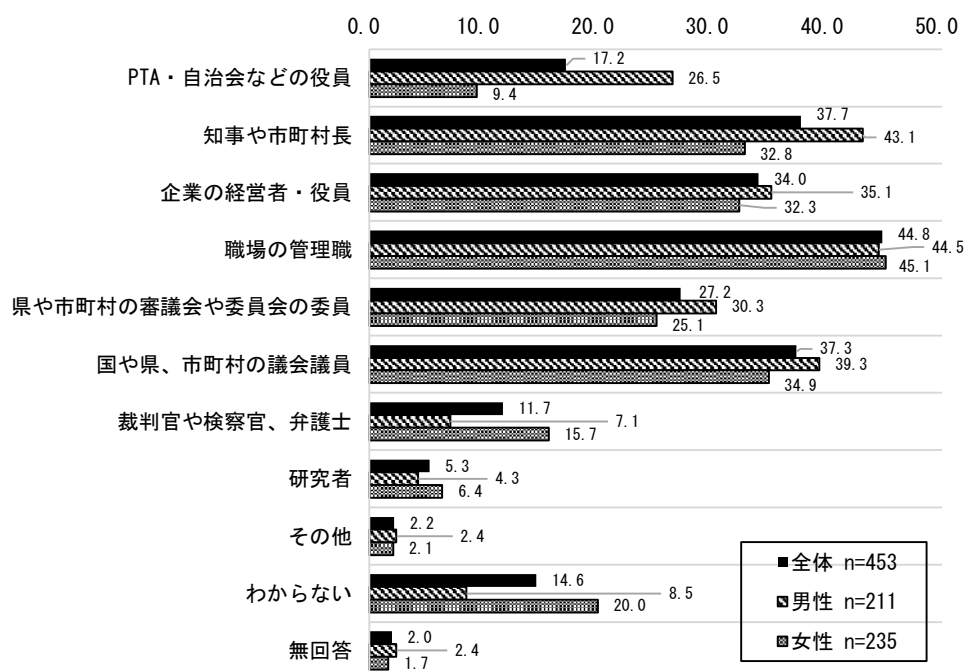
問 13 次にあげるような職業や役職において、女性が「もっと就いたほうがよい」と思うのはどれですか。(〇は3つまで)

●湯沢市では、「職場の管理職」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「職場の管理職」の割合が44.8%で最も高く、次いで「知事や市町村長」が37.7%、「国や県、市町村の議会議員」が37.3%となっている。秋田県全体では、「職場の管理職」の割合が48.6%で最も高く、次いで「国や県、市町村の議会議員」が43.4%、「知事や市町村長」が40.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は、男性は「職場の管理職」(44.5%)、「知事や市町村長」(43.1%)、「国や県、市町村の議会議員」(39.3%)となった一方で、女性は「職場の管理職」(45.1%)、「国や県、市町村の議会議員」(42.0%)、「知事や市町村長」(38.8%)となっている。秋田県全体では、男性は「国や県、市町村の議会議員」(46.3%)「職場の管理職」(45.5%)、「知事や市町村長」(43.2%)、となった一方で、女性は「職場の管理職」(52.2%)、「国や県、市町村の議会議員」(42.0%)、「知事や市町村長」(38.8%)となっている。男性では秋田県全体と比べて湯沢市の方が「職場の管理職」の割合が高く、国や県、市町村の議会議員」の割合が低い。女性は湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

公職等への女性の就任



■その他意見（抜粋）

優秀な人であればどの職業にも就いていいと思います。女性／15～19歳／湯沢地域

何の分野でも能力があればもっと就いたほうがよい。女性／65～69歳／湯沢地域

女性の能力次第。女性／70～74歳／湯沢地域

個人の好きに出来たらいい。男性／30～34歳／湯沢地域

主婦。男性／55～59歳／湯沢地域

本人の意欲や能力があれば、どの職業でも良い。男性／30～34歳／湯沢地域

肉体労働などの建設や建築関係の仕事に就いても良いし、どのような職業であっても正当に評価される社会になればより良くなる。男性／45～49歳／稲川地域

適材適所と思うので、あえて女性が就くべき職業や役職はないと思います。女性／40～44歳／湯沢地域

人によると思います。女性／20～24歳／雄勝地域

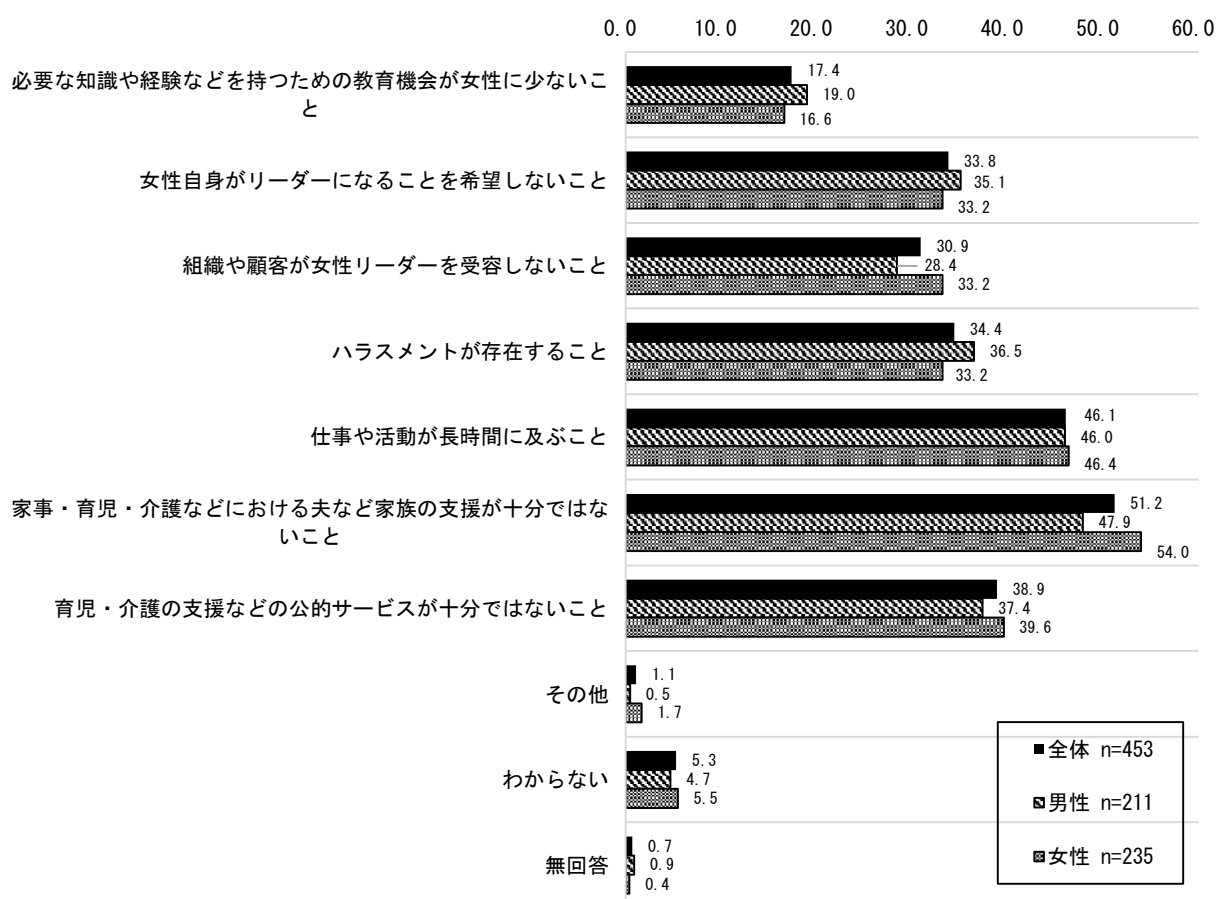
問 1 4 政治・経済・地域などの各分野で女性リーダーを増やすときに何が障害だと思いますか。  
(〇は3つまで)

●湯沢市では、「家事・育児・介護などにおける夫など家族の支援が十分ではないこと」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「家事・育児・介護などにおける夫など家族の支援が十分ではないこと」の割合が 51.2%で最も高く、次いで「仕事や活動が長時間に及ぶこと」が 46.1%、「育児・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 38.9%となっている。秋田県全体では、「家事・育児・介護などにおける夫など家族の支援が十分ではないこと」の割合が 50.5%で最も高く、次いで「育児・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 41.8%、「仕事や活動が長時間に及ぶこと」が 39.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は男女ともほぼ同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

各分野で女性リーダーを増やすために障害になること



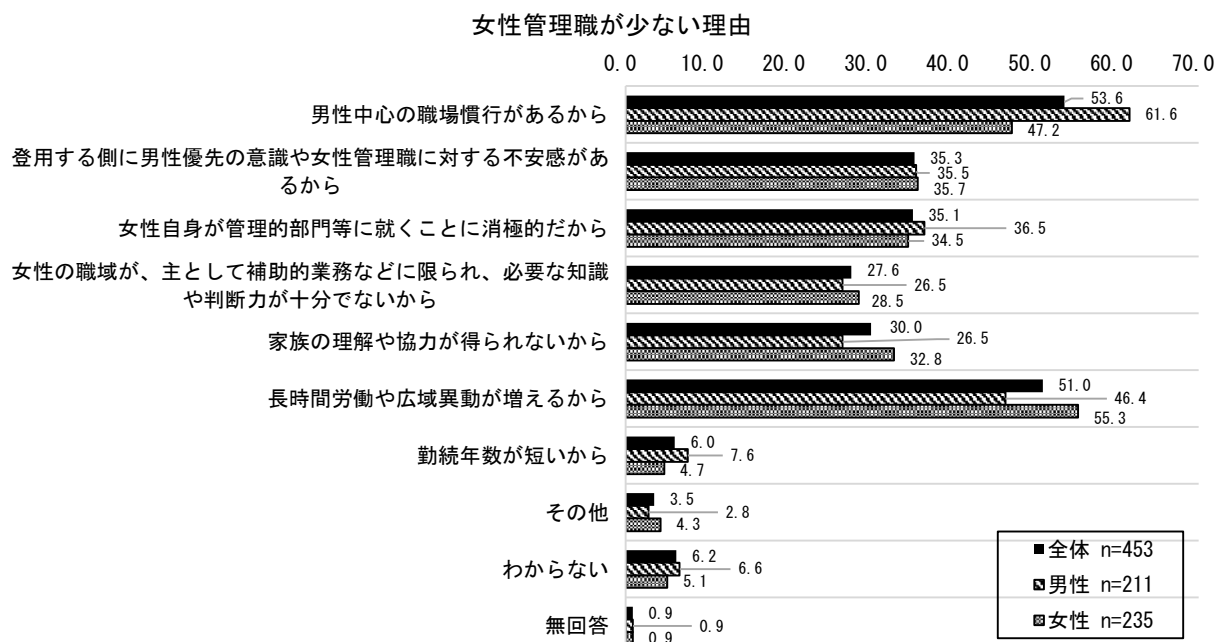


問 15 職場において、女性管理職が少ない理由として、どのようなものがあるとお考えですか。  
(○は3つまで)

- 湯沢市では、「男性中心の職場慣行があるから」の割合が最も高く、秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別では、男性においては「男性中心の職場慣行があるから」の割合が最も高く、女性においては「長時間労働や広域異動が増えるから」の割合が最も高い。秋田県全体では、男女ともに「男性中心の職場慣行があるから」の割合が最も高い。

湯沢市では、「男性中心の職場慣行があるから」の割合が 53.6% で最も高く、次いで「長時間労働や広域異動が増えるから」が 51.0%、「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」が 35.3% となっている。秋田県全体では、「男性中心の職場慣行があるから」の割合が 59.4% で最も高く、次いで「長時間労働や広域異動が増えるから」が 50.1%、「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」が 43.5% となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は男性が「男性中心の職場慣行があるから」(61.6%)の割合が最も高く、次いで「長時間労働や広域異動が増えるから」(46.4%)、「女性自身が管理的部門等に就くことに消極的だから」(36.5%)となっている一方で、女性が「長時間労働や広域異動が増えるから」(55.3%)の割合が最も高く、次いで「男性中心の職場慣行があるから」(47.2%)、「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」(35.7%)となっている。「男性中心の職場慣行があるから」は、男性の方が女性よりも 14.4 ポイント高くなっている。秋田県全体では、男女ともに上位3項目の割合の順位は同じである。



■その他意見（抜粋）

消極的になる理由があるから（家のこととか、子育てなど）女性／25～29歳／湯沢地域

そもそも雇用数が少ないから。女性／15～19歳／湯沢地域

子どもがいると、まわりで見てくれる人がいない。環境が良くないと、なかなか管理職に就くのは難しいと思う。女性／65～69歳／雄勝地域

女性だけに限った話ではなく、能力があるのであれば積極的に登用すべき。男性／40～44歳／湯沢地域

評価基準は男性の場合、働ける時間による補正が入るが、働ける時間の少ない女性も評価されるような基準が必要と思う。

優秀な女性は既に管理職になっている。無能な男性管理職を辞めさせれば良いのでは。男性／55～59歳／湯沢地域

女性自身が管理職に就くことを希望していても、周りからの僻みや妬みが邪魔をするのではないかと感じる。女性／35～39歳／皆瀬地域

能力のある人材が管理職に就くのは喜ばしいが、女性というだけで管理職になれるようにするのは組織としては成り立たなくなる。男性／45～49歳／稲川地域

育児休暇により休職期間がある為キャリアに差が生じ結果的に昇格への差がうまれること。男性／25～29歳／湯沢地域

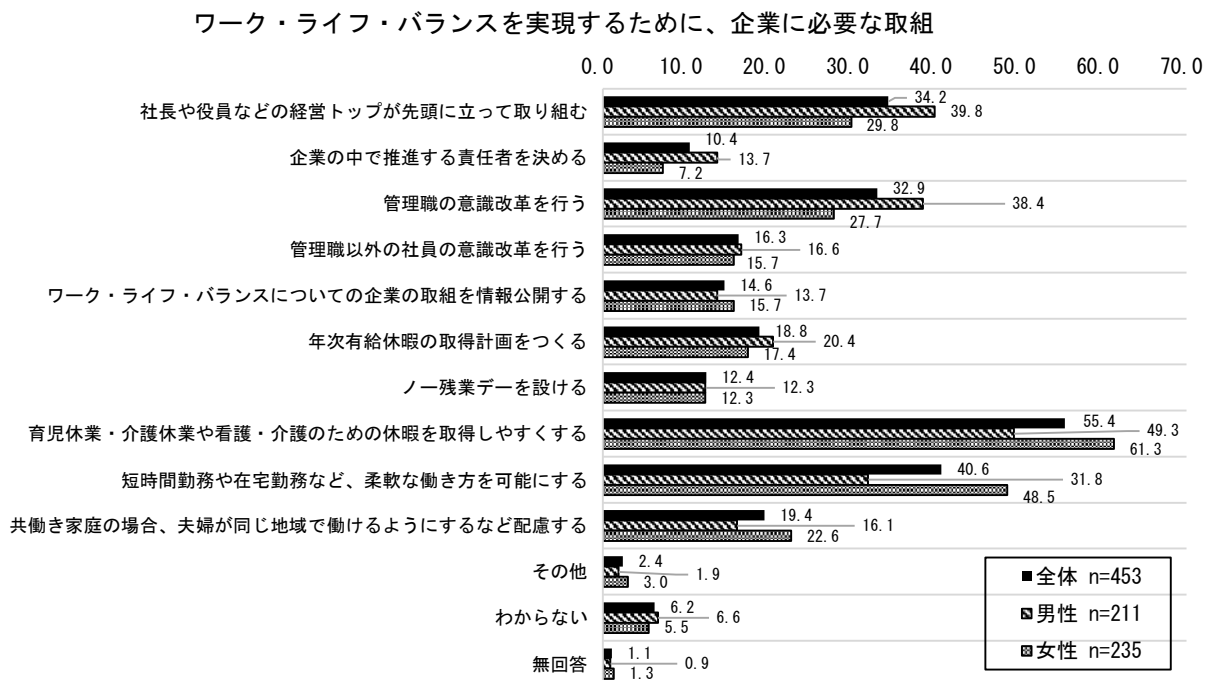
#### 4 職場環境について

問16 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、企業にはどのような取組が必要だと思いますか。（〇は3つまで）

●湯沢市では、「育児休業・介護休業や看護・介護のための休暇を取得しやすくする」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「育児休業・介護休業や看護・介護のための休暇を取得しやすくする」の割合が55.4%で最も高く、次いで「短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方を可能にする」が40.6%、「社長や役員などの経営トップが先頭に立って取り組む」が34.2%となっている。秋田県全体では、「育児休業・介護休業や看護・介護のための休暇を取得しやすくする」の割合が56.2%で最も高く、次いで「短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方を可能にする」が44.0%、「社長や役員などの経営トップが先頭に立って取り組む」が38.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は男性が「育児休業・介護休業や看護・介護のための休暇を取得しやすくする」(49.3%)の割合が最も高く、次いで「社長や役員などの経営トップが先頭に立って取り組む」(39.8%)、「管理職の意識改革を行う」(38.4%)となっている一方で、女性が「育児休業・介護休業や看護・介護のための休暇を取得しやすくする」(61.3%)の割合が最も高く、次いで「短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方を可能にする」(48.5%)、「社長や役員などの経営トップが先頭に立って取り組む」(29.8%)となっている。「管理職の意識改革を行う」は、男性の方が女性よりも10.7%高くなっており、「社長や役員などの経営トップが先頭に立って取り組む」は10.0ポイント高くなっており、「短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方を可能にする」は、女性の方が男性よりも16.7%高くなっており、「育児休業・介護休業や看護・介護のための休暇を取得しやすくする」は12.0%高くなっており、秋田県全体では、「短時間勤務や在宅勤務など、柔軟な働き方を可能にする」の割合が男性で多く、女性の上位3項目の割合の順位は同じである。



#### ■その他意見（抜粋）

社員数を増やす。仕事量を減らすや個人が抱える業務量のバランス調整。といった意見が多数。

無駄な管理を発生させる法律が多すぎる。大企業と中小企業の法律や規定の適用を現実的な内容にすべき。男性／55～59歳／湯沢地域  
企業にくるみん制度や子育て支援をきちんと理解してもらう。女性／45～49歳／湯沢地域

問 17 現在職業をもっている方にお伺いします。次の（１）～（３）のそれぞれの制度の利用について、お答えください。（○は１つ）

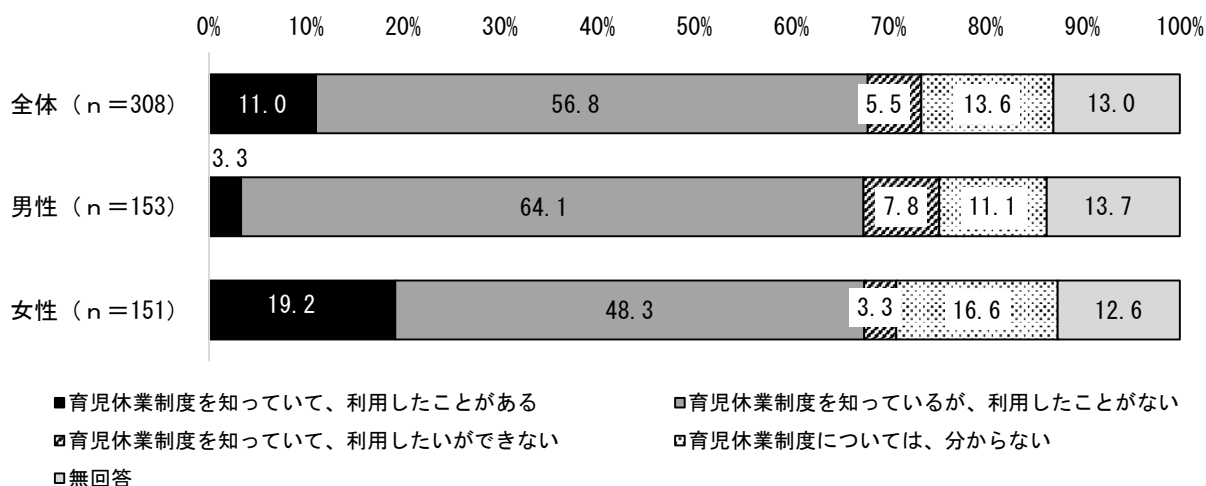
（１）育児休業制度について

- 湯沢市では、各制度の認知度については、「育児休業制度」が最も高く、次いで「介護休業・介護休暇制度」「子の看護休暇制度」の割合が最も高い。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別にみると、各制度を利用したことがある割合は、「育児休業制度」が最も高く、女性の方が男性よりも 10.0 ポイント以上高くなっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「育児制度を知っているが、利用したことがない」の割合が 56.8%となり、「育児休業制度を知っていて、利用したことがある」「育児休業制度を知っているが、利用したことがない」「育児休業制度を知っていて、利用したいができない」を合わせた『知っている』の割合は 73.3%となっている。秋田県全体の「育児休業制度を知っているが、利用したことがない」は 61.4%、「育児休業制度を知っていて、利用したことがある」は 12.9%となっており、『知っている』は 77.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、「育児休業制度を知っていて、利用したことがある」の割合は、男性では 3.3%である一方、女性では 19.2%となっており、女性のほうが男性よりも 15.9 ポイント高くなっている。秋田県全体では男性が 5.6%、女性が 20.3%となっており、女性の方が男性よりも 14.7 ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体の男女の割合はほぼ同じ傾向にある。

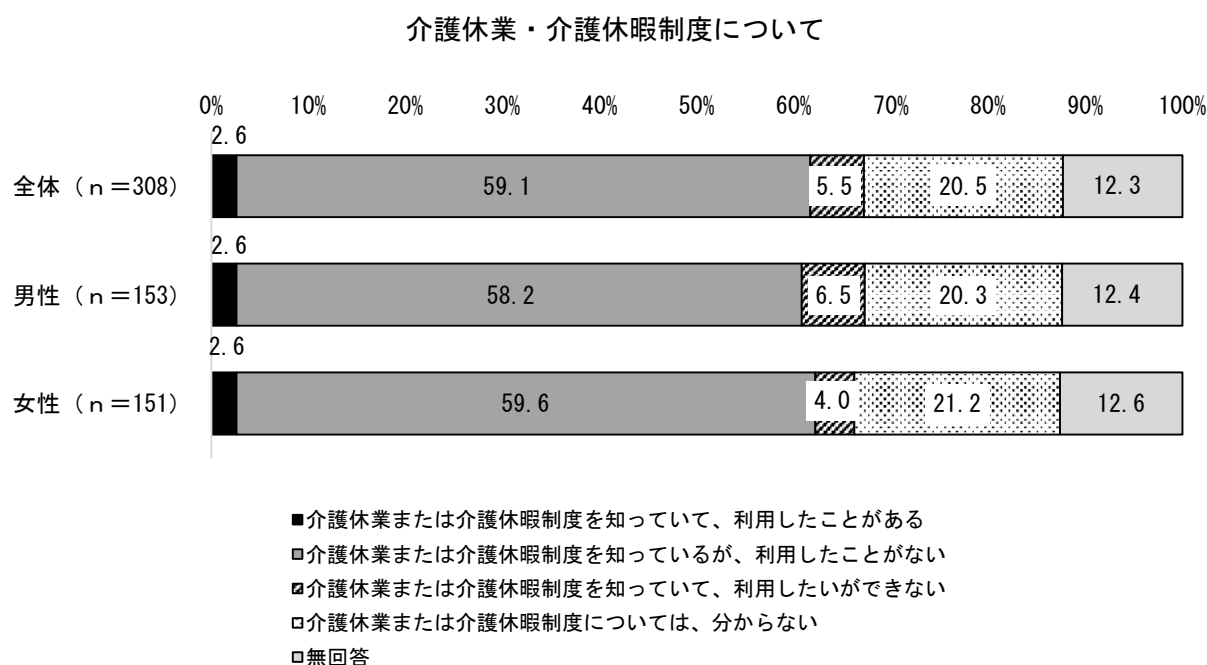
育児休業制度について



## (2) 介護休業・介護休暇制度について

湯沢市では、「介護休業または介護休暇制度を知っているが、利用したことがない」の割合が59.1%で最も高く、「介護休業または介護休暇制度を知っていて、利用したことがある」は2.6%となっている。また、「介護休業または介護休暇制度を知っていて、利用したことがある」「介護休業または介護休暇制度を知っているが、利用したことがない」「介護休業または介護休暇制度を知っていて、利用したいができない」を合わせた『知っている』の割合は67.2%となっている。秋田県全体の「介護休業または介護休暇制度を知っているが、利用したことがない」は54.0%、「介護休業または介護休暇制度を知っていて、利用したことがある」は3.9%となっており、『知っている』は63.1%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

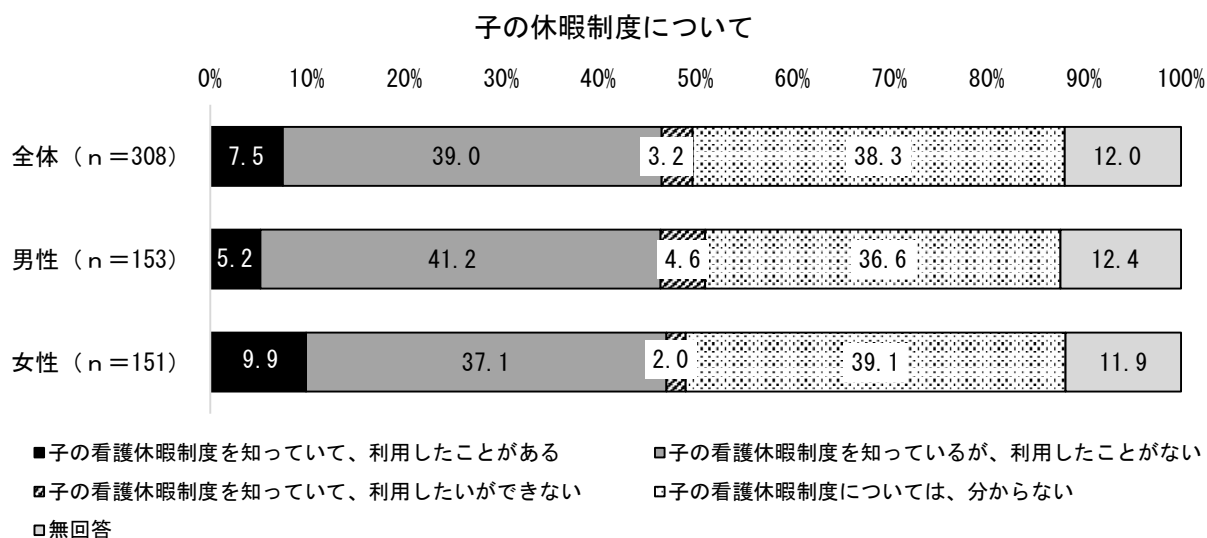
性別にみると、「介護休業または介護休暇制度を知っていて、利用したことがある」の割合は、男女ともに2.6%となっている。秋田県全体では男性が4.1%、女性が4.0%となっており、湯沢市、秋田県全体の男女の割合はほぼ同じ傾向にある。



### (3) 子の看護休暇制度について

湯沢市では、「子の看護休暇制度を知っているが、利用したことがない」の割合が 39.0%となり、「子の看護休暇制度を知っていて、利用したことがある」は 7.5%となっている。また、「子の看護休暇制度を知っていて、利用したことがある」「子の看護休暇制度を知っているが、利用したことがない」「子の看護休暇制度を知っていて、利用したいができない」を合わせた『知っている』の割合は 49.7%となっている。秋田県全体の「子の看護休暇制度を知っていて、利用したことがある」は 40.4%、「子の看護休暇制度を知っていて、利用したことがない」は 8.1%となっており、『知っている』は 51.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともにほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、「子の看護休暇制度を知っていて、利用したことがある」の割合は、男性では 5.2%である一方、女性では 9.9%となっている。秋田県全体では男性が 6.4%、女性が 10.1%となっている。湯沢市、秋田県全体の男女の割合はほぼ同じ傾向にある。



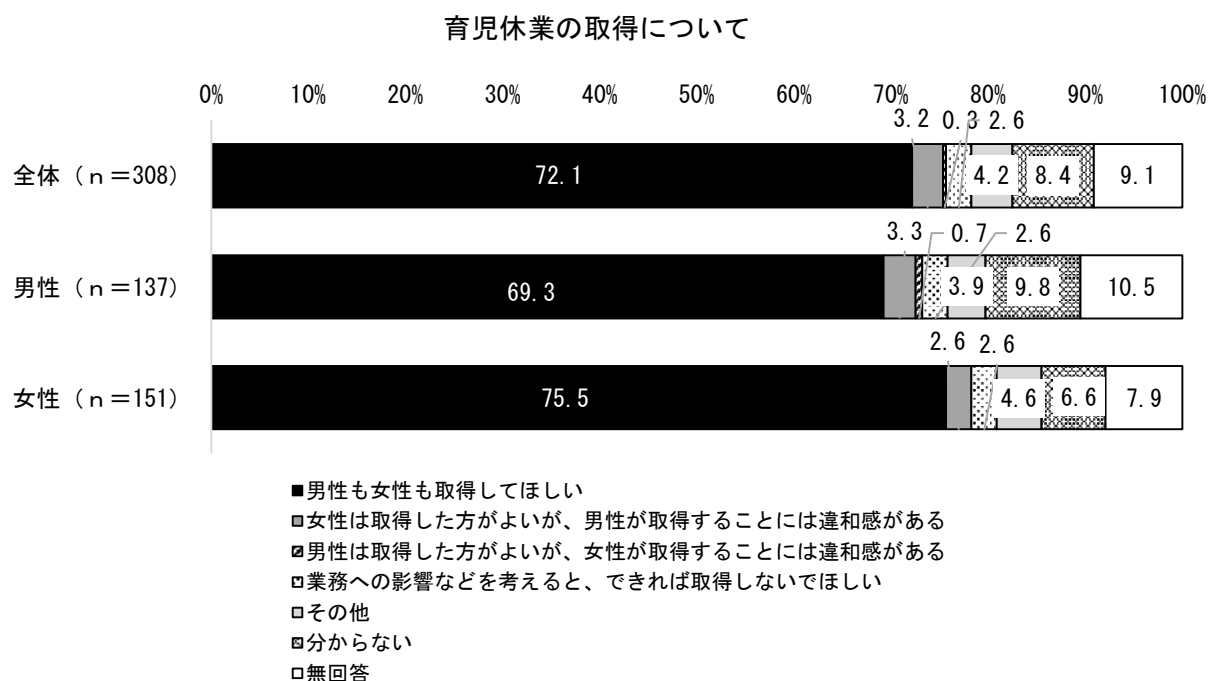
問 18 現在職業をもっている方にお伺いします。あなたの職場で育児休業を取得する方がいたら、どう思いますか。(○は1つまで)

●湯沢市では、「男性も女性も取得してほしい」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「男性も女性も取得してほしい」の割合は 72.1%である。秋田県全体では 71.9%でありほぼ同じ傾向にある。

性別にみると、「男性も女性も取得してほしい」の割合は、男性は 69.3%、女性では 75.5%となっている。秋田県全体では、男性が 68.4%、女性が 76.4%となっており、湯沢市と同じ傾向にある。

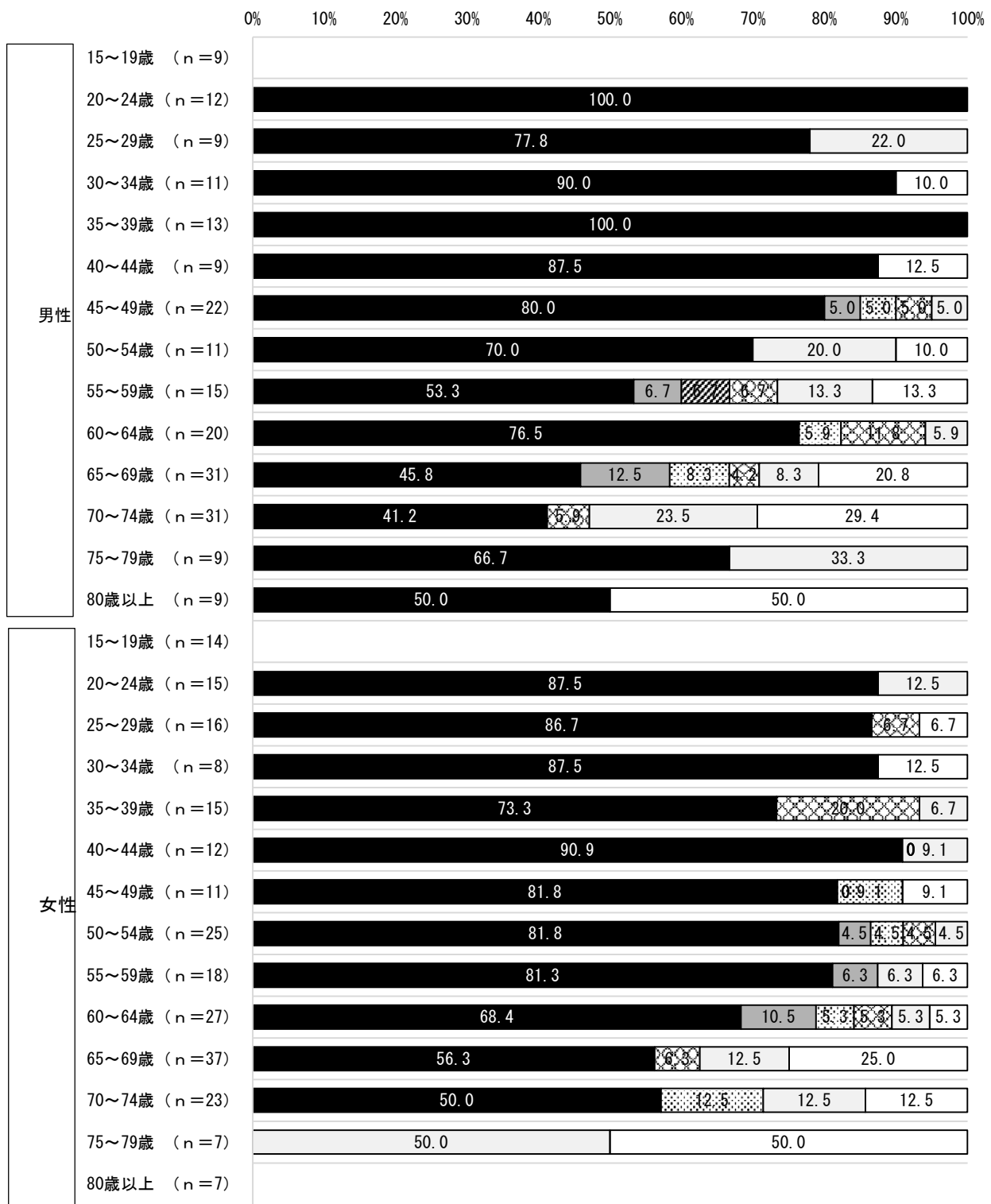
性別×年代を見ると、「男性も女性も取得してほしい」の割合は、男女ともに年齢が下がるにつれて高い傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。



■その他意見（抜粋）

育児休業を取得して欲しいが、人手不足で業務に影響するので取得して欲しくない。女性／50～54歳／湯沢地域  
 男女ともに取得するのは良い事です、もっと取りやすい環境にしてほしい。周りの目とか今後の事とか気にしてしまう。女性／25～29歳／湯沢地域  
 取得する人がいたら短時間勤務の人を雇い、それに備えるようにしたほうがよい。女性／65～69歳／湯沢地域  
 男性の場合、単に育児に関係なく休暇がとれるので取得するといった危惧がある。男性／65～69歳／湯沢地域  
 取得する人の仕事を負担できる余裕のある環境。男性／60～64歳／皆瀬地域  
 取得することは悪いことではないが、業務を残された職場の同僚にも家庭があり、業務負荷がかからないように日ごろから環境整備しないと理解は進まない。男性／45～49歳／稲川地域  
 男性が育児休業を“取得、すればいいものではなくて、きちんと家族のための時間にできるのなら取得するべきだと思う。女性／35～39歳／皆瀬地域

育児休業の取得について（性別×年代別）



- 男性も女性も取得してほしい
- 女性取得した方がよいが、男性取得することには違和感がある
- ▨男性取得した方がよいが、女性取得することには違和感がある
- 業務への影響などを考えると、できれば取得しないでほしい
- その他
- 分からない
- 無回答

問 19 今後、男性の家事・育児・介護等への参画を進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

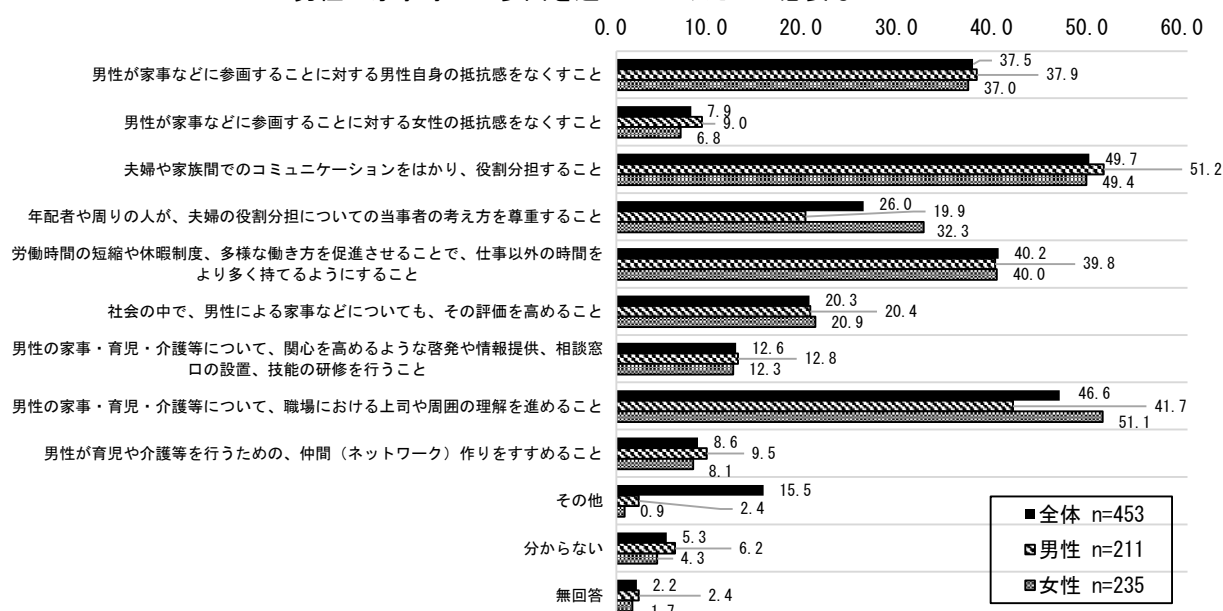
- 湯沢市では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり、役割分担すること」の割合が最も高い。秋田県全体では、「男性の家事・育児・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が最も高い。
- 性別にみると、男性においては、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり、役割分担すること」の割合が最も高く、女性においては「男性の家事・育児・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が最も高い。秋田県全体では、男女ともに「男性の家事・育児・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること」の割合が最も高い。

湯沢市では、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり、役割分担すること」の割合が 49.7%で最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること」が 46.6%、「労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を促進させることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が 40.2%となっている。秋田県全体では、「男性の家事・育児・介護等について～」の割合が 52.3%で最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり～」が 43.1%、「労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を～」が 41.9%となっている。

性別にみると、上位3項目は男性が「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり～」(51.2%)の割合が最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護等について～」(41.7%)、「労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を～」(39.8%)となっている一方で、女性が「男性の家事・育児・介護等について～」(51.1%)の割合が最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり～」(49.4%)、「労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を～」(40.0%)となっている。秋田県全体では、「男性の家事・育児・介護等について～」(男性 50.0、女性 54.9)、「労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を～」(男性 45.3、女性 40.6)、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり～」(男性 45.0、女性 41.7)となっている。

性別×年代を見ると、60～64歳の「労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を～」の割合は、男性では 60.0%、女性では 37.0%と、男性の方が女性よりも 23.0 ポイント高くなっている。また、70～74歳の「夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかり～」の割合は、男性では 41.9%、女性では 65.2%と、女性の方が男性よりも 23.3 ポイント高くなっている。

男性の家事等への参画を進めていくために必要なこと





男性の家事等への参画を進めていくために必要なこと（性別×年齢別）

		合計	男性が家事などに参画することに対する男性自身の抵抗感をなくすること	男性が家事などに参画することに対する女性の抵抗感をなくすること	夫婦や家族でのコミュニケーションをはかり、役割分担すること	年配者や周りの人が、夫婦の役割分担についての当事者の考え方を尊重すること	労働時間の短縮や休暇制度、多様な働き方を促進させることで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	社会の中で、男性による家事などについても、その評価を高めること	男性の家事・育児・介護等について、関心を高めるような啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	男性の家事・育児・介護等について、職場における上司や周囲の理解を進めること	男性が育児や介護等を行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること	その他	分からない	無回答
男性	15～19 歳	9	3	0	7	1	5	1	1	4	0	0	1	0
		100.0%	33.3%	0.0%	77.8%	11.1%	55.6%	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	20～24 歳	12	4	1	8	0	5	3	0	6	3	0	0	0
		100.0%	33.3%	8.3%	66.7%	0.0%	41.7%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	25～29 歳	9	2	2	3	2	5	2	0	3	2	0	2	0
		100.0%	22.2%	22.2%	33.3%	22.2%	55.6%	22.2%	0.0%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	30～34 歳	11	2	0	7	2	3	2	0	4	2	2	1	0
		100.0%	18.2%	0.0%	63.6%	18.2%	27.3%	18.2%	0.0%	36.4%	18.2%	18.2%	9.1%	0.0%
	35～39 歳	13	5	1	7	4	8	2	1	7	1	0	0	0
		100.0%	38.5%	7.7%	53.8%	30.8%	61.5%	15.4%	7.7%	53.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～44 歳	9	2	3	4	1	2	2	1	4	2	0	0	1
		100.0%	22.2%	33.3%	44.4%	11.1%	22.2%	22.2%	11.1%	44.4%	22.2%	0.0%	0.0%	11.1%
	45～49 歳	22	9	2	9	3	10	8	2	12	4	0	0	0
		100.0%	40.9%	9.1%	40.9%	13.6%	45.5%	36.4%	9.1%	54.5%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～54 歳	11	8	1	8	1	5	0	1	1	0	0	1	0
		100.0%	72.7%	9.1%	72.7%	9.1%	45.5%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
	55～59 歳	15	6	0	6	2	4	1	6	4	1	2	2	0
		100.0%	40.0%	0.0%	40.0%	13.3%	26.7%	6.7%	40.0%	26.7%	6.7%	13.3%	13.3%	0.0%
	60～64 歳	20	5	1	7	7	12	8	1	13	1	0	1	0
		100.0%	25.0%	5.0%	35.0%	35.0%	60.0%	40.0%	5.0%	65.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	65～69 歳	31	14	4	19	7	7	5	6	12	0	0	1	2
		100.0%	45.2%	12.9%	61.3%	22.6%	22.6%	16.1%	19.4%	38.7%	0.0%	0.0%	3.2%	6.5%
	70～74 歳	31	11	2	13	9	14	4	5	13	3	1	2	1
		100.0%	35.5%	6.5%	41.9%	29.0%	45.2%	12.9%	16.1%	41.9%	9.7%	3.2%	6.5%	3.2%
	75～79 歳	9	4	2	4	1	1	2	1	1	0	0	2	1
		100.0%	44.4%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%
	80 歳以上	9	5	0	6	2	3	3	2	4	1	0	0	0
		100.0%	55.6%	0.0%	66.7%	22.2%	33.3%	33.3%	22.2%	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
女性	15～19 歳	14	9	2	8	3	3	3	2	6	2	0	1	0
		100.0%	64.3%	14.3%	57.1%	21.4%	21.4%	21.4%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%
	20～24 歳	15	5	1	8	3	6	4	1	6	2	0	1	0
		100.0%	33.3%	6.7%	53.3%	20.0%	40.0%	26.7%	6.7%	40.0%	13.3%	0.0%	6.7%	0.0%
	25～29 歳	16	8	0	10	6	7	1	0	11	0	0	0	0
		100.0%	50.0%	0.0%	62.5%	37.5%	43.8%	6.3%	0.0%	68.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～34 歳	8	5	0	3	5	2	2	1	3	1	0	0	0
		100.0%	62.5%	0.0%	37.5%	62.5%	25.0%	25.0%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	35～39 歳	15	4	1	7	4	8	1	2	7	0	1	1	0
		100.0%	26.7%	6.7%	46.7%	26.7%	53.3%	6.7%	13.3%	46.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	40～44 歳	12	1	2	7	3	7	2	2	7	2	0	1	0
		100.0%	8.3%	16.7%	58.3%	25.0%	58.3%	16.7%	16.7%	58.3%	16.7%	0.0%	8.3%	0.0%
	45～49 歳	11	4	1	2	3	3	5	4	4	0	1	0	0
		100.0%	36.4%	9.1%	18.2%	27.3%	27.3%	45.5%	36.4%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%
	50～54 歳	25	6	2	9	7	11	6	4	18	1	0	1	0
		100.0%	24.0%	8.0%	36.0%	28.0%	44.0%	24.0%	16.0%	72.0%	4.0%	0.0%	4.0%	0.0%
	55～59 歳	18	6	0	10	7	7	2	2	9	2	0	1	0
		100.0%	33.3%	0.0%	55.6%	38.9%	38.9%	11.1%	11.1%	50.0%	11.1%	0.0%	5.6%	0.0%
	60～64 歳	27	10	2	14	11	10	8	2	15	3	0	0	0
		100.0%	37.0%	7.4%	51.9%	40.7%	37.0%	29.6%	7.4%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	65～69 歳	37	17	1	19	17	15	11	5	18	4	0	0	0
		100.0%	45.9%	2.7%	51.4%	45.9%	40.5%	29.7%	13.5%	48.6%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	70～74 歳	23	10	1	15	5	11	3	3	11	0	0	2	0
		100.0%	43.5%	4.3%	65.2%	21.7%	47.8%	13.0%	13.0%	47.8%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%
	75～79 歳	7	1	1	2	1	3	1	1	3	1	0	1	2
		100.0%	14.3%	14.3%	28.6%	14.3%	42.9%	14.3%	14.3%	42.9%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%
	80 歳以上	7	1	2	2	1	1	0	0	2	1	0	1	2
		100.0%	14.3%	28.6%	28.6%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	28.6%

問 20 男性（父親）の育児休業取得は徐々に進みつつありますが、女性の取得に比べるとまだ差があります。それはどのような理由からだと思いますか。（〇は3つまで）

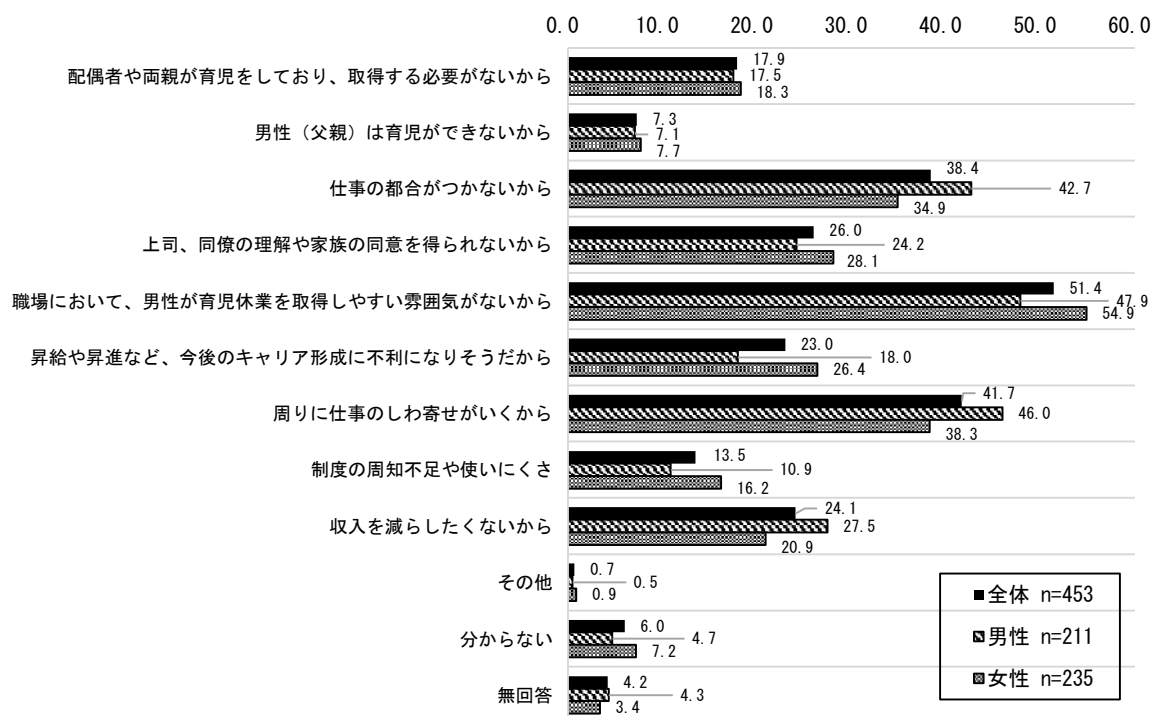
●湯沢市では、「職場において、男性が育児休業を取得しやすい雰囲気がないから」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「職場において、男性が育児休業を取得しやすい雰囲気がないから」の割合が 51.4%で最も高く、次いで「周りに仕事のしわ寄せがいくから」が 41.7%、「仕事の都合がつかないから」が 38.4%となっている。秋田県全体では、「職場において、男性が育児休業を取得しやすい雰囲気がないから」の割合が 56.9%で最も高く、次いで「周りに仕事のしわ寄せがいくから」が 41.2%、「仕事の都合がつかないから」が 34.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は男性が「職場において、男性が育児休業を取得しやすい雰囲気がないから」（47.9%）の割合が最も高く、次いで「周りに仕事のしわ寄せがいくから」（46.0%）、「仕事の都合がつかないから」（42.7%）となっている一方で、女性が「職場において、男性が育児休業を取得しやすい雰囲気がないから」（54.9%）の割合が最も高く、次いで「周りに仕事のしわ寄せがいくから」（38.3%）、「仕事の都合がつかないから」（34.9%）となっている。秋田県全体では、「職場において～」男性 57.6、女性 62.4）、周りに仕事のしわ寄せがいくから」（男性 47.6、女性 35.1）、仕事の都合がつかないから」（男性 40.3、女性 30.6）となっている。

性別×年代を見ると、60～64歳の「周りに仕事のしわ寄せがいくから」の割合は、男性では 65.0%、女性では 40.7%と、男性の方が女性よりも 24.3 ポイント高くなっている。

男性の育児休業取得が進まない理由



■その他意見（抜粋）

女性がするものだとの思い込み。女性／65～69歳／湯沢地域  
 育児に消極的だから。女性／50～54歳／雄勝地域  
 生活費の減少。女性／60～64歳／湯沢地域

男性の育児休業取得が進まない理由（性別×年齢別）

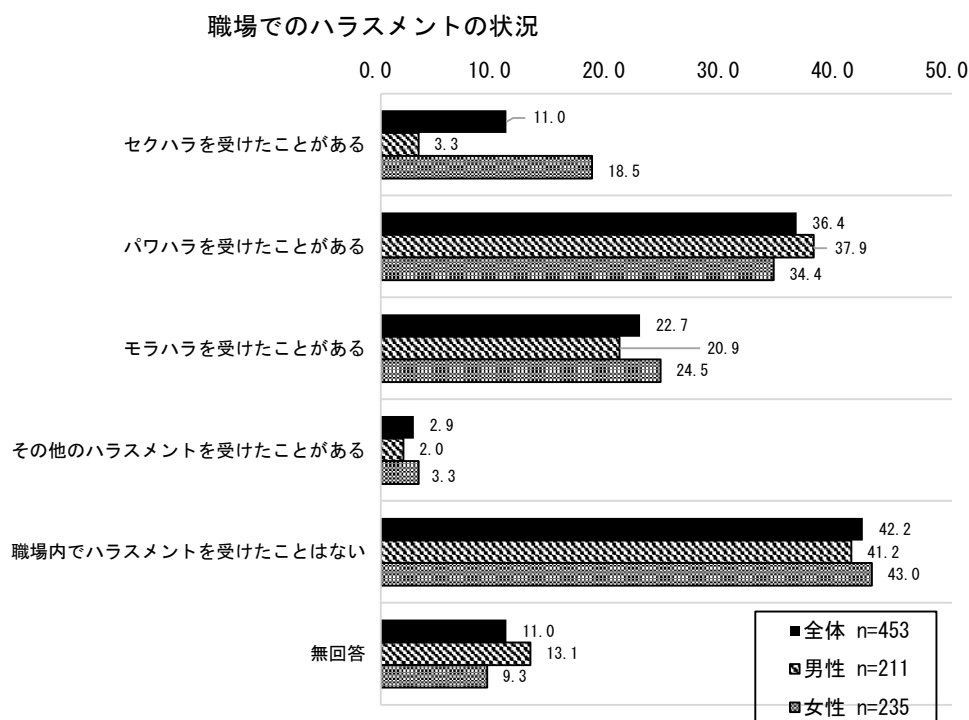
		合計	配偶者 や両親 が育児 をして おり、 取得す る必要 がない から	男性 (父親) は育児 ができ ないか ら	仕事 の都合 がつか ないか ら	上司、 同僚の 理解や 家族の 同意を 得られ ないか ら	職場に おいて、 男性が 育児休 業を取 得しや すい雰 囲気な いから	昇給や 昇進な ど、今 後のキ ャリア 形成に 不利に なりそ うだか ら	周りに 仕事の しわ寄 せがく いから	制度の 周知不 足や使 いにく さ	収入を 減らし たくな いから	その他	分かん ない	無回答
男性	15～19 歳	9	1	0	7	3	5	5	2	0	4	0	0	0
		100.0%	11.1%	0.0%	77.8%	33.3%	55.6%	55.6%	22.2%	0.0%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	20～24 歳	12	3	0	6	4	6	3	6	1	3	0	0	0
		100.0%	25.0%	0.0%	50.0%	33.3%	50.0%	25.0%	50.0%	8.3%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	25～29 歳	9	1	3	3	0	2	2	5	0	3	0	2	0
		100.0%	11.1%	33.3%	33.3%	0.0%	22.2%	22.2%	55.6%	0.0%	33.3%	0.0%	22.2%	0.0%
	30～34 歳	11	1	1	5	3	4	3	3	1	4	0	1	0
		100.0%	9.1%	9.1%	45.5%	27.3%	36.4%	27.3%	27.3%	9.1%	36.4%	0.0%	9.1%	0.0%
	35～39 歳	13	0	0	8	3	9	4	7	1	3	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	61.5%	23.1%	69.2%	30.8%	53.8%	7.7%	23.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～44 歳	9	2	1	4	2	1	1	3	2	1	0	1	1
		100.0%	22.2%	11.1%	44.4%	22.2%	11.1%	11.1%	33.3%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%
	45～49 歳	22	7	2	12	7	10	3	7	2	11	0	0	0
		100.0%	31.8%	9.1%	54.5%	31.8%	45.5%	13.6%	31.8%	9.1%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～54 歳	11	3	0	6	4	6	1	5	2	1	0	0	0
		100.0%	27.3%	0.0%	54.5%	36.4%	54.5%	9.1%	45.5%	18.2%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	55～59 歳	15	1	2	4	2	4	2	6	2	6	0	1	1
		100.0%	6.7%	13.3%	26.7%	13.3%	26.7%	13.3%	40.0%	13.3%	40.0%	0.0%	6.7%	6.7%
	60～64 歳	20	1	1	9	4	13	4	13	2	5	0	1	0
		100.0%	5.0%	5.0%	45.0%	20.0%	65.0%	20.0%	65.0%	10.0%	25.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	65～69 歳	31	7	1	11	8	16	5	17	3	5	0	0	2
		100.0%	22.6%	3.2%	35.5%	25.8%	51.6%	16.1%	54.8%	9.7%	16.1%	0.0%	0.0%	6.5%
	70～74 歳	31	7	3	10	9	19	3	17	2	10	1	1	1
		100.0%	22.6%	9.7%	32.3%	29.0%	61.3%	9.7%	54.8%	6.5%	32.3%	3.2%	3.2%	3.2%
	75～79 歳	9	1	0	2	1	1	0	1	2	1	0	3	3
		100.0%	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	11.1%	0.0%	33.3%	33.3%
	80 歳以上	9	2	1	3	1	5	2	5	3	1	0	0	1
		100.0%	22.2%	50.0%	33.3%	11.1%	55.6%	22.2%	55.6%	33.3%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
女性	15～19 歳	14	3	6	2	5	10	3	3	2	1	0	1	0
		100.0%	21.4%	42.9%	14.3%	35.7%	71.4%	21.4%	21.4%	14.3%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
	20～24 歳	15	4	1	6	4	6	5	3	0	4	0	1	0
		100.0%	26.7%	6.7%	40.0%	26.7%	40.0%	33.3%	20.0%	0.0%	26.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	25～29 歳	16	1	1	9	7	8	7	5	1	7	0	0	0
		100.0%	6.3%	6.3%	56.3%	43.8%	50.0%	43.8%	31.3%	6.3%	43.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～34 歳	8	1	0	3	6	5	2	3	1	3	0	0	0
		100.0%	12.5%	0.0%	37.5%	75.0%	62.5%	25.0%	37.5%	12.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	35～39 歳	15	3	1	7	3	5	4	5	2	5	0	1	0
		100.0%	20.0%	6.7%	46.7%	20.0%	33.3%	26.7%	33.3%	13.3%	33.3%	0.0%	6.7%	0.0%
	40～44 歳	12	2	1	6	4	5	3	4	3	2	0	3	0
		100.0%	16.7%	8.3%	50.0%	33.3%	41.7%	25.0%	33.3%	25.0%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%
	45～49 歳	11	4	1	5	4	6	4	6	0	1	0	0	0
		100.0%	36.4%	9.1%	45.5%	36.4%	54.5%	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～54 歳	25	9	1	10	8	14	5	11	3	4	1	1	0
		100.0%	36.0%	4.0%	40.0%	32.0%	56.0%	20.0%	44.0%	12.0%	16.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	55～59 歳	18	3	0	4	4	9	8	7	4	5	0	0	1
		100.0%	16.7%	0.0%	22.2%	22.2%	50.0%	44.4%	38.9%	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%	5.6%
	60～64 歳	27	3	3	7	8	18	10	11	4	5	1	0	1
		100.0%	11.1%	11.1%	25.9%	29.6%	66.7%	37.0%	40.7%	14.8%	18.5%	3.7%	0.0%	3.7%
	65～69 歳	37	6	1	11	7	22	9	17	11	9	0	4	0
		100.0%	16.2%	2.7%	29.7%	18.9%	59.5%	24.3%	45.9%	29.7%	24.3%	0.0%	10.8%	0.0%
	70～74 歳	23	3	1	6	4	13	2	10	3	1	0	5	3
		100.0%	13.0%	4.3%	26.1%	17.4%	56.5%	8.7%	43.5%	13.0%	4.3%	0.0%	21.7%	13.0%
	75～79 歳	7	1	0	2	2	5	0	3	1	1	0	1	1
		100.0%	14.3%	0.0%	28.6%	28.6%	71.4%	0.0%	42.9%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
	80 歳以上	7	0	1	4	0	3	0	2	3	1	0	0	2
		100.0%	0.0%	14.3%	57.1%	0.0%	42.9%	0.0%	28.6%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	28.6%

問 2 1 現在職業をもっている方にお伺いします。これまでに何らかのハラスメントを受けたことがありますか。(〇はいくつでも)

- 湯沢市では、「職場内でハラスメントを受けたことはない」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- ハラスメントを受けたことがある割合は、「パワハラ」が最も高く、次いで「モラハラ」、「セクハラ」の順で続いている。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「職場内でハラスメントを受けたことはない」の割合が42.2%で最も高く、次いで「パワハラを受けたことがある」が36.4%、「モラハラを受けたことがある」が22.7%となっている。秋田県全体では、「職場内でハラスメントを受けたことはない」の割合が44.2%で最も高く、次いで「パワハラを受けたことがある」が36.0%、「モラハラを受けたことがある」が25.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は、男女ともに全体と同じ順位となっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。



#### ■その他意見（抜粋）

マタハラ。女性／25～29歳／湯沢地域

支配欲のある人はどうしても良いルールをつくって縛る。男性／40～44歳／湯沢地域

悪口を言われた。物を隠された。会社は廃業になった。女性／55～59歳／湯沢地域

パワハラとは言わないが、業務上のプレッシャーが強い職場環境だったことがある。男性／30～34歳／湯沢地域

## 5 地域活動について

問 2 2 ここ 1 年ほどの間で参加した地域活動にはどのようなものがありますか。(〇は3つまで)

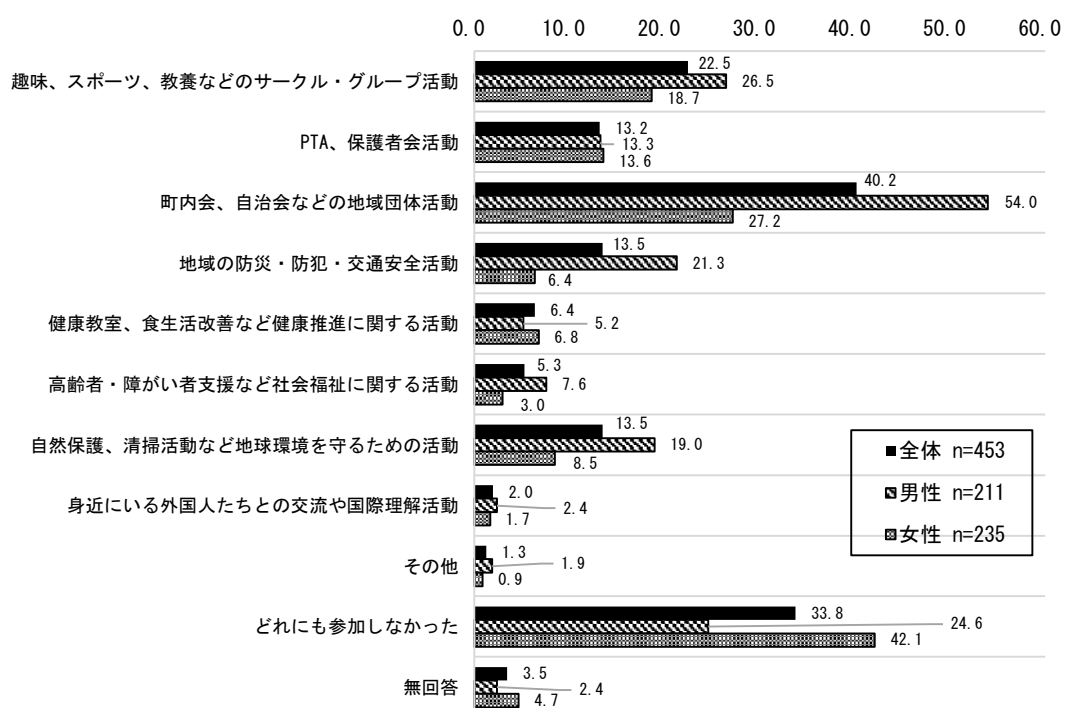
- 湯沢市では、「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が最も高く、次いで「どれにも参加しなかった」の順になっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別にみると、男性では「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が最も高い一方、女性では「どれにも参加しなかった」の割合が最も高くなっている。
- 地域別にみると、市外を除く地域が「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が最も高くなっている。

湯沢市では、「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が 40.2% で最も高く、次いで「どれにも参加しなかった」が 33.8%、「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」が 22.5% となっている。秋田県全体では、「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が 41.1% で最も高く、次いで「どれにも参加しなかった」が 36.0%、「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」が 25.8% となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、男性では「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が 54.0% で最も高い一方、女性では「どれにも参加しなかった」の割合が 42.1% で最も高く、この割合は男性 (24.6%) よりも 17.5 ポイント高くなっている。秋田県全体では、同様に「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が 50.3% で最も高い一方、女性では「どれにも参加しなかった」の割合が 41.3% で最も高く、この割合は男性 (29.5%) よりも 11.8 ポイント高くなっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

地域別に見ると、湯沢地域、稲川地域、雄勝地域、皆瀬地域で「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合が最も高く、湯沢地域では「どれにも参加しなかった」の割合が、「町内会、自治会などの地域団体活動」の割合と同じである。市外では「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」の割合が最も高かった。

最近参加した地域活動



最近参加した地域活動（地域別）

		合計	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	PTA、保護者会活動	町内会、自治会などの地域団体活動	地域の防災・防犯・交通安全活動	健康教室、食生活改善など健康推進に関する活動	高齢者・障がい者支援など社会福祉に関する活動	自然保護、清掃活動など地球環境を守るための活動	身近にいる外国人たちとの交流や国際理解活動	その他	どれも参加しなかった	無回答
地域別	湯沢地域	297 100.0%	66 22.2%	38 12.8%	109 36.7%	41 13.8%	23 7.7%	11 3.7%	34 11.4%	6 2.0%	3 1.0%	109 36.7%	9 3.0%
	稲川地域	76 100.0%	16 21.1%	16 21.1%	34 44.7%	7 9.2%	4 5.3%	6 7.9%	12 15.8%	0 0.0%	1 1.3%	22 28.9%	6 7.9%
	雄勝地域	56 100.0%	10 17.9%	2 3.6%	31 55.4%	8 14.3%	2 3.6%	5 8.9%	13 23.2%	0 0.0%	2 3.6%	16 28.6%	0 0.0%
	皆瀬地域	10 100.0%	4 40.0%	1 10.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%
	市外	10 100.0%	4 40.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	2 20.0%	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%
	無回答	5 100.0%	2 40.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%

問 2 3 町内会や自治会などの地域の集まりの中で、女性も男性と共に参加したり、男性と同じように発言したりすることができにくい雰囲気や状況があるのは、どのような理由からだと思いますか。(〇は3つまで)

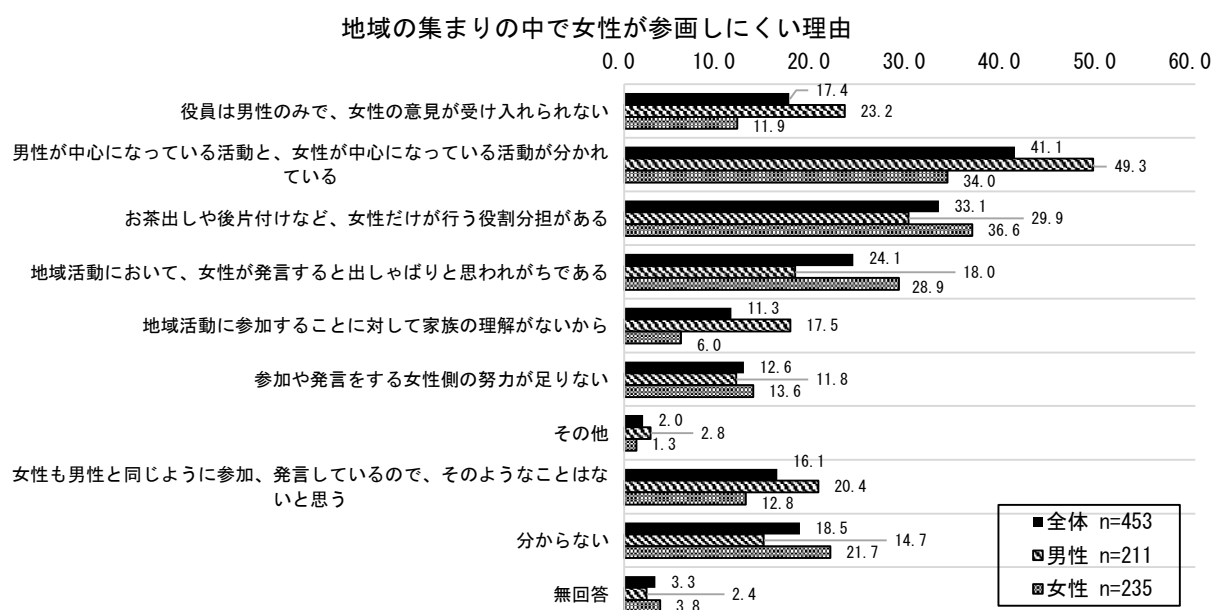
- 湯沢市では、「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」の割合が最も高くなっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別にみると、男性においては、「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」、女性においては、「お茶出しや後片付けなど、女性だけが行う役割分担がある」の割合が最も高くなっている。

湯沢市では、「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」の割合が 41.1%で最も高く、次いで「お茶出しや後片付けなど、女性だけが行う役割分担がある」が 33.1%、「地域活動において、女性が発言すると出しゃばりと思われがちである」が 24.1%となっている。秋田県全体では、「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」の割合が 38.3%で最も高く、次いで「お茶出しや後片付けなど、女性だけが行う役割分担がある」が 34.6%、「地域活動において、女性が発言すると出しゃばりと思われがちである」が 27.1%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は、男性では「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」(49.3%)、「お茶出しや後片付けなど、女性だけが行う役割分担がある」(29.9%)、「役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられない」(23.2%)となった一方で、女性では「お茶出しや後片付けなど、女性だけが行う役割分担がある」(36.6%)、「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」(34.0%)、「地域活動において、女性が発言すると出しゃばりと思われがちである」(28.9%)となっており、男性が女性よりも「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」が 15.3 ポイント、役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられない」では 11.3 ポイント高くなっている。

性別×年代を見ると、65～69歳の「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」の割合は、男性では 67.7%、女性では 27.0%と、男性の方が女性よりも 40.7 ポイント高くなっている。

地域別に見ると、全地域で「男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている」の割合が最も高くなっている。



		合計	役員は男性のみで、女性の意見が受け入れられない	男性が中心になっている活動と、女性が中心になっている活動が分かれている	お茶出しや後片付けなど、女性だけが行う役割分担がある	地域活動において、女性が発言すると出しゃばりと思われがちである	地域活動に参加することに対して家族の理解がないから	参加や発言をする女性側の努力が足りない	その他	女性も男性と同じように参加、発言しているの、そのようことはないと思う	分からない	無回答
男性	15～19 歳	9 100.0%	1 11.1%	4 44.4%	4 44.4%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%
	20～24 歳	12 100.0%	1 8.3%	8 66.7%	5 41.7%	0 0.0%	3 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%
	25～29 歳	9 100.0%	1 11.1%	3 33.3%	4 44.4%	4 44.4%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 44.4%	0 0.0%
	30～34 歳	11 100.0%	2 18.2%	4 36.4%	5 45.5%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%	3 27.3%	0 0.0%
	35～39 歳	13 100.0%	5 38.5%	5 38.5%	3 23.1%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	1 7.7%	3 23.1%	2 15.4%	0 0.0%
	40～44 歳	9 100.0%	4 44.4%	7 77.8%	4 44.4%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%
	45～49 歳	22 100.0%	6 27.3%	12 54.5%	7 31.8%	4 18.2%	2 9.1%	1 4.5%	1 4.5%	5 22.7%	2 9.1%	1 4.5%
	50～54 歳	11 100.0%	2 18.2%	3 27.3%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%
	55～59 歳	15 100.0%	2 13.3%	7 46.7%	2 13.3%	3 20.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	3 20.0%	0 0.0%
	60～64 歳	20 100.0%	3 15.0%	7 35.0%	5 25.0%	4 20.0%	5 25.0%	2 10.0%	1 5.0%	4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%
	65～69 歳	31 100.0%	10 32.3%	21 67.7%	9 29.0%	7 22.6%	5 16.1%	8 25.8%	1 3.2%	8 25.8%	0 0.0%	1 3.2%
	70～74 歳	31 100.0%	9 29.0%	15 48.4%	10 32.3%	9 29.0%	9 29.0%	3 9.7%	0 0.0%	8 25.8%	4 12.9%	1 3.2%
	75～79 歳	9 100.0%	2 22.2%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%	2 22.2%	2 22.2%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	0 0.0%
	80 歳以上	9 100.0%	1 11.1%	5 500.0%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	4 44.4%	0 0.0%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%
女性	15～19 歳	14 100.0%	2 14.3%	5 35.7%	3 21.4%	4 28.6%	0 0.0%	4 28.6%	0 0.0%	3 21.4%	2 14.3%	0 0.0%
	20～24 歳	15 100.0%	1 6.7%	6 40.0%	6 40.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%	0 0.0%
	25～29 歳	16 100.0%	1 6.3%	7 43.8%	5 31.3%	3 18.8%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%
	30～34 歳	8 100.0%	1 12.5%	2 25.0%	3 37.5%	3 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	1 12.5%	2 25.0%	1 12.5%
	35～39 歳	15 100.0%	1 6.7%	3 20.0%	3 20.0%	6 40.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	5 33.3%	1 6.7%
	40～44 歳	12 100.0%	2 16.7%	2 16.7%	6 50.0%	3 25.0%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	6 50.0%	0 0.0%
	45～49 歳	11 100.0%	2 18.2%	5 45.5%	6 54.5%	4 36.4%	1 9.1%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	3 27.3%	0 0.0%
	50～54 歳	25 100.0%	4 16.0%	13 52.0%	14 56.0%	10 40.0%	3 12.0%	4 16.0%	2 8.0%	0 0.0%	2 8.0%	0 0.0%
	55～59 歳	18 100.0%	3 16.7%	6 33.3%	9 50.0%	7 38.9%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%	0 0.0%
	60～64 歳	27 100.0%	6 22.2%	10 37.0%	6 22.2%	10 37.0%	1 3.7%	3 11.1%	0 0.0%	3 11.1%	5 18.5%	3 11.1%
	65～69 歳	37 100.0%	3 8.1%	10 27.0%	11 29.7%	6 16.2%	4 10.8%	8 21.6%	0 0.0%	7 18.9%	8 21.6%	2 5.4%
	70～74 歳	23 100.0%	2 8.7%	6 26.1%	9 39.1%	4 17.4%	2 8.7%	3 13.0%	0 0.0%	6 26.1%	5 21.7%	0 0.0%
	75～79 歳	7 100.0%	0 0.0%	3 42.9%	2 28.6%	3 42.9%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%
	80 歳以上	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	1 14.3%
地域別	湯沢地域	297 100.0%	52 17.5%	112 37.7%	92 31.0%	74 24.9%	30 10.1%	39 13.1%	6 2.0%	42 14.1%	59 19.9%	12 4.0%
	稲川地域	76 100.0%	14 18.4%	36 47.4%	30 39.5%	18 23.7%	10 13.2%	7 9.2%	1 1.3%	15 19.7%	17 22.4%	1 1.3%
	雄勝地域	56 100.0%	10 17.9%	25 44.6%	17 30.4%	11 19.6%	7 12.5%	10 17.9%	2 3.6%	15 26.8%	6 10.7%	1 1.8%
	皆瀬地域	10 100.0%	2 20.0%	7 70.0%	3 30.0%	3 30.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	市外	10 100.0%	1 10.0%	6 60.0%	5 50.0%	1 10.0%	4 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%
	無回答	5 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%



## 6 DV（ドメスティックバイオレンス）について

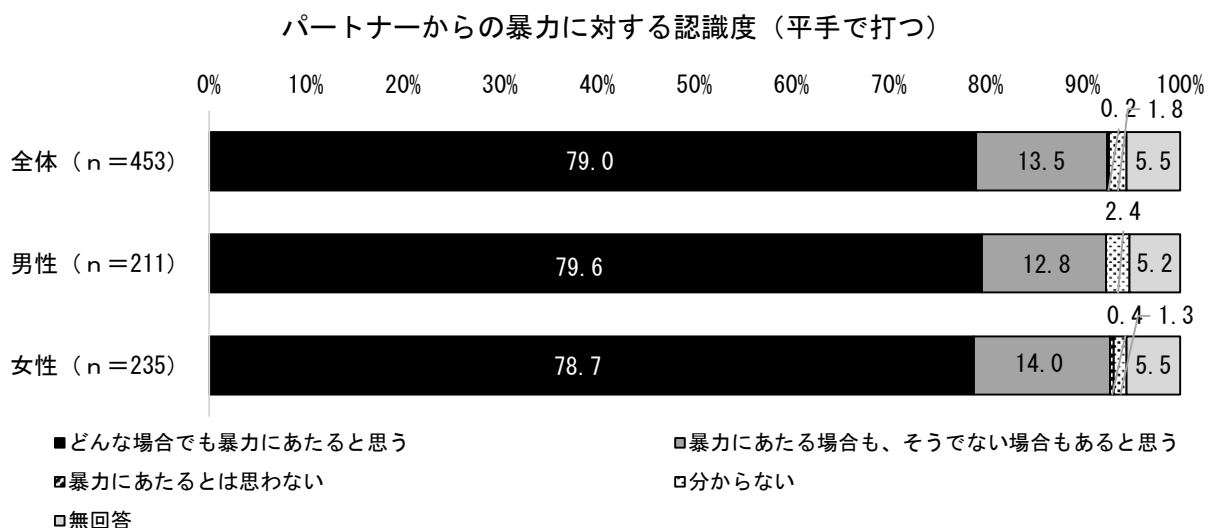
問24 配偶者やパートナーとの間で次のようなことが行われた場合、それを暴力だと思いませんか。  
(○は1つ)

- 湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、「刃物などを突きつけて、おどす」が最も高く、次いで「身体を傷つける可能性のある物でなぐる」、「足でける」「いやがっているのに性的な行為を強要する」の順になっている。秋田県全体では、「身体を傷つける可能性のある物でなぐる」が最も高く、次いで「刃物などを突きつけて、おどす」「足でける」の順になっている。
- 性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は、「何を言っても長時間無視し続ける」「誰のおかげで生活できるんだ」とか、かいしょうなし」と言う」「大声でどなる」において、女性の方が男性よりも10.0ポイント以上高くなっている。

### ア 平手で打つ

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は79.0%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は0.2%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は77.8%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は0.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

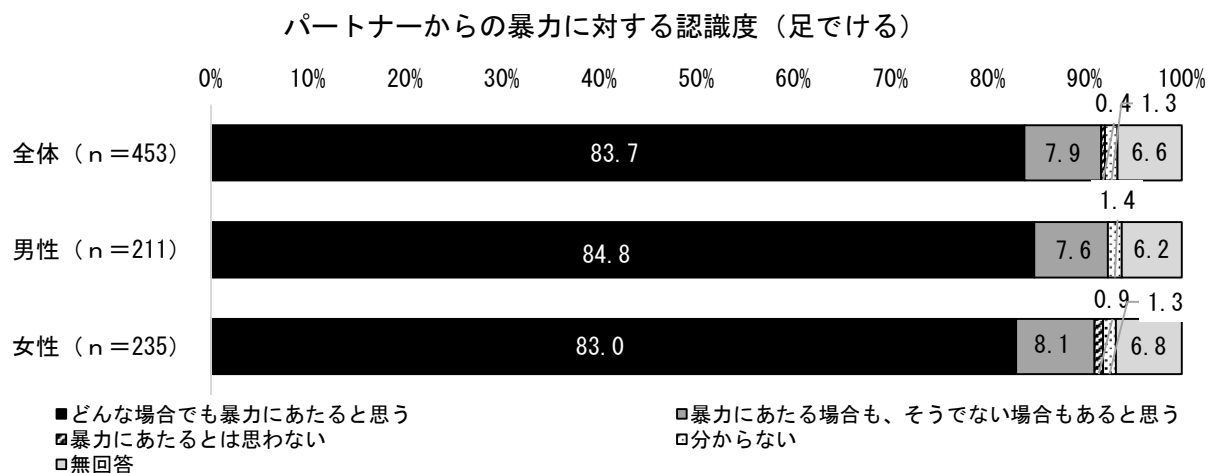
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では79.6%、女性では78.7%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では0.0%、女性では0.4%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では78.7%、女性では77.8%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では1.1%、女性では0.5%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## イ 足でける

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 83.7%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.4%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 81.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.5%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

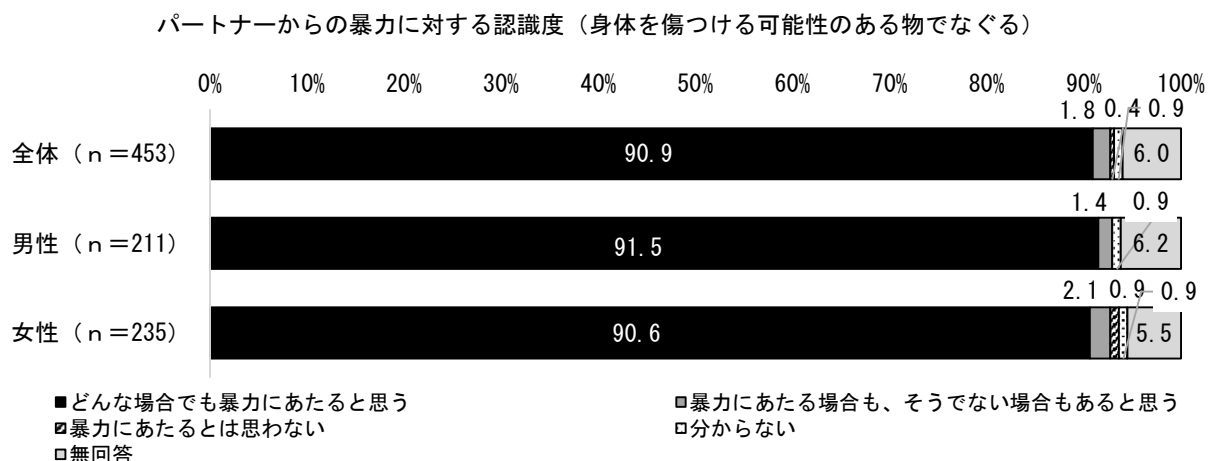
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 84.8%、女性では 83.0%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.0%、女性では 0.9%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 82.4%、女性では 81.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.8%、女性では 0.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## ウ 身体を傷つける可能性のある物でなくる

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 90.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.4%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 87.2%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

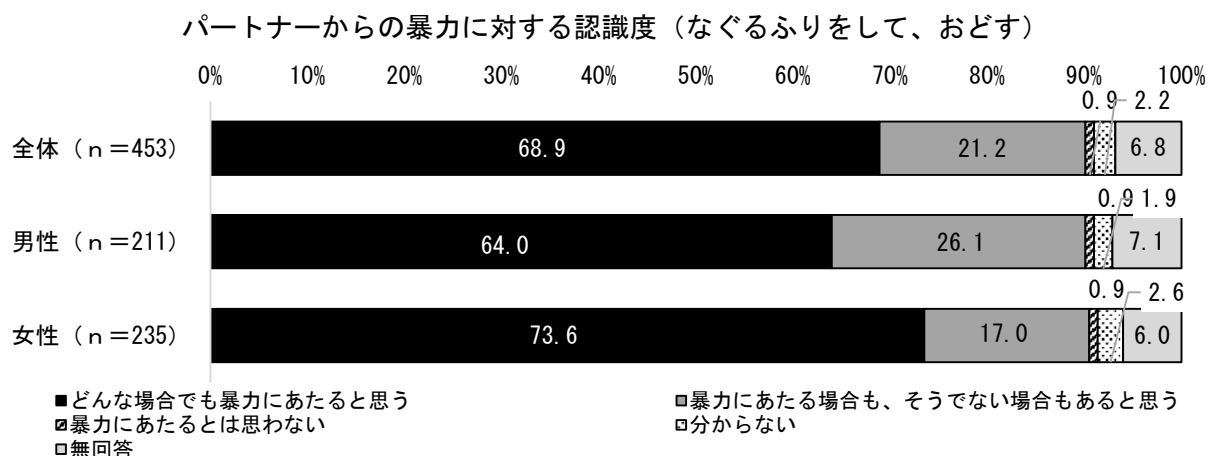
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 91.5%、女性では 90.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.0%、女性では 0.9%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 88.2%、女性では 87.3%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.3%、女性では 0.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## エ なぐるふりをして、おどす

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 68.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.9%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 64.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 2.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

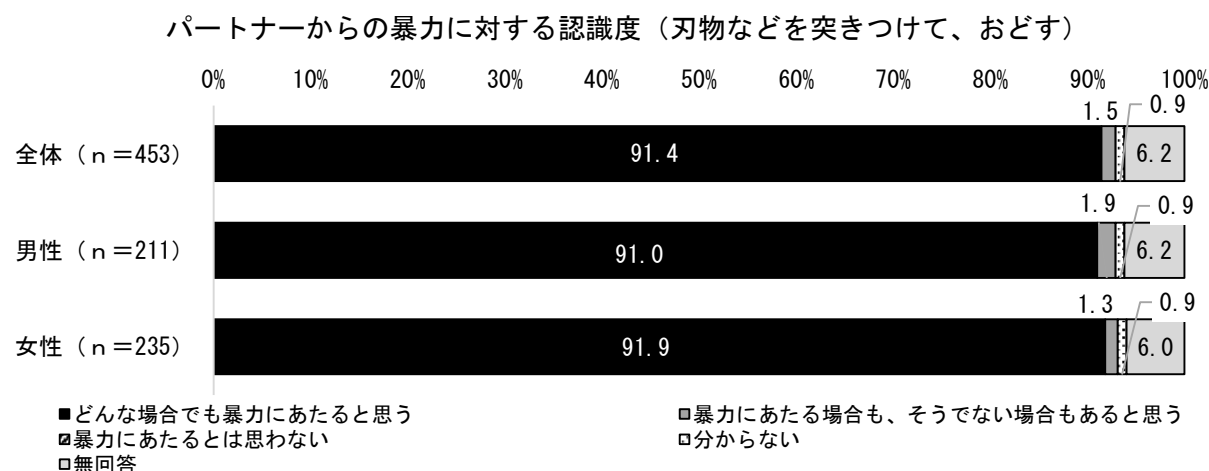
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 64.0%、女性では 73.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.9%、女性では 0.9%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 63.4%、女性では 67.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 2.4%、女性では 2.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## オ 刃物などを突きつけて、おどす

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 91.4%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.9%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 86.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

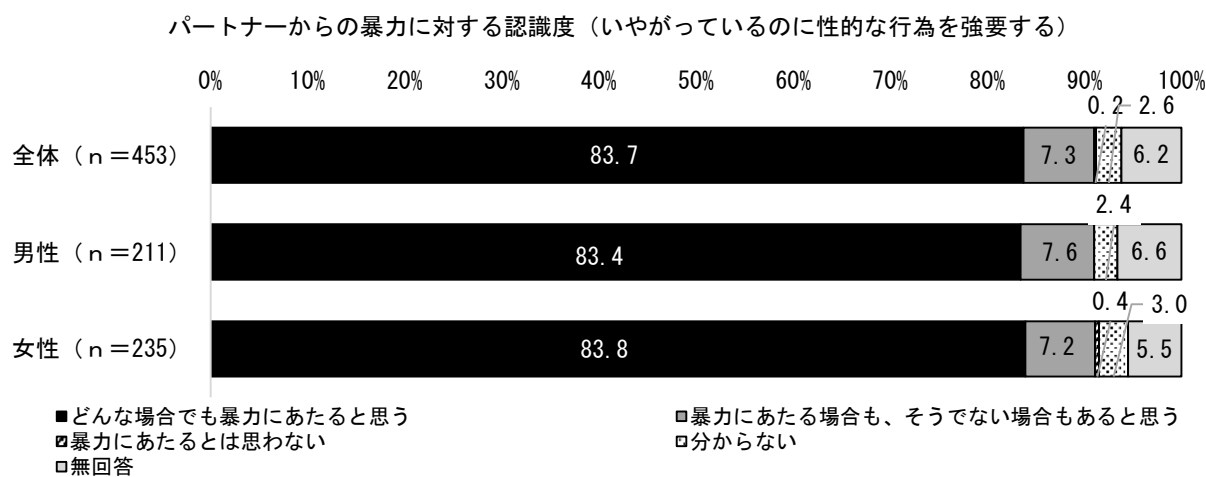
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 91.0%、女性では 91.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.0%、女性では 0.0%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 86.8%、女性では 87.8%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.5%、女性では 0.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## カ いやがっているのに性的な行為を強要する

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 83.7%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 0.2%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 79.0%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 1.1%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

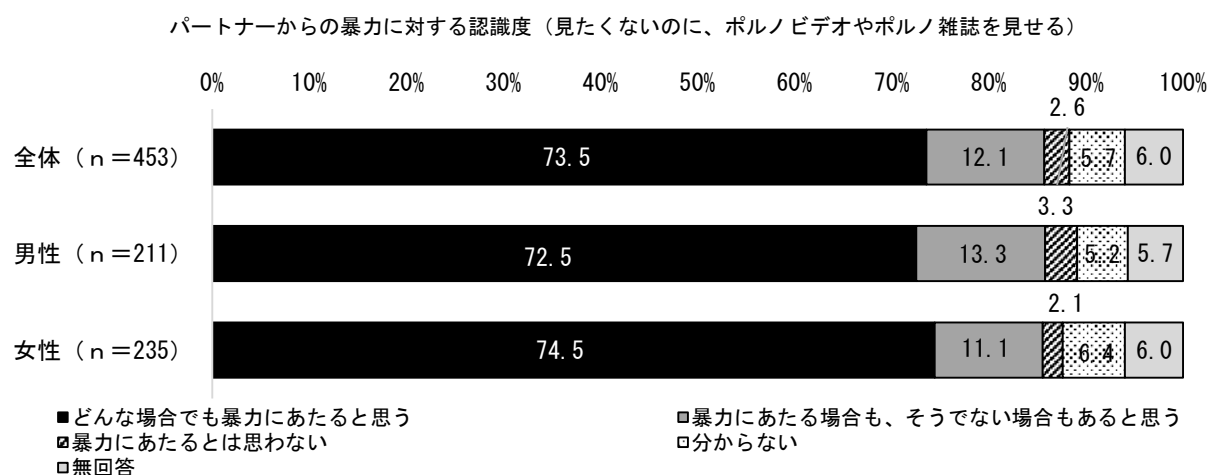
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 83.4%、女性では 83.8%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 0.0%、女性では 0.4%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 79.7%、女性では 79.1%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 1.3%、女性では 0.9%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## キ 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 73.5%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 2.6%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 70.5%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 3.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

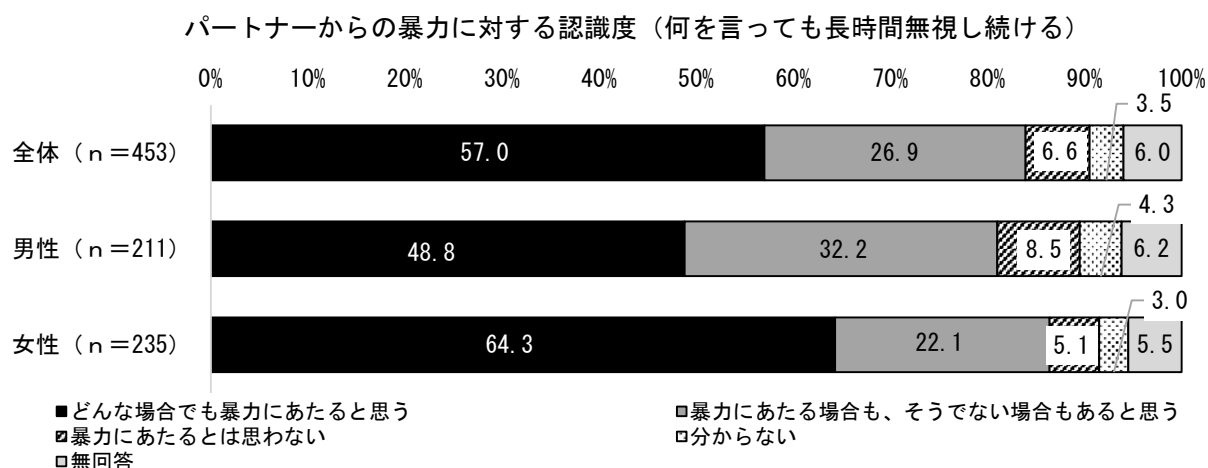
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 72.5%、女性では 74.5%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 3.3%、女性では 2.1%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 71.6%、女性では 70.3%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 3.9%、女性では 3.4%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## ク 何を言っても長時間無視し続ける

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 57.0%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 6.6%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 55.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 5.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

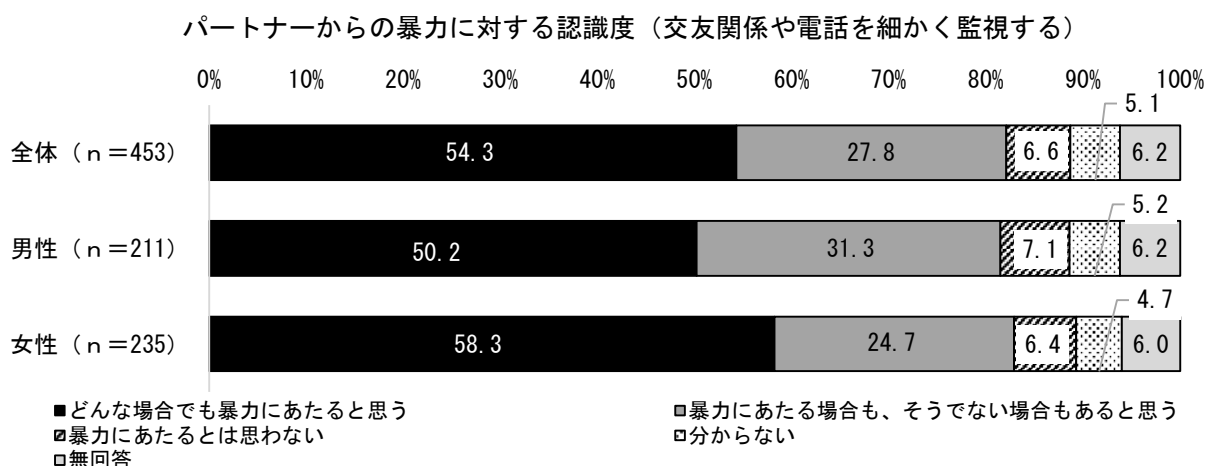
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 48.8%、女性では 64.3%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 8.5%、女性では 5.1%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 51.6%、女性では 61.0%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 7.1%、女性では 4.5%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## ケ. 交友関係や電話を細かく監視する

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 54.3%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 6.6%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 51.8%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 5.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

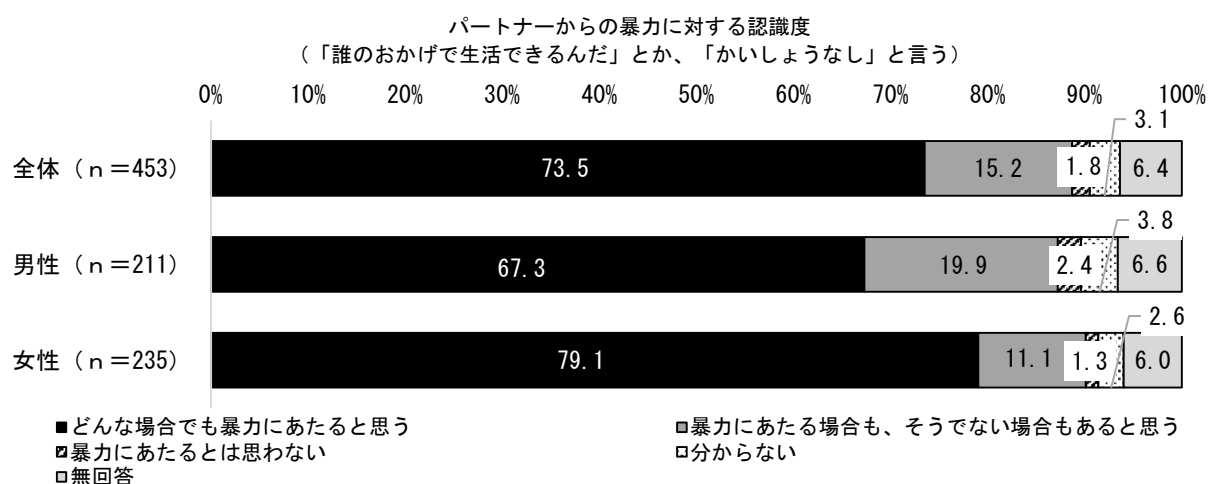
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 50.2%、女性では 58.3%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 7.1%、女性では 6.4%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 47.6%、女性では 56.5%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 7.4%、女性では 4.5%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## コ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 73.5%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 1.8%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 68.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 2.6%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

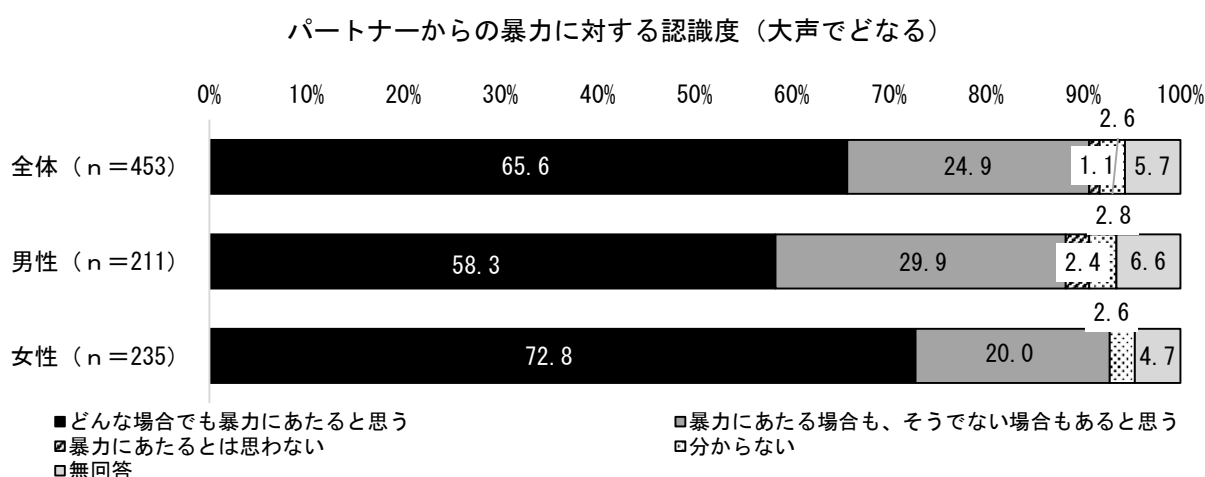
性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 67.3%、女性では 79.1%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 2.4%、女性では 1.3%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 65.8%、女性では 71.2%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 3.4%、女性では 1.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## サ 大声でどなる

湯沢市では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 65.6%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 1.1%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は 60.2%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は 3.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 58.3%、女性では 72.8%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 2.4%、女性では 0.0%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では 58.7%、女性では 61.9%となっている。「暴力にあたるとは思わない」の割合は男性では 3.2%、女性では 2.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



問25 これまで、あなたの配偶者やパートナーから、次のようなことをされたことはありますか。  
(○は1つ)

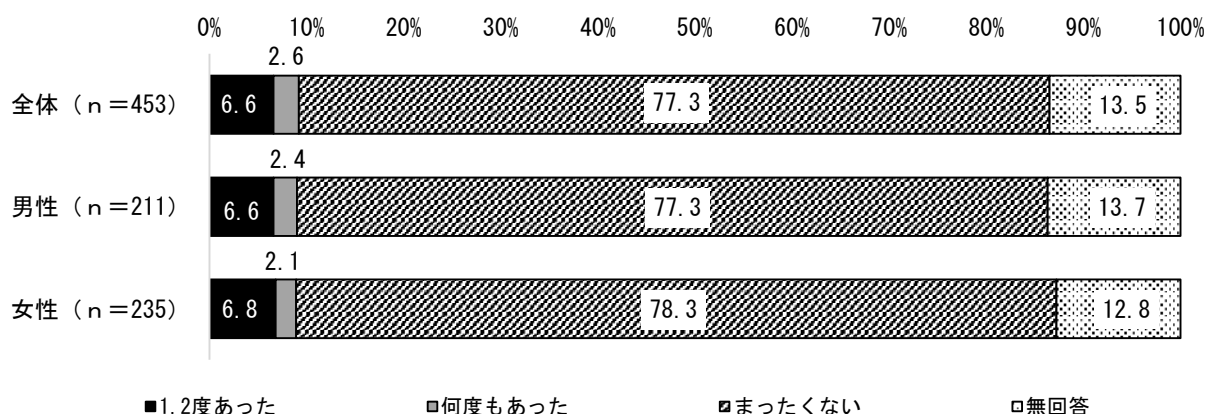
- 湯沢市では、「まったくない」の割合が最も高くなっている。秋田県全体でも同じ傾向にある。
- 性別にみると、「1・2度あった」と「何度もあった」を合わせた『被害にあった』(以下、同じ)の割合は、「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなど精神的な嫌がらせ、あるいは自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫」「嫌がっている状況の中での性的な行為の強要」において、女性で10.0%を超えた。あきたけんは、「なぐったり、蹴ったり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴行」「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなど精神的な嫌がらせ、あるいは自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫」において、男女ともに10.0%を超えた。

#### ア. なぐったり、蹴ったり、突き飛ばしたりするなど身体に対する暴行

湯沢市では、「まったくない」の割合が77.3%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は9.2%となっている。秋田県全体では、「まったくない」の割合が79.0%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は11.4%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、「まったくない」の割合は男性では77.3%、女性では78.3%となっている。『被害にあった』の割合は男性では9.0%、女性では8.9%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では78.9%、女性では79.1%となっている。『被害にあった』の割合は男性では10.3%、女性では12.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

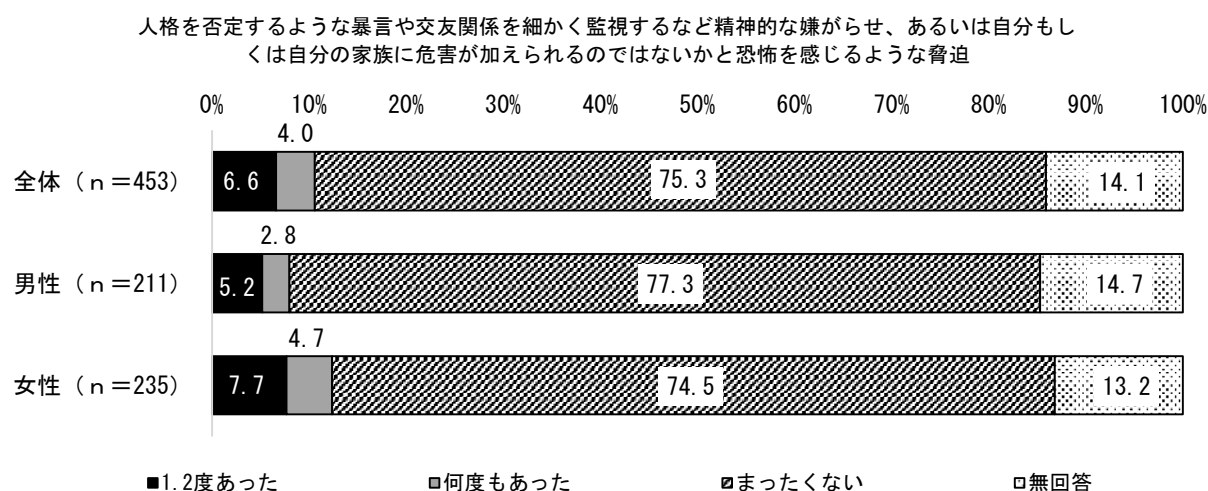
なぐったり、蹴ったり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行の被害経験



イ. 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなど精神的な嫌がらせ、あるいは自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫

湯沢市では、「まったくない」の割合が75.3%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は10.6%となっている。秋田県全体では、「まったくない」の割合が78.0%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は11.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

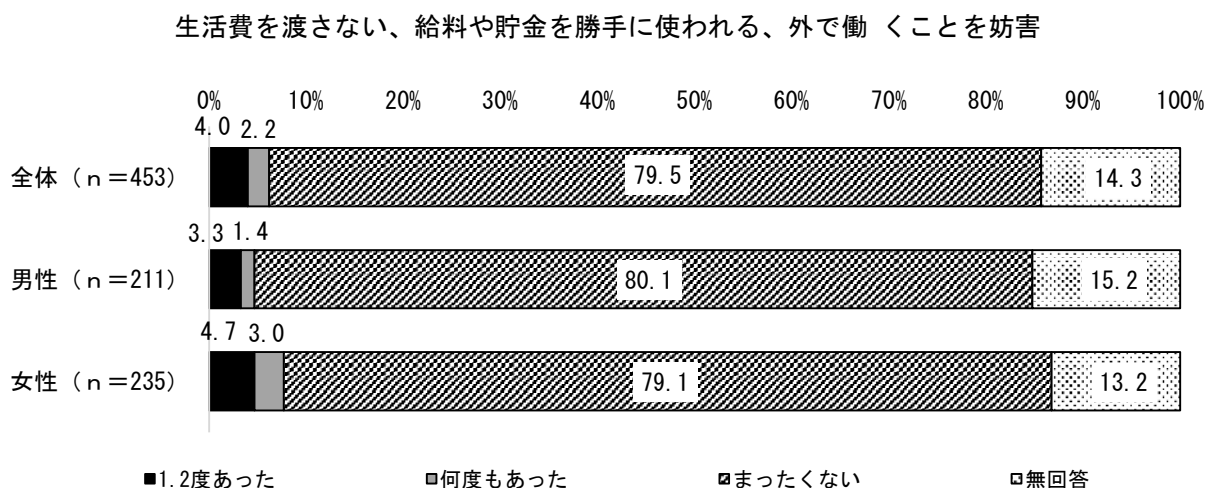
性別にみると、「まったくない」の割合は男性では77.3%、女性では74.5%となっている。『被害にあった』の割合は男性では8.0%、女性では12.4%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では78.4%、女性では77.6%となっている。『被害にあった』の割合は男性では10.0%、女性では13.1%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



ウ 生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害

湯沢市では、「まったくない」の割合が79.5%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は6.2%となっている。秋田県全体では、「まったくない」の割合が84.4%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は5.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、「まったくない」の割合は男性では80.1%、女性では79.1%となっている。『被害にあった』の割合は男性では4.7%、女性では7.7%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では85.8%、女性では83.4%となっている。『被害にあった』の割合は男性では3.2%、女性では7.5%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

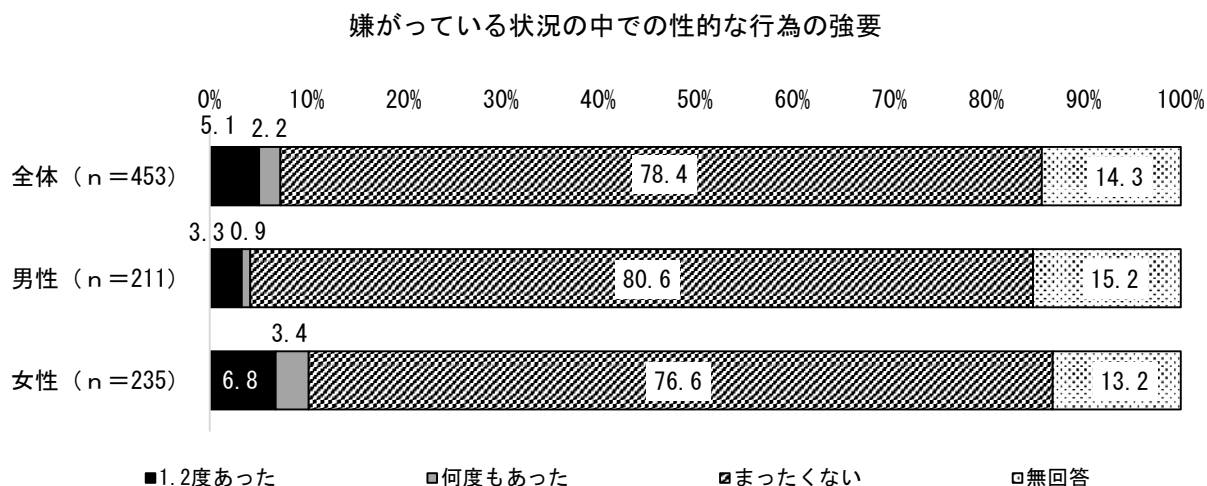




## エ 嫌がっている状況の中での性的な行為の強要

湯沢市では、「まったくない」の割合が78.4%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は7.3%となっている。秋田県全体では、「まったくない」の割合が83.2%で最も高い一方で、『被害にあった』の割合は8.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、「まったくない」の割合は男性では80.6%、女性では76.6%となっている。『被害にあった』の割合は男性では4.2%、女性では10.2%となっている。秋田県全体では、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の割合は男性では85.3%、女性では82.1%となっている。『被害にあった』の割合は男性では3.7%、女性では8.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



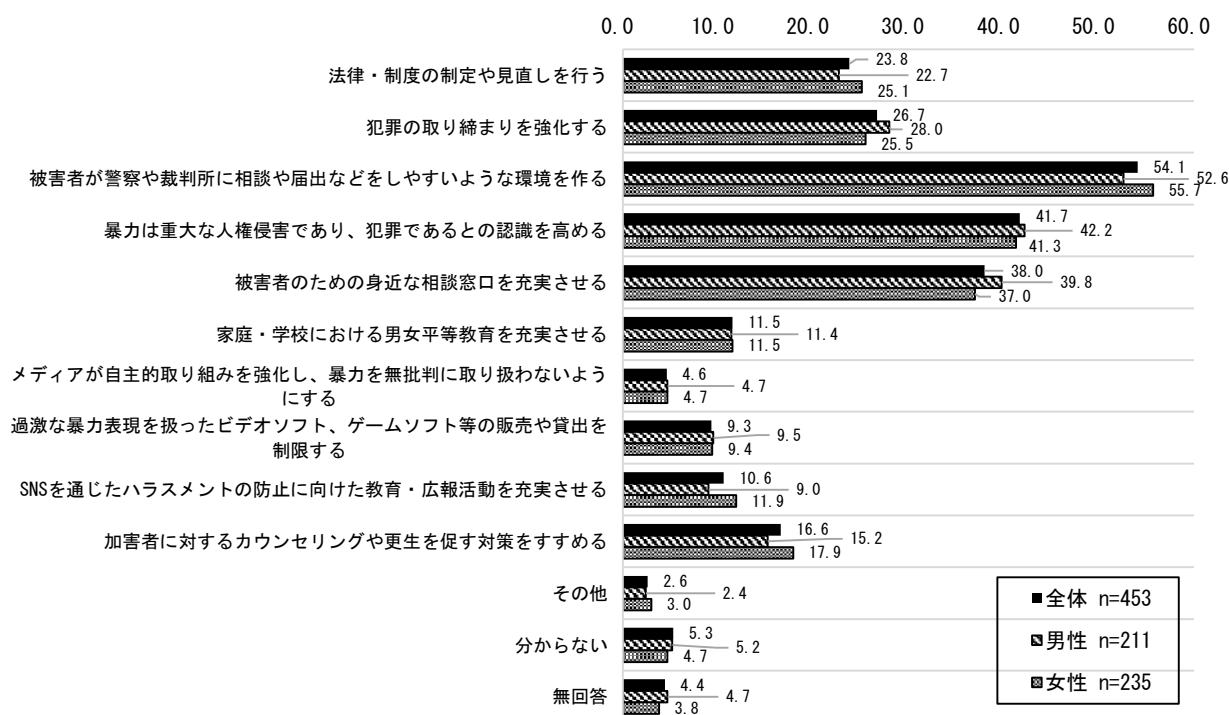
問 2 6 配偶者やパートナーから暴力をなくすためには、どうしたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

●湯沢市では、「被害者が警察や裁判所に相談や届出などをしやすいような環境を作る」の割合が最も高く、男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

湯沢市では、「被害者が警察や裁判所に相談や届出などをしやすいような環境を作る」の割合が54.1%で最も高く、次いで「暴力は重大な人権侵害であり、犯罪であるとの認識を高める」が41.7%、「被害者のための身近な相談窓口を充実させる」が38.0%となっている。秋田県全体では、「被害者が警察や裁判所に相談や届出などをしやすいような環境を作る」の割合が51.1%で最も高く、次いで「暴力は重大な人権侵害であり、犯罪であるとの認識を高める」が43.5%、「被害者のための身近な相談窓口を充実させる」が41.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、上位3項目は、男性では「被害者が警察や裁判所に相談や届出などをしやすいような環境を作る」(52.6%)、「暴力は重大な人権侵害であり、犯罪であるとの認識を高める」(42.2%)、「被害者のための身近な相談窓口を充実させる」(39.8%)となった一方で、女性では「被害者が警察や裁判所に相談や届出などをしやすいような環境を作る」(55.7%)、「暴力は重大な人権侵害であり、犯罪であるとの認識を高める」(41.3%)、「被害者のための身近な相談窓口を充実させる」(37.0%)となっている。

パートナーからの暴力をなくすために必要なこと



■その他意見（抜粋）

加害者に自覚がないと対策と言っても難しい。男性／45～49歳／湯沢地域

シェルターなどの保護施設の情報を広める。女性／35～39歳／湯沢地域

4、5で抑制できない場合は、法的措置をとるなど社会に公表して罰則制度を取ってもらう。他人の力を借りてとめさせる方法をとる。それでもダメなら裁判等の法的措置に訴える。男性／70～74歳／湯沢地域

相談や届け出を相手にだしたことを知られたら事態がもっと悪化するかもという不安を無くす。相談につながって終了、安心ではなく相談後の心身のフォロー。女性／25～29歳／湯沢地域

人それぞれの性質に起因するものだと思うので、家庭でのしつけや学校教育が重要だと思う。男性／50～54歳／雄勝地域  
情報を漏らさない、逃げることに理解や場所が必要。女性／30～34歳／湯沢地域

## 7 多様性について

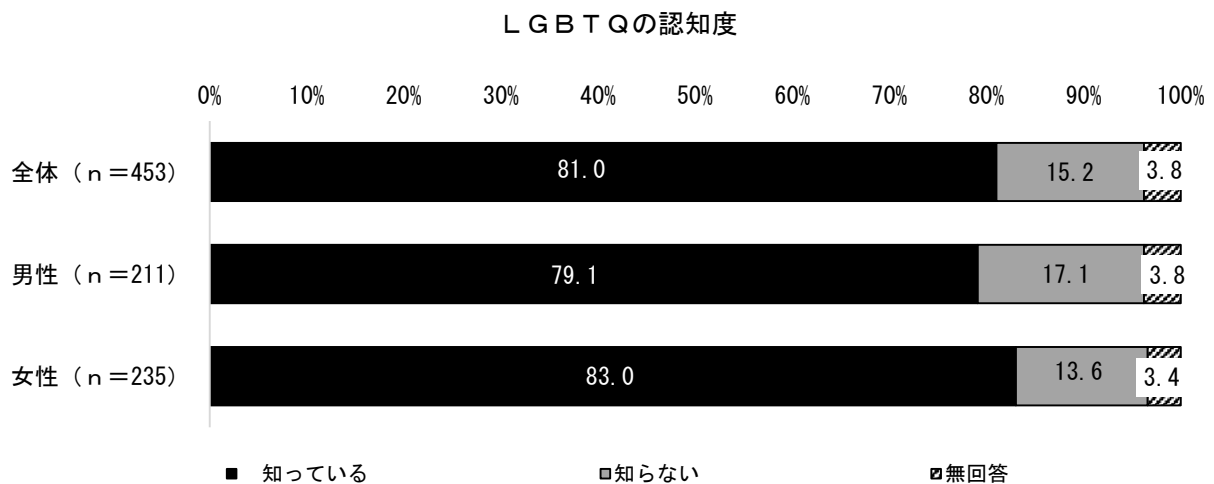
### 問27 あなたは次の言葉や制度について知っていますか。(○は1つ)

- 湯沢市では、各言葉について、「LGBTQ」では「知っている」の割合の方が高い一方で、「あきたパートナーシップ宣言証明制度」「アンコンシャス・バイアス」では「知らない」の割合の方が高くなっている。男女ともに同じ傾向にある。秋田県全体でも同じ傾向にある。

#### (1) LGBTQ

湯沢市では、「知っている」の割合が81.0%で最も高い一方で、「知らない」の割合は15.2%となっている。秋田県全体では、「知っている」の割合が73.9%で最も高い一方で、「知らない」の割合は23.3%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

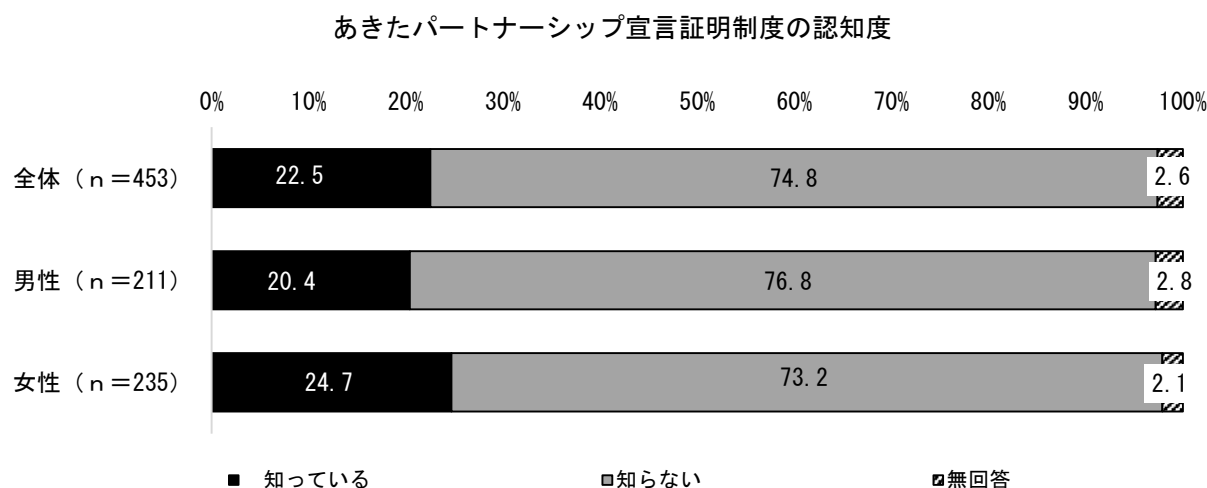
性別にみると、「知っている」の割合は男性では79.1%、女性では83.0%となっている。「知らない」の割合は男性では17.1%、女性では13.6%となっている。秋田県全体では、「知っている」の割合は男性では75.8%、女性では74.6%となっている。「知らない」の割合は男性では23.2%、女性では23.8%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## (2) あきたパートナーシップ宣言証明制度

湯沢市では、「知っている」の割合が22.5%で最も高い一方で、「知らない」の割合は74.8%となっている。秋田県全体では、「知っている」の割合が21.2%で最も高い一方で、「知らない」の割合は75.9%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

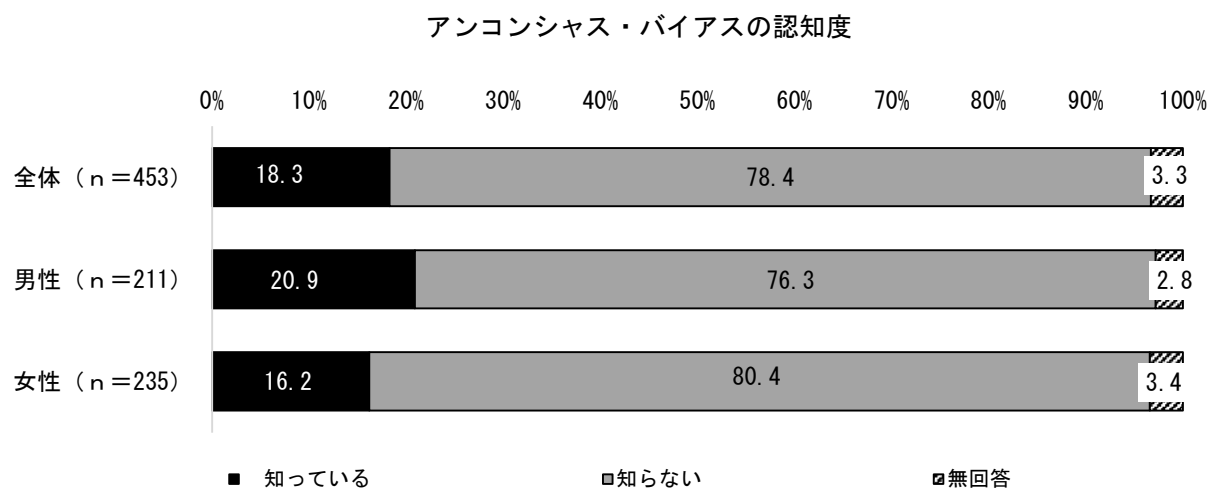
性別にみると、「知っている」の割合は男性では20.4%、女性では24.7%となっている。「知らない」の割合は男性では76.8%、女性では73.2%となっている。秋田県全体では、「知っている」の割合は男性では20.8%、女性では22.4%となっている。「知らない」の割合は男性では78.2%、女性では75.7%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## (3) アンコンシャス・バイアス

湯沢市では、「知っている」の割合が18.3%で最も高い一方で、「知らない」の割合は78.4%となっている。秋田県全体では、「知っている」の割合が15.2%で最も高い一方で、「知らない」の割合は82.0%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。

性別にみると、「知っている」の割合は男性では20.9%、女性では16.2%となっている。「知らない」の割合は男性では76.3%、女性では80.4%となっている。秋田県全体では、「知っている」の割合は男性では16.3%、女性では15.0%となっている。「知らない」の割合は男性では82.6%、女性では83.2%となっている。湯沢市、秋田県全体ともに同じ傾向にある。



## 8 自由意見

最後に男女共同参画について、あなたが日ごろ考えていることをお聞かせください。（自由記入）

※寄せられた自由意見の件数は81件であり、その内容は「男女共同参画に関する意識について」、「男女共同参画社会の形成について」、「就労・労働環境について」、「男女共同参画教育について」、「行政の取組について」などになっており、主な意見・要望を抜粋して掲載した。

なお、誤字等は訂正しているため、掲載分は回答の原文とは異なる場合がある。

### ■男女共同参画に関する意識について

- ・男性も女性もお互いを尊重し協力し合う。女性／60～64歳／湯沢地域
- ・男女で出来る事と出来ない事は必ずあると考えます。その中でどうやって助け合っていく必要があるかを議論・教育することが求められると考えています。何でも平等にしたから良いという話ではないと思いますが、差別するのは間違いだと思います。非常に難しい話題なので、市民全員で良い方向に持っていければと思います。男性／20～24歳／湯沢地域
- ・夫婦生活で我慢と理解、協調の3点を重視する。男性／80歳以上／湯沢地域
- ・身体づくりが違うので、平等にしきれないものもあると思う。無回答／50～54歳／湯沢地域
- ・いつもパートナーへ迷惑をかけていると常に感じています。DVやモラハラは知らないうちに自分が行ってしまっているのかと、アンケートを通じてしてしまっているのではないかと疑問に思うこともありました。男性／30～34歳／湯沢地域
- ・アンケートに答えながら自分の知らないことがたくさんあり、もっと関心を持たなければいけないと感じました。女性／60～64歳／湯沢地域
- ・まずは地域家庭からではないでしょうか？男性／55～59歳／湯沢地域
- ・人は人、自分は自分。女性／30～34歳／湯沢地域

### ■男女共同参画社会の形成について

- ・性差や年齢に関わらず、住みやすい社会をつくっていかなければならない。いずれ人がいなくなることを湯沢市全体で認識し、共有する必要があると思います。男性／50～54歳／湯沢地域
- ・男女で区別するのではなく、個として一人一人対応することで、社会全体が変わるのではないかと感じています。女性／50～54歳／湯沢地域
- ・今までしきたりで決められていたバリアをなくし、多様スタイルで生活できれば今より100%幸せな人生を送ることができる。ただ社会的弱者を守る制度の充実は必要だと思います。男性／40～44歳／湯沢地域
- ・湯沢市は明らかに偏見が強く、遅れています。女性／65～69歳／湯沢地域
- ・ハラスメントをなくす。泣き寝入りすることのないように。女性／60～64歳／湯沢地域
- ・本当に男女が平等の社会になれるのか疑問です。男性の役割、女性の役割をそれぞれやってこそ仕事と家庭の両立が出来ると思います。男女共同参画よりも少子化の方にもっと重きを置いて取り組んでほしいです。湯沢と横手が合併してしまいます。女性／55～59歳／湯沢地域
- ・結婚しているからといって生活すべてが助けてくれるわけではないのに、夫婦別姓はあっても良いと思う。助けて欲しい時国の援助を受けられない。生活困難の時も夫婦世帯でみられてしまう。女性／40～44歳／湯沢地域
- ・秋田県は男女共同参画については、遅れている点が多くあるように思います。まだまだ年齢の上の人の中にも古い考えの人が多くいるように思います。すぐに、考えを変えることができなくて若い人の考えを聞いて理解して自分の考えなども変えていけたらいいと思います。女性／60～64歳／湯沢地域
- ・性別よりも能力で決めるべきと考えている。男性／15～19歳／雄勝地域
- ・従来からの慣例で女性が不利になりがちな環境が多いが、法律や規定の整備をする時に非現実的な設定をする場合が多々ある。柔軟性を持った法制度やしっかりした判断の出来る人材育成等が重要で

はないかと思います。男性／５５～５９歳／湯沢地域

・様々な環境に合わせて、男女問わず個人の意欲・能力が発揮できるような社会・労働環境を作ることが大事と考えるが、一部の人の意見やイメージが先行して法整備や企業理念が進まないよう、活発な議論が必要と考える。男性／３０～３４歳／湯沢地域

・男性も女性も身体の作りから思考まで違う部分は必ずあって、それぞれ適材適所はあるのだから、無理に男女を同じ土俵に立たせる必要は無いのではないかなと思う。本気で取り組んでいる人達には頭が上上がらないが、ポーズだけの仕事で社会を動かされては溜まったものではない。声の大きな少数派の意見を聞いて社会に変化をもたらせば、仕事をした気にもなるのだろうが。もっと意味のある仕事をしてほしい。男性／３５～３９歳／湯沢

・女性が社会進出できにくいのは、「男のように家庭を人任せにして働く」のがいろんな理由で無理だからだと思います。家事労働、ケア労働は対価を生まないから目に見えない。しかしそれこそが生活の根本。そのことを男女の別なく理解し、どんな性の人でも「現状の女のように生活者として生きる」そんな未来があるといいな。男女共同ってそういうことではないでしょうか。女性／６５～６９歳／湯沢地域

・田舎、年配の人ほど意識が弱いと思う。親世代と祖父母世代でも意識の違いを感じる。村社会ではこうあるべきという意識を変えるのは、なかなか難しい。男性／４５～４９歳／稲川地域

・県や市で女性議員がもっと多く出て、女性ならではの意見を政治に生かすことができるとよいと感じる。男性／５０～５４歳／雄勝地域

#### ■就労・労働環境について

・女性の昇進は難しい状況かと思っています。男性と同様の経験、研修の機会が必要です。性別の区別なくその機会そのものも。女性／４５～４９歳／湯沢地域

・職場においても女性だけの職場だと、子供が欲しくても他の人ができたら、自分が妊娠できないタイミングになったり、人が少なくて女性であっても過度な残業があったりする。子供はいつできても、めでたいこと嬉しいことなのに、会社の雰囲気「あなたはまだ妊娠するな」というのが見えたりする。今は昔と違って多様性だったり、時代とともに変化している中で、高齢者の方がいったり、一番えらいみたいな雰囲気をだしてくる。カスタマーハラスメントも受けたことがある。今はそういう時代ではなく、みんなで助け合って生きていくべき。女性／２５～２９歳／湯沢地域

・女性の県外流出が大変多く男女共同参画することは大事だと思う。男性／６０～６４歳／湯沢地域

・職場においてまだまだ男女平等ではなく、子供が体調不良で度々学校に行けず看病のため会社を休むと「だから、この年代はあてにならない」「今度は何で休む」「あと来なくていい」等言われる。これでは男女平等の前に、少子化は当たりまえ。何を優先に生活すべきか悩む。会社なのか、家庭（子育て）か。子育てが終われば親の介護、今度は何て言われるかと。会社にいきづらい。共同参画なんて公務員しかできないのは。女性／５５～５９歳／稲川地域

・手取りを増やせば育休をとる男性が増えるかも。下校時のパトロールをもっと細やかにしてくれれば、部活の送迎が不要となり仕事に集中できる女性が増えるかも。他者の意見を否定せず取り入れる雰囲気が必要。男性／８０歳以上／湯沢地域

・女性の管理職が増えるといいなと思う。生理や女性ホルモンの乱れや、それ系の体調不良などの際に男性にお休み等の連絡をしたり、苦しい時になかなか理解してもらえないこともあると思うから、そういう時に女性の方なら言い易かったりすることもあるのではないかなと思います。女性／２５～２９歳／湯沢地域

・人口減少と共に職場の職員も減らされています。特に女性の働く場が少ないように思います。湯沢市は観光にもっと力をいれてそこに女性を登用させたりして、女性目線でしか解らない事が多数あると思います。男性／６０～６４歳／湯沢地域

・県外の企業を中心に就活しましたが、女性だけではなく男性の育休制度が進んでいるなと感じまし

た。夫婦間で育児について話し合い、仕事への向き合い方を決めるのはもちろん、その意見を尊重してくれる柔軟な企業に魅力を感じました。女性／20～24歳／市外

・男性の育児休業取得が当たり前になる社会になってほしい。女性／25～29歳／無回答

・いまだ田舎では、所得の低さから家庭内での封建的体制が残っているように思います。女性も含め地域全体の所得の向上と、職場倫理の教育が行き届く全国規模の企業誘致、進出を望みます。男性／45～49歳／稲川地域

・子育て世代の人が男女ともに働いていく上で、出産、育児、子どもの急病など、急な休みを取りやすいような休暇制度の充実や職場全体の理解を高めてほしいなと思います。女性が管理職になることも男女共同参画の一つかもしれませんが、子育てに理解のない女性管理者もいるので、そこは男女ともに理解を高めてほしいと思っています。女性／30～34歳／湯沢地域

・全てにおいて男女平等が良いと思っている訳では無いですが、女性の職場での賃金上昇が進めば家庭での立場や気持ちも変わってくるのではないかとおもいます。女性／45～49歳／湯沢地域

#### ■男女共同参画教育について

・時代と共に人間の生き方や感受性も変化していくのが当たり前だと思うので、「昔はこうだった」の考え方は決して他人に押し付けてはならないと思う。しかし、人間としての常識は、学校で必ず教育してほしい。男性／55～59歳／湯沢地域

・男性とか女性とかではなく、それぞれが適材適所で輝けることが大切だと思う。役割なども性別で決めるのではなく、個人の希望や適性を見極めて配置できれば良いと思う。学校でも、男女共同参画について教育していただければと思いますし、教える側でも日々情報をアップデートし、よりよい暮らしやすい社会にしていけばベストなのではないかと思います。男性／30～34歳／湯沢地域

・女性が働ける環境を作るのは周囲、特に夫が家事、育児に積極的に関わる事だと思います。また子育ての時、一時的に預かってもらえるところがあるととても助かります。子供が遊べる公園、冬の遊び場、楽しい図書館などあれば子育て中の親にとっては助かりますし、そういうところがあれば、子育て中の母親もここで仕事がしたいと思うのではないのでしょうか。魅力的な企業があること、地熱を利用した企業を誘致してもらいたいです。女性／65～69歳／湯沢地域

・自分自身が10代、20代の頃からこのような計画をされてたんだと思いますが、自分自身、興味がなく分かりませんでした。メディア等で知る機会が増え、手伝えるなら、やれることがあるならの気持ちではいました。結果として40代となり、なにか出来たかは特に言えるものがありません。現実、1人1人の意識や関心を高めるのは1回やったからいいと言うものではなく市全体、県全体、国全体で習慣化していかなければならないと思います。簡単な話ではないので周知をとにかくして地元や地元外の企業の理解も得ながら出来るような輪を増やせばいいと思います。これを機に、関心をもって自分も手伝えることやりたいと思います。男性／45～49歳／湯沢地域

#### ■行政の取組について

・いまだに男性の育児休暇がとれないという話を身近で聞きます。自治体から企業側に働きかけることができればいいかなと思います。女性／50～54歳／湯沢地域

・元配偶者からの精神的苦痛のトラウマが残っている。相談したくても周りに相談出来る機関が少ないのと、利用するのに抵抗がある部分がある。どうしたら相談しやすくなるのかが未だにわからない。家庭は女性中心、男は仕事で支えるという思念を持っている男の人が多く感じるので早急にそういう人たちへの男女平等の理解を進めてほしい。女性／35～39歳／湯沢地域

・全力で推進してほしい。男性／70～74歳／湯沢地域

・男女平等に快適に、気持ちよく過ごすことができるような街づくりをしてもらいたいと思っていました。このような活動は地域が良くなるためにたくさん行ってほしいと思いました。男性／15～19歳／湯沢地域